

東京2020大会 自転車競技伊豆開催記念誌

レガシーを
未来へ。

Road to 2020 and beyond

伊豆市





INDEX

5 市長あいさつ

6 第1部 東京2020大会の開催記録
「TOKYO 2020」

8 大会概要

16 伊豆市に東京2020大会がやってきた!

18 テストイベント

20 東京2020オリンピック聖火リレー

24 東京2020パラリンピック聖火リレー聖火フェスティバル

26 オリンピック自転車競技(マウンテンバイク/トラック・レース)

34 パラリンピック自転車競技(トラック・レース)

38 東京2020大会 自転車競技結果

40 日本代表選手の声

44 第2部 チーム伊豆市の軌跡
「Road to 2020」

46 デイ・カウンターリレー

54 カウントダウンイベント

62 市民との取り組み

70 次の世代へ

88 ボランティア

92 伊豆市役所の取り組み

104 修善寺駅周辺

112 広報実績

121 スポンサー関連

122 第3部 大会レガシーをまちづくりの未来へ
「Legacy for the future」

128 資料編

「Data on TOKYO 2020」

138 巻末後記





伊豆市長
たくし たかが
菊地 豊

2015年12月、伊豆市は世界のスポーツ・文化・平和の祭典であるオリンピック（自転車競技）の開催地となりました。市長室で通知を受けた時、伊豆半島を世界レベルのリゾート地とする大きなチャンスになると感じ、熱い思いが込み上げてきたことを今でも強く覚えています。

東京2020大会を迎えるにあたり、アクセス道路や多言語対応看板、バリアフリー化などの整備、本市の魅力を国内外に発信するためのプロモーション、機運醸成などを行なってきました。

大会本番は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言下での異例の開催となりました。パラリンピックは、残念ながら無観客となりましたが、オリンピックでは、競技会場となった日本サイクルスポーツセンターに延べ約11,200人の観戦客が訪れました。

オリンピックの期間中、修善寺駅では市民の皆さま、都市ボランティアの皆さまをはじめ、東京2020組織委員会、静岡県など多くの関係機関の皆さまと共に、できる限りのおもてなしでお迎えをいたしました。幸いにして大会期間中大きな事故などもなく、開催地としての責務を最大限果たすことが出来たと感じています。

また、オリンピック最終日に、女子オムニウムで、伊豆に練習の本拠を置く橋原悠未選手が日本人女性初の銀メダルを獲得され、伊豆ベロドロームにおける有終の美を飾られたことは、本市にとりましても、大きなレガシーとなりました。

東京2020大会は閉幕しましたが、これからが伊豆市の新しい歴史のスタートです。今後、東部・伊豆半島が一丸となって自転車によるまちづくりを推進するとともに、本市といたしましても東京2020大会のレガシー創出に取り組んでまいります。

終わりに、この記念誌を通じて、約6年間を共に歩んだ市民の皆さまだけでなく、時代を超えて後世の子どもたちや市民の方々に、伊豆市の軌跡を受け継いでいただけることを祈り、発行にあたっての言葉といたします。

Road to 2020
and
beyond

第1部

東京2020大会開催の記録

2021年、東京2020大会自転車競技は、開戦の日を迎えた。
伊豆市を舞台に繰り広げられた、選手たちの熱く激しい戦いは、
人々に大きな興奮と感動を与え、歴史に刻む記録を刻んだ。

- 8 大会概要
- 12 会場紹介
- 16 伊豆市に東京2020大会がやってきた!
- 18 テストイベント
- 20 東京2020オリンピック
聖火リレー
- 24 東京2020パラリンピック
聖火リレー聖火フェスティバル
- 28 オリンピック自転車競技
(マウンテンバイク/トラック・レース)
- 34 パラリンピック自転車競技
(トラック・レース)
- 38 東京2020大会 自転車競技結果
- 40 日本代表選手の声



TOKYO 2020

東京2020 オリンピック・パラリンピック 競技大会

開催期間

第32回オリンピック競技大会(2020/東京)

2021年7月23日(金)～8月8日(日)

東京2020パラリンピック競技大会

2021年8月24日(火)～9月5日(日)

大会ビジョン

スポーツには
世界と未来を変える力がある。

1964年の東京大会は日本を大きく変えた。2020年の東京大会は、

「すべての人が自己ベストを目指し(全員が自己ベスト)」。

「一人ひとりが互いを認め合い(多様性と調和)」,「そして、未来につなげよう(未来への継承)」を
3つの基本コンセプトとし、史上最もイノベティブで、世界にポジティブな改革をもたらす大会とする。

3つの基本コンセプト

全員が自己ベスト

- 万全の準備と運営によって、安全・安心で、すべてのアスリートが最高のパフォーマンスを発揮し、自己ベストを記録できる大会を実現。
- 世界最高水準のテクノロジーを競技会場の整備や大会運営に活用。
- ボランティアを含むすべての日本人が、世界中の人々を最高の「おもてなし」で歓迎。

多様性と調和

- 人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教、政治、障がいの有無など、あらゆる面での違いを肯定し、自然に受け入れ、互いに認め合うことで社会は進歩。
- 東京2020大会を、世界中の人々が多様性と調和の重要性を改めて認識し、共生社会をはぐくむ契機となるような大会とする。

未来への継承

- 東京1964大会は、日本を大きく変え、世界を強く意識する契機になるとともに、高度成長の弾みとなった大会。
- 東京2020大会は、成熟国家となった日本が、今度は世界にポジティブな変革を促し、それらをレガシーとして未来へ継承していく。

大会モットー

ユナイテッド バイ エモーション
United by Emotion

大会モットーとは、大会ビジョンを研ぎ澄ましたメッセージで、東京2020大会が世界と共有したいアイデアやコンセプトの本質をとらえたものです。近年のオリンピック・パラリンピックにおいては、競技会場装飾や都市装飾、デジタルメディアで届出されるなど、重要な役割を果たしています。

東京2020エンブレム 組市松紋



HOST VENUE

いちまつもよう

- 「市松模様の」を、日本の伝統色である藍色で、粋な日本らしさを造りました。
- 形の異なる3種類の四角形を組み合わせ、「多様性と調和」のメッセージを込めました。
- オリンピックエンブレム、パラリンピックエンブレムとも、同じ45ピースの四角形から構成されています。

東京2020マスコット

ミライトワ MIRAITOWA

ミライトワという名前は、「未来」と「永遠」というふたつの言葉を結びつけて生まれました。名前に入められたのは、素晴らしい未来を永遠にという願い、東京2020大会を通じて、世界の人々の心に、希望に満ちた未来をいつまでも輝かせます。



ソメイティ SOMEITY

ソメイティという名前は、桜を代表する「ソメイヨシノ」と非常に力強いという意味の「so mighty」から生まれました。桜の艶やかさを持ち、驚きの強さを見せるソメイティ。東京2020大会を通じて、桜を愛する日本の心とパラリンピックアスリートの素晴らしい印象づけます。

伊豆市で開催された東京2020大会自転車競技

オリンピック自転車競技 マウンテンバイク

7月26日(月) 男子クロスカンントリー
7月27日(火) 女子クロスカンントリー

トラックレース

8月2日(月) 女子チームスプリント
女子チームパーシュート
男子チームパーシュート
8月3日(火) 男子チームパーシュート
男子チームスプリント
女子チームパーシュート

8月4日(水) 男子スプリント/女子ケイリン
男子チームパーシュート
8月5日(木) 男子スプリント/女子ケイリン
男子オムニウム
8月6日(金) 男子スプリント/女子スプリント
女子マディソン
8月7日(土) 女子スプリント/男子ケイリン
男子マディソン
8月8日(日) 男子ケイリン/女子スプリント
女子オムニウム

パラリンピック自転車競技 トラックレース

8月25日(火) 女子 3000mパーシュート
男子 4000mパーシュート
8月26日(水) 女子 1000mタイムトライアル
男子 3000mパーシュート
男子 1000mタイムトライアル
8月27日(木) 女子 500mタイムトライアル
男子 4000mパーシュート
男子 1000mタイムトライアル
女子 3000mパーシュート
混合 750mチームスプリント
男子 1000mタイムトライアル

全国の会場



会場計画コンセプト
インフィニット エキサイトメント
Infinite Excitement
無限の可能性

東京2020大会の会場計画は、東京1964大会のレガシーを引き継ぐ「ヘリテージゾーン」、都市の未来を象徴する「東京ベイゾーン」の2つのゾーンから構成されています。
東京2020大会は、新施設のほか、東京1964大会のレガシー施設を含む多くの既存施設も活用して、都内外の43会場で開催されました。

■ オリンピック競技 ■ パラリンピック競技

- | | | | |
|---------------------------------------|----------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|
| 1 オリンピック
スタジアム
東京都港区 | 12 有明体操競技場
東京都江東区 | 22 夢の島公園アーチェリー場
東京都江東区 | 34 伊豆ベロドローム
静岡県伊豆市 |
| 2 東京体育館
東京都渋谷区 | 13 有明アーバン
スポーツパーク
東京都江東区 | 23 東京アクアティクスセンター
東京都江東区 | 35 伊豆MTBコース
静岡県伊豆市 |
| 3 国立代々木競技場
東京都渋谷区 | 14 有明テニスの森
東京都江東区 | 24 東京辰巳国際水泳場
東京都江東区 | 36 富士スピードウェイ
静岡県東部小山町 |
| 4 日本武道館
東京都千代田区 | 16 お台場海浜公園
東京都港区 | 25 札幌大通公園
北海道札幌市 | 37 相島あづま球場
福島県福島市 |
| 5 東京国際フォーラム
東京都千代田区 | 16 潮風公園
東京都品川区 | 26 幕張メッセ Aホール
千葉県千葉市 | 38 横浜スタジアム
神奈川県横浜 |
| 6 国技館
東京都墨田区 | 17 青海アーバン
スポーツパーク
東京都江東区 | 27 幕張メッセ Bホール
千葉県千葉市 | 39 札幌ドーム
北海道札幌市 |
| 7 馬事公苑
東京都世田谷区 | 18 大井ホッケー競技場
東京都品川区・大田区 | 28 幕張メッセ Cホール
千葉県千葉市 | 40 宮城スタジアム
宮城県宮城郡丸森町 |
| 8 武蔵野の森
総合スポーツプラザ
東京都練馬市 | 19 海の森
クロスカントリーコース
東京都江東区 | 29 釣ヶ崎海岸サーフィンビーチ
千葉県長生郡一宮町 | 41 茨城カシマスタジアム
茨城県土浦市 |
| 9 東京スタジアム
東京都練馬市 | 20 海の森水上競技場
東京都江東区 | 30 さいたまスーパーアリーナ
埼玉県さいたま市 | 42 埼玉スタジアム2002
埼玉県さいたま市 |
| 10 武蔵野の森公園
東京都練馬市 | 21 カヌー・スラロームセンター
東京都江戸川区 | 31 陸上自衛隊朝霞訓練場
東京都練馬区 | 43 横浜国際総合競技場
神奈川県横浜 |
| 11 有明アリーナ
東京都江東区 | | 32 健ヶ岡カンツリー倶楽部
埼玉県川口市 | 選手村
東京都中央区 |
| | | 33 江の島ヨットハーバー
神奈川県横浜 | IBC/MPC(東京ビッグサイト)
東京都江東区 |

競技数

オリンピックは**33競技**、パラリンピックは**22競技**が実施されました。

オリンピックでは野球・ソフトボール、空手、スケートボード、スポーツクライミング、サーフィンの5競技、パラリンピックではバドミントンとテコンドーが新たに追加されました。

オリンピック競技一覧

水泳 15 23 24	馬術 7 19	セーリング 33
アーチェリー 22	フェンシング 27	射撃 31
陸上競技 1 25	サッカー 1 9 38 40 41 42 43	スケートボード 13
バドミントン 8	ゴルフ 32	スポーツクライミング 17
野球・ソフトボール 37 38	体操 12	サーフィン 29
バスケットボール 17 30	ハンドボール 3	卓球 2
ボクシング 6	ホッケー 16	テコンドー 26
カヌー 20 21	柔道 4	テニス 14
自転車競技 10 18 34 35 36	空手 4	トライアスロン 18
	近代五種 8 8	バレーボール 11 16
	ポード 20	ウエイトリフティング 6
	ラグビー 9	レスリング 28

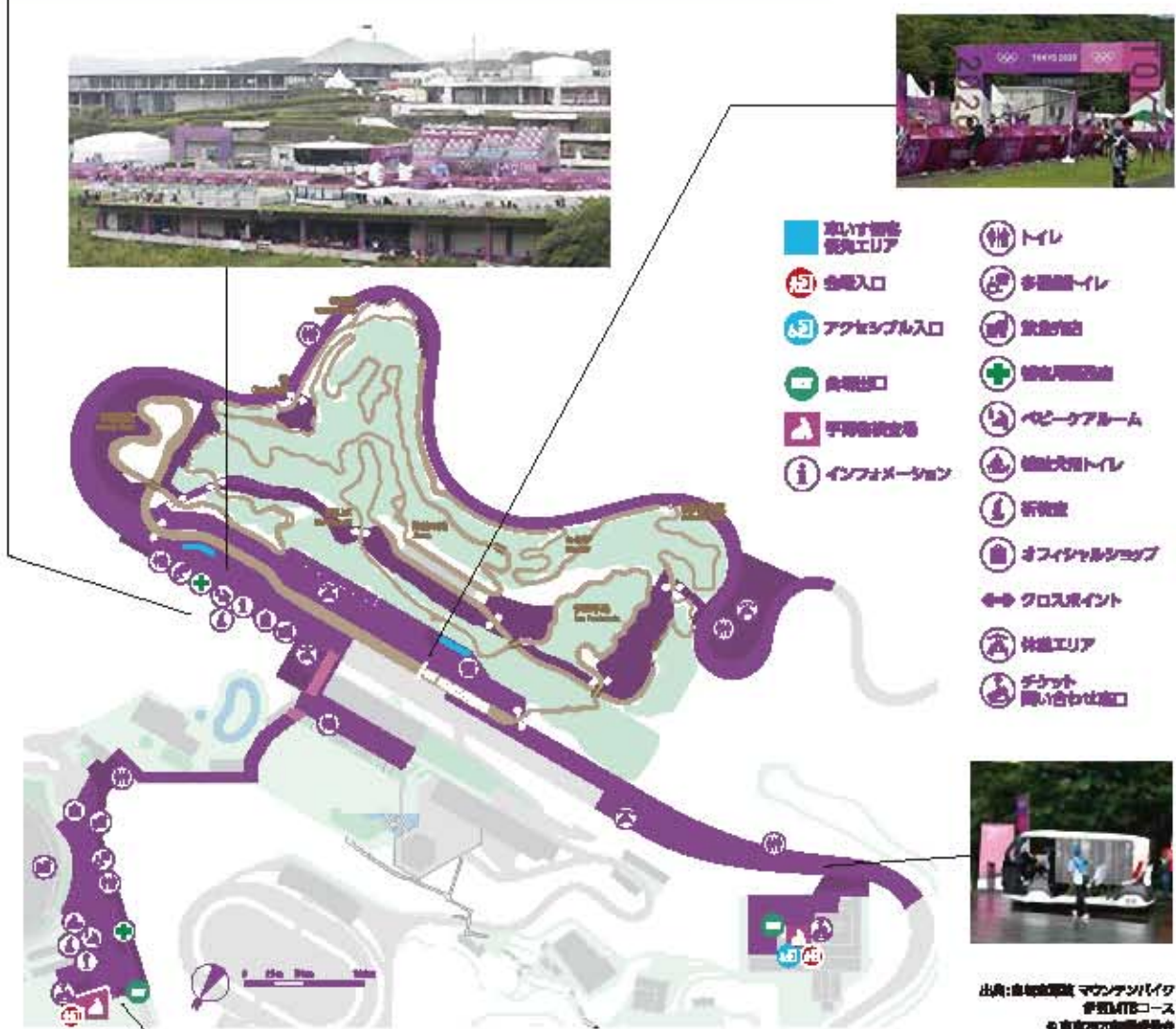
パラリンピック競技一覧

アーチェリー 22	5人制サッカー 17	卓球 2
陸上競技 1	ゴールボール 28	テコンドー 27
バドミントン 3	柔道 4	トライアスロン 15
ポッチャ 12	パワーリフティング 5	車いすバスケットボール 8 11
カヌー 20	ポード 20	車いすフェンシング 27
自転車競技 34 36	射撃 31	車いすラグビー 3
馬術 7	シッティングバレーボール 26	車いすテニス 14
	水泳 23	

会場紹介

マウンテンバイク

日本サイクリングスポーツセンター内に特設された「伊豆マウンテンバイクコース」は、全長4.1km、高低差約160mの同回コース。伊豆の観光名所や日本にもなで命名された場所が散り見られる。



オリンピック・パラリンピックトラック・レース(伊豆ベロドローム)

2011年、日本サイクリングスポーツセンター内に完成した伊豆ベロドローム。屋内板張り250mトラックという国際基準を満たす日本で最初の自転車競技場。東京2020大会に向けて、仮設席の設置やエレベーターの増設、照明・音響工事などが行なわれた。



新型コロナウイルス感染症対策について

東京2020大会を安全・安心に開催するため、大会主催者である東京2020組織委員会では、国、東京都、国際オリンピック委員会(IOC)、国際パラリンピック委員会(IPC)などと連携して、準備が行なわれた。

プレイブック(ルールブック)について

東京2020組織委員会と国際オリンピック委員会(IOC)、国際パラリンピック委員会(IPC)は2021年2月3日(水)、東京2020大会に参加するステークホルダー向けのプレイブック(ルールブック)の初版を公表した。プレイブックは2020年12月の新型コロナウイルス感染症対策調整会議の中間整理を基に、IOC、IPC、世界保健機関(WHO)および第三者である世界中の専門家・機関からの助言、コロナ禍の中で開催された世界中の国際的なスポーツイベントからの学びを参考に作成された。

ステークホルダー別に作成されたプレイブック初版は、当事者の視点で作成されており、行程ごとに行なうべき基本原則や枠組みが規定された。出国前・入国時の検査実施や、大会期間中におけるスマートフォン用アプリを使用した健康モニタリングや接触状況の把握など、様々な対策が記され、各ステークホルダーには策定されたガイドラインの遵守が求められた。

4月28日(水)には選手・チームオフィシャル向けプレイブック第2版が発行され、より詳細な参加者の対策が示された。スクリーニング検査、マスク着用、個人の衛生管理、フィジカルディスタンスなどの衛生対策に加え、世界中でコロナ禍においても参加者と地元住民のリスクを最小限に抑えつつ、安全に開催されてきたスポーツイベントの経験が盛り込まれた。

さらに6月15日(水)に公表された第3版では、海外からの来日参加者へ向けた内容が更新され、行動管理ルールの強化、検査頻度やプロセスの具体化、ルール違反に対する制裁措置の明確化が図られたほか、プレイブック第2版以降の課題対応なども記載された。

海外観客について

2021年3月20日(土)に国際オリンピック委員会(IOC)、国際パラリンピック委員会(IPC)、東京2020組織委員会、東京都、国の五者は、東京2020大会の海外からの観客の受け入れについてリモートで協議を行ない、日本側は世界各国におけるコロナ禍の現状を鑑み、海外観客の日本への受け入れを断念するという結論をIOCとIPCに伝えた。日本も含めた世界各国では感染状況は依然厳しく、また国境をまたぐ往來が厳しく制限されていたことから、確実に安全・安心な大会を実現するため、この結論に至った。IOCとIPCは五者協議の場にて、全ての参加者にとって安全最優先な大会とするという方針に則るとともに、日本へ配慮し、この結論を尊重して受け入れることを表明した。



観客数等の方針

オリンピック競技大会

東京2020オリンピック競技大会における観客数の方針について、国際オリンピック委員会(IOC)、国際パラリンピック委員会(IPC)、東京2020組織委員会、東京都、国の五者による協議が行なわれた。

まず2021年6月21日(月)のリモートによる協議においては、日本側が示した以下の方針について、IOC・IPCが合意に達した。

- 日本政府のイベント開催制限を踏まえ、全会場において観客数の上限を「収容定員50%以内で1万人」とする(学校連携の児童生徒・引率者については別途取り扱う)。
- 競技実施時間は現行のスケジュールは維持し、上記に定める観客の入場も認めることを基本とする。
- 7月12日(月)以降、緊急事態宣言またはまん延防止等重点措置が発動された場合、無観客も含め当該措置が発動された時の措置内容を踏まえた対応を基本とする。
- 安全・安心な状況確保のため、観客対象のガイドラインを作成し、会場内でのマスクの常時着用、大声の禁止、アナウンス等による混雑回避、分散退場等を定めるとともに、行き帰りについて、直行直帰の要請、都道府県を跨る移動の際の注意点などを提示する。
- 観客以外の人流対策として、ライブサイト及びパブリックビューイングについては中止又は規模縮小の方向で検討するとともに、関連イベントの見直しを行ない、コロナ禍における安全・安心な対応方法などを提示する。
- 安全・安心な大会に向けて、専門的知見からモニタリングを行なう。
- パラリンピックについては、オリンピック閉会式の一週間前の7月16日(金)までに方針を決定する。

その後、7月8日(木)には東京都に緊急事態宣言の発出が決定されたことを受けて、再び五者はリモートによる協議を急遽開催。IOCとIPCは以下の日本側の方針に対して合意した。

- 緊急事態宣言を受け、人流の抑制と感染拡大の防止等に向けたより厳しい措置として、無観客とする。なお、本方針の下、緊急事態措置が及びられていない区域においては、関係自治体等連絡協議会を開催し、各地域の状況を踏まえて首長と協議の上、具体的な措置を決める。
- 感染状況などについて大きな変化が生じた場合には、速やかに五者協議を開催し、観客についての対応を検討する。パラリンピックについては、今後の感染状況等を踏まえて判断する必要があることから、オリンピック閉会後に、パラリンピックの観客数の取り扱いを決める。

パラリンピック競技大会

2021年8月16日(月)、国際パラリンピック委員会(IPC)、東京2020組織委員会、東京都、国の四者は、パラリンピック競技大会の観客数の方針についてリモートにて協議した。会議において、IPCは日本側が提示した方針に対し、合意した。

- 東京都、埼玉県、千葉県に緊急事態宣言が発出され、また、静岡県が緊急事態宣言発出の要請をしている状況及び県下の感染状況を踏まえ、全ての競技について無観客とする。
- 路上競技については、沿道での観客の自粛を求める。
- 学校遠隔観戦は共生社会の実現に向けた教育的要素が大きいため、保護者などの意向を踏まえて自治体や学校設置者が希望する場合には、安全対策を講じた上で実施可能とする。



2020

伊豆市に

東京2020大会が

やってきた!

2021年、ついにこの時がやってきた。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が

1年の延期を経て、幕を開けた。

伊豆市を舞台に、

世界トップレベルの選手が華やかな戦いを繰り広げた。

日本中が、世界中が、伊豆市に注目した、記念すべき瞬間。

大会の成功に向けて、

みんなの心はひとつになった。

テストイベント

マウンテンバイク

2019年10月6日(日)
伊豆マウンテンバイクコース



世界32か国から選手・スタッフが参加

2019年10月6日(日)、「マウンテンバイク」のテストイベントが行なわれた(東京2020組織委員会主催)。会場の伊豆マウンテンバイクコース(日本サイクリススポーツセンター内)は、オリンピック仕様へ改修後、初のお披露目となった。世界32か国より、男女合わせて総勢87人の選手が出場し、急な登り坂や岩場などを備えた世界トップレベルの難しいコースを激走。男子では二ノ・シューター選手(スイス)、女子はヨランダ・ネフ選手(スイス)が優勝した。



新たに生まれ変わった伊豆マウンテンバイクコースには豊かな自然を最大限に生かし、「天城越え」、「参道の滝」といった名所や、「檜」、「桜吹雪」など日本にちなんだ名称の施設が設けられた。選手たちが盛り上げる、迫力ある走りを見守った観客たちは、大満足の様子だった。今回のテストイベントでは静岡県主催による観客輸送のテストも行なわれ、全体で2020人のモニターが参加。約1700人が修善寺駅からのシャトルバスを利用し、乗車前の駅周辺の混雑・滞留状況、会場内の移動や、帰りのシャトルバスの乗車・運行状況などを確認したほか、駅構内には都市ボランティア(シティキャスト)も配置され、様々な課題について検証し大会本番への備えとした。

Message 担当者の声



東京2020組織委員会
大会運営局会場マネジメント部
広報課 広報官 大崎 弘文
大崎 弘文 (伊豆市からも出身)
東京2020大会用に生まれ変わったマウンテンバイクコースの誕生です。コースのお披露目とともに、テストイベントを通じ伊豆市民をはじめ多くの方々へマウンテンバイクの魅力を感じていただきたいと思います。

トラック・レース

2021年4月25日(日)
伊豆ペドロローム



自転車競技の中でテストイベントが未実施だった「トラック・レース」が2021年4月25日(日)に伊豆ペドロロームで開催された(東京2020組織委員会主催)。海外選手の参加は無く、国内選手のみでの参加。代表が内定していた橋本英也選手、小林慎吾選手、藤本雄太選手、新田祐大選手の4人をはじめ、総勢48人の選手がスプリント、チームスプリント、チームパーシュート、マディソン、ケイリンを1日で予選から決勝までを実施。代表4選手はベストタイムや出場順目での優勝など順調な仕上がりを見せた。



初めに訪れた東京2020組織委員会 橋本英也選手



無観客でメディアのみの入場。検温や消毒などの基本的な対策や、選手との接触を極力無くし、選手取材はリモート会見中心など「アスリート・ファースト」の感染症対策が徹底された。大会進行の遅れが生じたことや設備の密集対策などの課題がありつつも、有意義なテストイベントとなった。

Message 選手・選手の声



東京2020組織委員会
大会運営局会場マネジメント部
広報課 広報官 白崎 孝紀
白崎 孝紀 (伊豆市からも出身)
未実施だったテストイベントがようやく開催できてホッとしています。メディアのみの入場ではありますが、取材を通してトラック・レースが、魅力的に、広く伝わるように、広報業務に注力していきます。日本代表選手の活躍が楽しみです。



東京2020組織委員会
大会運営局会場マネジメント部
広報課 広報官 細岡 祥
細岡 祥 (伊豆市からも出身)
大会を現地でも安心安全かつ楽しくストレスなく観戦できるような体制づくりをサポートしています。伊豆市の皆さんも多くの方が訪れる大会当日はおもてなしの気持ちで迎え、大会後も会場に訪れるなどして地元開催を楽しんでください。



日本代表
小林 慎吾 選手
小林 慎吾 選手
スプリント予選で10秒612という自己ベスト(=日本記録)を出すことができ、うまく調整できています。延期が、じっくり考える時間となり、果敢としたトレーニングの成果であると感じています。本番が楽しみです。



日本代表
橋本 英也 選手
橋本 英也 選手
出場全てのレースで優勝できて、順調な仕上がりと捉えています。感染症対策の面でも選手が守られていると感じ、競技に集中できました。本番に向けて観戦も楽しみたいし、ますます気持ちが高まっています。

東京2020オリンピック聖火リレー

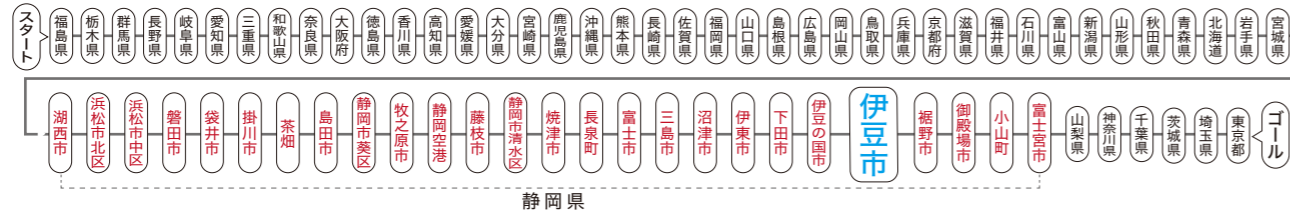
2021年6月25日(金)
伊豆市・修善寺温泉街



全国各地を巡る東京2020オリンピック聖火リレーが、2021年6月23日(水)～25日(金)の3日間、静岡県内にて実施された。伊豆市は3日目の第4区間となり、修善寺温泉街を舞台として竹林の小径や、独鈷の湯、修禅寺などの名所の周辺を通る約1.8kmのルートで、9人のランナーが走った。沿道からは伊豆市内の全小中義務教育学校の児童生徒約1,600人や市民たちが、感染症対策のため声援に代わり、拍手やうちわを振って熱い応援を送った。ゴールの修善寺総合会館では19人のサポートランナーが最終走者を迎えて、次の裾野市へと聖火をつなぐミニセレブレーションを行なった。



オリンピック聖火リレールート



Message 聖火ランナーの声



千葉大学/静岡県立静岡がんセンター
えんどう まさひろ
遠藤 正浩

かつて通学路として親しんだ修善寺のまちを、聖火ランナーとして走ることができ、感無量です。コロナ禍が続く世の中ですが、大会に出場する選手の方々に頑張ってもらいたいです。医療関係者の方たちにもエールを送りたいです。



水口治療院
みずぐち しげお
水口 茂生

最後まで楽しく走り、無事トーチを繋ぐことができました。修善寺小学校の皆さんのメッセージからいただいた勇気と、一緒に走ってくれたイクシヨンのおかげです。今回を機に、視覚障がい者や盲導犬への理解が広がることを願っています。



天城小学校 教員
ながくら すみこ
長倉 須美子

これまで伊豆市内の各小学校で指導してきた教員たちが集まってくれたこと、感染症対策で声が出せない中、うちわを一生懸命振って応援してくれる中を走れたことは、教師冥利に尽きます。大会本番は市民として応援していきます。

東京 2020オリンピック聖火リレー ルートマップ

● 聖火リレー走行ルート(走行距離 約1.8km 走行聖火ランナー 9人)
● 児童・生徒観覧エリア ● 市民観覧エリア
● 聖火ランナー交代ポイント



Message 観覧者の声



母が聖火ランナーを務めるため、親戚や母の職場の方々と一緒に応援に来ました。伊豆市は地元・伊東の隣なので、自転車競技の会場に選ばれて良かったと思います。母のことも、伊豆ペロドームのことも、東京2020大会が自分にとって身近なものに感じられて、嬉しいです。



子どもたちや地域の人たちが、うちわや手を振って笑顔で応援している姿は、とてもキラキラして見えました。市民が世代を超えてひとつになった、この場に立ち会えたことは、一生の思い出になりました。東京2020大会が盛り上がり、世の中が明るくなることを願っています。



聖火リレーを間近で、しかも伊豆市で見ることができて、感激の一言です。このような貴重な経験は、きっと人生最初で最後ですから。地元で大会が開催されることは嬉しいことですし、何より楽しみです。選手の方々に、積み重ねてきた力を発揮してもらいたいです。



東京2020パラリンピック聖火リレーの 聖火フェスティバルで活用する種火採火イベント

2021年8月16日(月)
伊豆市役所

伊豆市役所にて「東京2020パラリンピック聖火リレーの聖火フェスティバルで活用する種火採火イベント」を開催した。静岡県では全35市町が、各地域の特色を否かした形で採火を実施。伊豆市では修善寺の境内にて「キャンドルナイトin修善寺温泉」から譲り受けた祈願ろうそくの火から、10人の採火者が種火を採った。採火された種火は翌17日の採火式へと引き継がれた。採火者は市内の社会福祉団体、事業所の代表者だった。



Message 採火者・協力者・関係者の声



種火採火者
まどろみ まつば
城所 紗月
東京都港区の障がい者福祉会の50m定で撮影したことから、採火担当に選んでいただきました。多くにできない経験で感謝しましたが、楽しかったです。良い記念になりました。私もスポーツが好きなので、色々挑戦してみたいです。



種火採火者
ひかり よしあき
榎川 美明
初めての大役を無事に終えられて、良かったです。自転車競技はスピードがあって好きです。パラリンピックでも日本人選手にメダルを獲って欲しいです。柔道も今回は伊豆市出身の土居選手が出場するので、楽しみにしています。



修善寺温泉旅館業同組合専任
うさだ かずこ
植田 和子
昨年に続き今年の「キャンドルナイトin修善寺」も残念ながら中止となりましたが、世界に誇るイベントのお手伝いができて嬉しく思います。今日は弘法大師のご遺蹟に感謝しつつ、地域活性化と平和への願いを込めて、火を灯しました。



一般関係者
つるはら たかし
替原 貴志
市民として地元を盛り上げるため、イベントには積極的に参加しています。今日も家族全員で来ました。パラスリートのすごさには前から注目しているので、もっと多くの人に知って欲しいです。子どもたちにもぜひ見せたいです。

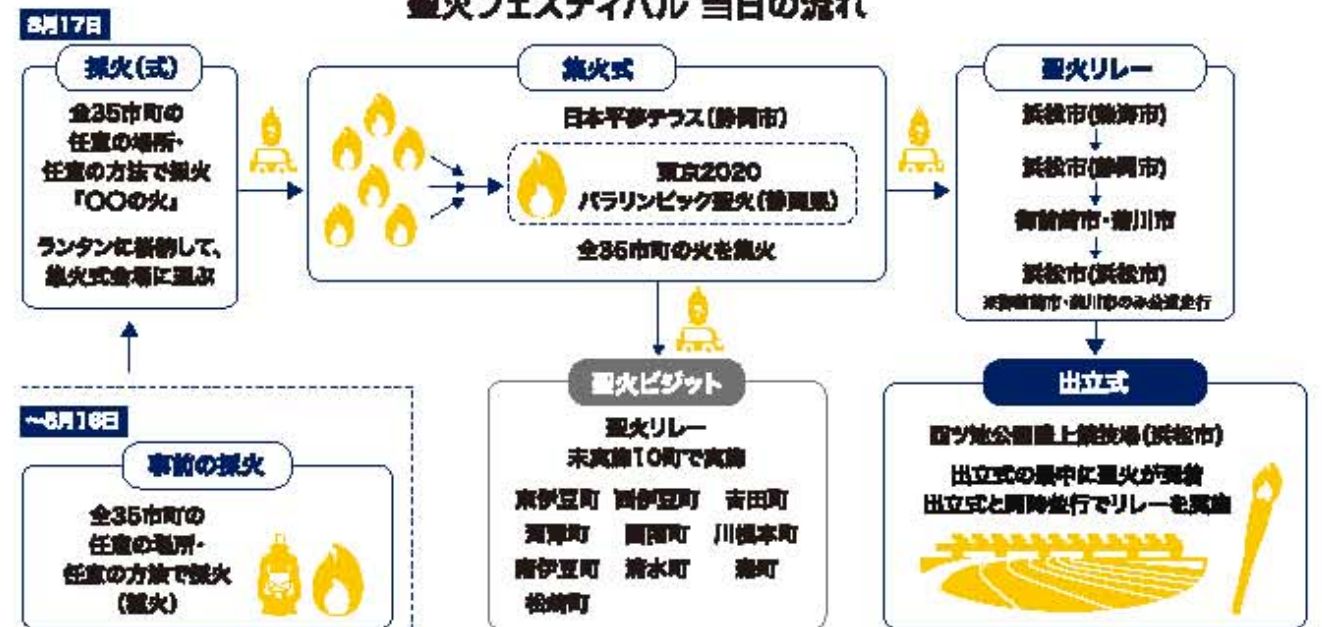
採火式

2021年8月17日(火)
日本サイクルスポーツセンター

伊豆市社会福祉協議会飯田正志会長が手に持った前日採火された種火の入ったランタンから、菊地豊伊豆市長が「自転車と伊豆 今、走り出すの火」を採火した。



聖火フェスティバル 当日の流れ



集火式(静岡県主催)

2021年8月17日(火)
日本平夢テラス

伊豆市を含む静岡県35市町が独自の方法で採火した「〇〇の火」を「日本平夢テラス」に運び、ひとつに集め、「東京2020パラリンピック聖火(静岡県)」とするセレモニーが行なわれた。コロナ禍に伴い、各市町の首長はビデオメッセージにて参加。伊豆市オリンピック・パラリンピック推進課の篠崎名男課長がセレモニーに参加し、代表してランタンを掲げた。



東京2020
オリンピック・パラリンピック
競技大会の記録

TOKYO 2020

オリンピック 自転車競技



マウンテンバイク



大会日程

7月26日(月) 男子クロスカントリー
7月27日(火) 女子クロスカントリー



トラック・レース



大会日程

8月2日(月) 女子チームスプリント
女子チームパーシュート
男子チームパーシュート
8月3日(火) 男子チームパーシュート
男子チームスプリント
女子チームパーシュート
8月4日(水) 男子スプリント/女子ケイリン
男子チームパーシュート
8月5日(木) 男子スプリント/女子ケイリン
男子オムニウム
8月6日(金) 男子スプリント/女子スプリント
女子マディソン
8月7日(土) 女子スプリント/男子ケイリン
男子マディソン
8月8日(日) 男子ケイリン/女子スプリント
女子オムニウム



マウンテンバイク

2021年7月26日(月)・27日(火)の2日間、日本サイクルスポーツセンター内に特設された「伊豆マウンテンバイクコース」にて、男子クロスカントリーと女子クロスカントリーが開催された。全長4.1km、高低差約160mの閉鎖コースには、伊豆の観光名所や日本にちなんで命名された箇所が設けられ、パワーやテクニックなどのあらゆる技術が最大限求められた。世界最先端にして最高の難度を誇るコースに、選手たちは返りみれになりながら果敢に挑んだ。観客はコース沿いから熱戦を見守った。

男子クロスカントリー			
日	天気	気温	観衆
7/26(月)	晴れ	29℃	3400人
女子クロスカントリー			
日	天気	気温	観衆
7/27(火)	晴れ	25℃	2900人

伊豆マウンテンバイクコース



競技説明



クロスカントリー

起伏に富む山岳コースが舞台となり、全選手が一斉にスタートして新緑を飾る「マウンテンバイク男女クロスカントリー」は、1996年アトランタ大会から正式種目に。



マウンテンバイク



険しい盛り板や急な岩場の下り坂が繰り返すコースを、男子では7回、女子では5周走り、激闘の末に男子ではトーマス・ビドコック選手(英国)が金メダルを獲得。日本代表の山本幸平選手は29位に終わった。女子ではヨランダ・ネフ選手(スイス)が金メダルに輝き、銀・銅メダルもスイスの選手が独占。日本代表・今井美穂選手は37位となった。



東京2020大会
自転車競技(マウンテンバイク)
日本代表選手



やまもと こうへい
山本幸平 選手



いまい みほ
今井美穂 選手





トラック・レース

伊豆ベロドロームにて、2021年8月2日(月)～8日(日)の7日間にわたりトラック・レース男女各6種目が開催された。オリンピックでは、屋内競技場としては本会場が唯一の有観客となり、会場では観客がマスクの着用・手指消毒といった新型コロナウイルス感染症対策を十分に行なった。さらに声援に代えて手を振ったり、大きく拍手したりして、選手たちを熱く応援。貴重な観戦の機会を楽しんだ。

日	天	気	観客
8/2(月)	晴れ	28℃	600人
8/3(火)	晴れ	31℃	500人
8/4(水)	晴れ	29℃	600人
8/5(木)	晴れ	29℃	800人
8/6(金)	晴れ	30℃	700人
8/7(土)	曇り時々雨	26℃	800人
8/8(日)	雨のち曇り	27℃	900人



競技説明

ケイリン

日本発祥のオリンピック種目「ケイリン」。シドニー2000大会から正式種目に。トラック6周(1500m)の競争を競う。最初の3周はペースメーカーが時速50kmまで先導し、残り3周は選手のみで競い、ゴール周で勝敗が決まる。先行か、追込かの位置取りによる駆け引きやスパートの仕掛けるタイミングに注目。



スプリント

予選は、フライング(助走をつけた)200mを測定し、タイムによって本選の組合せが決まる。本選は、トラック3周(750m)1対1のトーナメント形式。同時にスタートし、ゴールに先着したものが勝利する。スタートから全速力ではなく、先行か追込かの駆け引きで、時にはほとんど止まった状態になることも。フィニッシュ手前の劇的なフルパワーの勝負にも注目。



オムニアム

ロンドン2012大会から正式種目に。1日間で4種目(スクラッチ/アンボ・レース/エリミネーション/ポイント・レース)で獲得したポイント数で順位を競う。長距離にも短距離にも必要な能力が総合的に求められる。参加選手全てが一斉にスタートし、トラックコース内に集う迫力にも注目。



チームスプリント

男子は3名でトラック3周、女子は2名でトラック2周のタイムを競う。一列に並んでスタートし、1周ずつ先頭を走り、周よけの役目を果たした選手は離脱し残った選手がフィニッシュラインを目指す。予選はタイムトライアル。本選は、予選タイム順により決まった組合せの2チームでタイムを争い、勝ち越したチームが金メダルを獲得する。



チームパーシュート

4名1組の2つのチームが、ホームストレッチ・バックストレッチに相対し、号砲と共に同じ方向にスタート。16周(4km)を完走する間に相手チームに追いつくか、チーム3番手の選手が先にフィニッシュすることで勝敗が決する。個々の走力だけでなく、先頭を順番に交代し、風圧による影響を抑え、連携して進むチームワークも求められる。



マディソン

2人でチームを組み、ポイントを獲得するポイントレース。男子は北京2008大会で、女子は東京2020大会で正式種目に。男子は200周(50km)女子は120周(30km)を走行。コース上段を休養エリア、下段をレースエリアとし、同チームの選手が手か体に触れることで交代できる。ポイント獲得方法は、10周に1回防れるスプリント周回で4秒以内につく場合と、メイン集団から抜け出して再度追いつく(ラップ)場合の2種類。獲得したポイント数が最大のチームが勝利する。



出典:公益財団法人日本自転車競技連盟(JCF)公式サイト

東京2020大会 自転車競技(トラック・レース) 日本代表選手



わきもと ゆうた
藤本雄太 選手
男子ケイリン・男子スプリント



にいた ゆうだい
新田祐大 選手
男子ケイリン・男子スプリント



こばやし ゆうか
小林優香 選手
女子ケイリン・女子スプリント



はしもと あきゆき
橋本英也 選手
男子オムニアム



かじはら ゆうみ なかむら ききよ
梶原悠未 選手・中村妃智 選手
女子マディソン・女子オムニアム 女子マディソン



世界トップ選手たちの一流の走りに、会場は熱気に包まれた。学校連携プログラムで参加した静岡県立伊豆総合高校の生徒たちも、直に目にするレースの迫力に感動。その観客たちの応援に応えるかのように記録更新が相次ぎ、女子チームスプリント、女子チームパーシュート、男子チームパーシュートでは世界新記録が更新された。さらに女子オムニウムでは、梶原悠未選手が銀メダルを獲得し、自転車競技日本女子初となる快挙を成し遂げた。



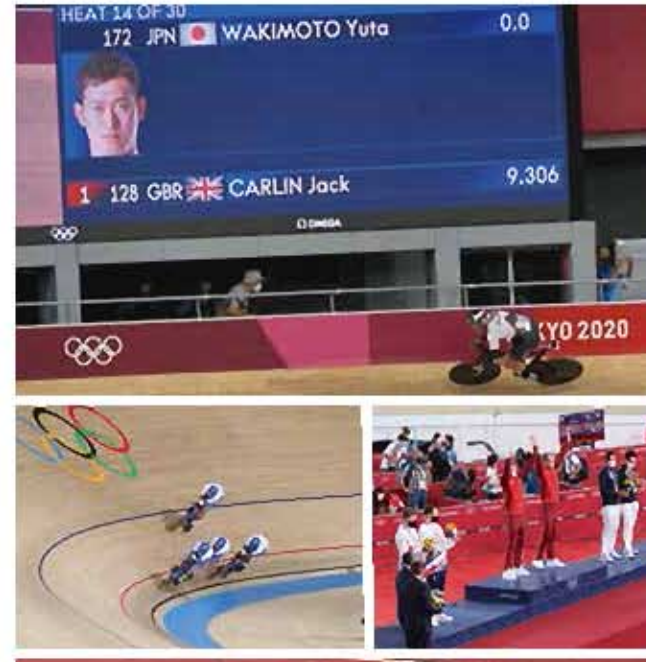
Message 梶原の声



楽しかったです！観客は声援の代わりに拍手で応援していたので、会場内は熱気があがり盛り上がりました。今回は初めて競技を見た方がさらに自転車への興味が湧く、何か今後も続いていくものがあるといいなと感じました。



約10年前から新田祐選手と交流する中で交流があり、今回は新田選手が作ったユニフォームで応援に来ました。会場で観戦することができて嬉しかったです。スタッフの方たちはフレンドリーで、安心して楽しめました。



地元静岡県での開催なので、ぜひ見たいと思っていました。正直会場までどうしようか迷いましたが、見に来て良かったです。移動中も会場内も熱気もなく、持ち運んで観戦できました。やはり生で見る迫力は違いますね。



学校連携プログラムで友人たちと観戦に来ました。学校の授業で自転車競技に興味を持ち、地元で開催されるオリンピックを自分の目で見たいと思っていたので、ずっとワクワクしていました。卒業前にとっても良い思い出になりました。



MTB競技は娘と、今日のトラック競技は祖父と観戦に来ました。MTBでは楽しいコースを駆けながら走り回る選手たちの姿、トラックでは競技の末に銀メダルを獲得した梶原選手の姿に感動しました。見られて良かったです！

東京2020オリンピック・パラリンピック
競技大会の記録

TOKYO 2020

パラリンピック 自転車競技

トラック・レース

大会日程

- 8月25日(水) 女子 3000mパーシュート
男子 4000mパーシュート
- 8月26日(木) 女子 1000mタイムトライアル
男子 3000mパーシュート
男子 1000mタイムトライアル
- 8月27日(金) 女子 500mタイムトライアル
男子 4000mパーシュート
男子 1000mタイムトライアル
- 8月28日(土) 女子 3000mパーシュート
混合 750mチームスプリント
男子 1000mタイムトライアル



トラック・レース

伊豆ベロドロームにて、2021年8月25日(水)~28日(土)の4日開催されたトラック・レース。緊急事態宣言下での大会となり、無観客となった。パラリンピックのトラック・レースは、パラアスリートならではの、鍛え抜かれた肉体と高性能を追求した自転車が織りなすハイパフォーマンスが競技の最大の魅力。スピードを感じるレースが繰り広げられた。

日	種目	気温
8/25(水)	男子のちりめ	31℃
8/26(木)	男子	31℃
8/27(金)	男子	32℃
8/28(土)	男子	31℃



競技説明



タイムトライアル

Bクラス(タンデム)は男女ともに1,000m(4周)、Cクラス(二輪自転車)は男子1,000m(4周)、女子は500m(2周)のタイム計測で順位が決定する。選手はなるべく空気抵抗を少なくしたウェアや自転車を選び、ベストタイムを目指す。障がいに応じて自転車に改造を加えることは、事前に特例として認められた場合を除いて、行なうことはできない。



パーシュート

Bクラス、Cクラスで行なわれ、クラス及び男女によって3,000m(12周)か4,000m(16周)に分かれている。パーシュートの決勝は予選タイム上位選手による1対1の対戦形式で行なわれ、1周250メートルのトラックのホームストレッチとバックストレッチの二手に分かれ、同時にスタートしてタイムを競うが、レース中に半周を違いついて対戦相手を抜いたらその時点で勝ちが決まる。



チームスプリント(混合団体)

(Cクラスのみ)男女混合の3人がチームを組み、定速を3周してタイムを競う。3選手が同時にスタートし、1周ごとに1人ずつ抜け、3人目の選手が4周で1周し定速のタイムを競う。最初の2周は、空気抵抗を減らすための緩急走行によるチームワーク、ラスト1周は、力強いスプリント能力に注目。性別や障がいのクラスごとに1~4点が振り分けられ、合計が10点以内になるようなチーム編成が重要。

出典：一般社団法人日本パラサイクリング連盟 公式サイト



パラリンピックの自転車競技(パラサイクリング)とは?
UCI(国際自転車連合)の規定する競技規則のもと行なわれる障がい者の自転車競技であり、選手は障がいの種類と使用する自転車により4つのクラスに分かれ、さらに障がいの度合いにより分類される。参加する選手の障がいの種類は大まかに四肢障がい(切断、機能障がい)、脳性麻痺、視覚障がい、下半身不随。トラック・レースは、「Cクラス(通常の二輪自転車)」と「Bクラス(二人乗り用タンデム自転車)」2クラス。Cクラスは四肢の障がいの程度によりC1~C5に分類され、数字が小さいほど障がいの程度が重くなる。Bクラスは視覚障がいのみで、前に視覚障がいの選手(パイロット)、後ろに視覚障がいの選手(ストーカー)が乗る。



東京2020大会 パラリンピック自転車競技(トラックレース) 日本代表選手



かわもと しょうゆ
川本翔太 選手



あひい みほ
藤井美穂 選手



あひた まさき
藤田征樹 選手



すぎうら けい
杉浦佳子 選手



パラリンピックでのプレゼンター

日	種目	プレゼンター (氏名)
8/26(木)	女子B 1000mタイムトライアル	増地市長
	男子C2 3000mパーシュート	小長谷副長
	男子C3 3000mパーシュート	小長谷副長
8/27(金)	女子C1-3 500mタイムトライアル	増地市長
8/28(土)	女子B 3000mパーシュート	増地市長
	混合C1-5 750mチームスプリント 男子B 1000mタイムトライアル	小長谷副長

Message 監督の声



けんじょう たいし
監督 権丈 泰巳
一般社団法人日本パラサイクリング連盟専務理事
東京パラリンピック自転車競技日本代表監督
コロナ禍の影響で練習量が減った分、選手自前でやるべきことが多かった印象があります。トレーニングを兼ね、自己ベストも更新するなど、大会でも良い結果が得られるような準備ができました。反響、海外の選手は、コロナ禍でそこまで十分な準備が出来なかった可能性も高く、その辺りの平等では無い部分も強いです。(風刺も含めて)自転車は障がいがある者でも乗ることも出来ます。そして、パラリンピック出場選手は素晴らしいトレーニングを兼ねた練習アスリート。その辺りやスピードそのものを練習して平等に競ってほしいですね。

解説者の声



東京パラリンピック自転車競技解説者 NHK
おせし りょうたろう
大西 涼太郎
日本パラサイクリング連盟 広報
FM777 スポンサー
「Cycling Road to Tokyo」パーソナリティー
東京2020パラリンピック大会自転車競技の中継(NHK)で解説を務めました。私が初めて競技を見た時に感じた大きな衝撃と感動、選手たちの身体能力のすごさを、今大会を通じて一人でも多くの方にも感じてもらえたら嬉しいです。

東京2020大会 自転車競技結果

白熱した競技が連日行なわれ、世界記録が多数更新されました。

オリンピック自転車競技(トラック・レース/マウンテンバイク)競技結果

【マウンテンバイク】

男子クロスカントリー 7月26日(月)

金メダル	英国	トーマス・ビドコック
銀メダル	スイス	マティアス・フリューキガー
銅メダル	スペイン	ダビド・バレロ セラノ
29位	日本	山本 幸平

女子クロスカントリー 7月27日(火)

金メダル	スイス	ヨランダ・ネフ
銀メダル	スイス	ジナ・フライ
銅メダル	スイス	リンダ・インデルガント
37位	日本	今井 美穂

【トラック・レース】

女子チームスプリント 8月2日(月)

金メダル	中華人民共和国	鮑珊菊 BAO Shanju 鍾天使 ZHONG Tianshi
銀メダル	ドイツ	レアソフィア・フリードリヒ エマ・ヒンツェ
銅メダル	ROC	ダリア・シメレワ アナスタシア・ポイノフ

※中華人民共和国 世界記録・オリンピック記録 31秒804

男子チームスプリント 8月3日(火)

金メダル	オランダ	ロイ・ファン デン ベルク ハリー・ラブレイセン ジェフリー・フーグラント マティアス・プフリ
銀メダル	英国	ライアン・オーウェンズ ジャック・カーリン ジェyson・ケニー
銅メダル	フランス	フロリアン・グラングボ セバスチャン・ピジエ ラヤン・エラル

※オランダ オリンピック記録 41秒431

女子チームパーシュート 8月3日(火)

金メダル	ドイツ	リザ・ブレナウアー フランツィスカ・ブラウーセ ミケ・クローガー リザ・クライン
銀メダル	英国	ケティ・アーチボルド ローラ・ケニー ジョシー・ナイト エリノー・パーカー
銅メダル	アメリカ合衆国	ジェニファー・バレンテ クロー・ダイガート エマ・ホワイト リリー・ウィリアムズ

※ドイツ 世界記録・オリンピック記録 4分4秒24

男子チームパーシュート 8月4日(水)

金メダル	イタリア	シモーネ・コンソニ フィリップ・ガンナ フランチェスコ・ラモン ジョナタン・ミラン
銀メダル	デンマーク	ラッセノーマン・ハンセン ニクラス・ラーセン フレデリック・マドセン ラスムス・ベデルセン
銅メダル	オーストラリア	ケランド・オブライエン サム・ウェルズフォード ルーカス・ブラップ アレクサンダー・ポーター

※イタリア 世界記録・オリンピック記録 3分42秒307

女子ケイリン 8月5日(木)

金メダル	オランダ	シャネ・プラスベニクス
銀メダル	ニュージーランド	エレセ・アンドルーズ
銅メダル	カナダ	ロリアヌ・ジュネ
16位	日本	小林 優香

※オランダ オリンピック記録 41秒431

男子ケイリン 8月8日(日)

金メダル	英国	ジェyson・ケニー
銀メダル	マレーシア	アジズルハスニ・アワン
銅メダル	オランダ	ハリー・ラブレイセン
7位	日本	藤本 雄太
16位	日本	新田 祐大

※英国 世界記録・オリンピック記録 3:17.593

男子オムニアム 8月5日(木)

金メダル	英国	マシュー・ウォールス
銀メダル	ニュージーランド	キャンベル・スチュアート
銅メダル	イタリア	エリア・ピピアニ
15位	日本	橋本 英也

女子オムニアム 8月8日(日)

金メダル	アメリカ合衆国	ジェニファー・バレンテ
銀メダル	日本	梶原 悠未
銅メダル	オランダ	キルステン・ウィルト

女子スプリント 8月8日(日)

金メダル	カナダ	ケルシー・ミッチェル
銀メダル	ウクライナ	オレナ・スタリコワ
銅メダル	香港	李麗詩(Wai Sze Lee)
16位	日本	小林 優香

※ドイツ レアソフィア・フリードリヒ 予選 オリンピック記録 10秒310
※小林優香 予選17位 日本記録 10秒711

男子スプリント 8月6日(金)

金メダル	オランダ	ハリー・ラブレイセン
銀メダル	オランダ	ジェフリー・フーグラント
銅メダル	英国	ジャック・カーリン
9位	日本	藤本 雄太
26位	日本	新田 祐大

※オランダ ジェフリー・フーグラント 予選 オリンピック記録 9秒215
※藤本雄太 予選9位 日本記録 9秒518

女子マディソン 8月6日(金)

金メダル	英国	ケティ・アーチボルド ローラ・ケニー
銀メダル	デンマーク	アマリー・ディデリクセン ユリ・レト
銅メダル	ROC	グルナス・ハトウツェワ マリア・ノボロトスカヤ
13位	日本	梶原 悠未 中村 紀智

男子マディソン 8月7日(土)

金メダル	デンマーク	ラッセノーマン・ハンセン ミカエル・メルコウ
銀メダル	英国	イーサン・ヘイター マシュー・ウォールス
銅メダル	フランス	パンジャマン・マ ドナバン・グロンダン

パラリンピック自転車競技(トラック・レース)競技結果

女子C1-3 3000mパーシュート 8月25日(水)

金メダル	オーストラリア	ベージ・グレコ C3
銀メダル	中華人民共和国	王小梅 C3
銅メダル	ドイツ	デニゼ・シンドラー C3
5位	日本	杉浦 佳子
15位	日本	藤井 美穂

※C3クラス オーストラリア 世界記録・パラリンピック記録 3:52.283
※C2クラス 中華人民共和国 世界記録・パラリンピック記録 4:06.263
※C1クラス 中華人民共和国 世界記録・パラリンピック記録 4:31.376

女子C4 3000mパーシュート 8月25日(水)

金メダル	オーストラリア	エミリー・ベトリコラ
銀メダル	アメリカ合衆国	ショーン・モレリ
銅メダル	カナダ	キーリー・ショー

※オーストラリア 世界記録・パラリンピック記録 3:38.061

女子C5 3000mパーシュート 8月25日(水)

金メダル	英国	サラ・ストーリー
銀メダル	英国	クリスタル・レーン ライト
銅メダル	フランス	マリ・パトゥイユ

※英国 世界記録・パラリンピック記録 3:27.057

男子C1 3000mパーシュート 8月26日(木)

金メダル	RPC	ミハイル・アスタシヨフ
銀メダル	カナダ	トリスステン・シュルノブ
銅メダル	中華人民共和国	李樟煜

※RPC 世界記録・パラリンピック記録 3:35.954

男子C2 3000mパーシュート 8月26日(木)

金メダル	フランス	アレクサンドル・ルオテ
銀メダル	オーストラリア	ダレン・ヒックス
銅メダル	中華人民共和国	梁貴華
4位	日本	川本 翔大

※フランス 世界記録・パラリンピック記録 3:31.817

男子C3 3000mパーシュート 8月26日(木)

金メダル	英国	ジャコ・バン ギャス
銀メダル	英国	フィンレー・グレアム
銅メダル	オーストラリア	デービッド・ニコラス
8位	日本	藤田 征樹

※英国 世界記録・パラリンピック記録 3:17.593

男子C4 4000mパーシュート 8月27日(金)

金メダル	スロバキア	ヨゼフ・メテルカ
銀メダル	ルーマニア	カロル エドゥアルド・ノバク
銅メダル	コロンビア	ディエゴヘルマン・ドゥエニャス

※オーストラリア 世界記録・パラリンピック記録 3:38.061

男子C5 4000mパーシュート 8月27日(金)

金メダル	フランス	ドリアン・フロン
銀メダル	オーストラリア	アリスティア・ドナフ
銅メダル	ウクライナ	エオル・デメンチェフ

※フランス 世界記録・パラリンピック記録 4:18.274

女子C1-3 500mタイムトライアル 8月27日(金)

金メダル	オーストラリア	アマンダ・リード C2
銀メダル	オランダ	アリダ・ノルブルイス C2
銅メダル	中華人民共和国	錢玉偉 C1
4位	日本	杉浦 佳子
7位	日本	藤井 美穂

※C2クラス オーストラリア 世界記録・パラリンピック記録 35.581
※C1クラス 中華人民共和国 世界記録・パラリンピック記録 38.070

女子C4-5 500mタイムトライアル 8月27日(金)

金メダル	英国	カティナ・コックス C4
銀メダル	カナダ	ケート・オブライエン C4
銅メダル	オランダ	カロリネ・フロート C5

※C5クラス オランダ 世界記録・パラリンピック記録 34.433
※C4クラス 英国 世界記録・パラリンピック記録 35.599

男子C1-3 1000mタイムトライアル 8月27日(金)

金メダル	中華人民共和国	李樟煜 C1
銀メダル	フランス	アレクサンドル・ルオテ C2
銅メダル	英国	ジャコ・バン ギャス C3
6位	日本	川本 翔大 C2
15位	日本	藤田 征樹 C3

※C3クラス 英国 世界記録・パラリンピック記録 1:05.569
※C2クラス フランス 世界記録・パラリンピック記録 1:05.031
※C1クラス 中華人民共和国 世界記録・パラリンピック記録 1:03.877

国別メダル獲得一覧

国名	マウンテンバイク			トラック・レース			合計
	金	銀	銅	金	銀	銅	
英国	1			3	3	1	8
オランダ				3	1	2	6
スイス	1	2	1				4
デンマーク				1	2		3
ドイツ				1	1		2
ROC						2	2
フランス						2	2
アメリカ合衆国				1		1	2
イタリア				1		1	2
ニュージーランド						2	2
カナダ				1		1	2
スペイン			1				1
中華人民共和国				1			1
オーストラリア						1	1
マレーシア					1		1
ウクライナ					1		1
香港						1	1
日本					1		1
	2	2	2	12	12	12	42

男子C4-5 1000mタイムトライアル 8月26日(木)

金メダル	スペイン	アルフォンソ・カベリョ リヤマス C5
銀メダル	英国	ジョディ・カンディ C4
銅メダル	スロバキア	ヨゼフ・メテルカ C4

※スペイン 世界記録・パラリンピック記録 1:01.557

男子B 4000mパーシュート 8月25日(水)

金メダル	オランダ	トリススタン・バングマ パイロット:BOS Patrick
銀メダル	英国	スティーブン・ペート パイロット:DUGGLEBY Adam
銅メダル	ポーランド	マルチン・ボラク パイロット:LADOSZ Michal

※オランダ 世界記録・パラリンピック記録 3:59.470

女子B 3000mパーシュート 8月28日(土)

金メダル	英国	ローラ・ファチー パイロット:HALL Corrine
銀メダル	アイルランド	ケティ・ジョージ・ダンレヒ パイロット:McCRYSTAL Eve
銅メダル	フランス	ソフィー・アンウィン パイロット:HOLL Jenny

※英国 世界記録・パラリンピック記録 3:19.483

女子B 1000mタイムトライアル 8月26日(木)

金メダル	オランダ	ラリサ・クラッセン パイロット:BROMMER Imke
銀メダル	英国	アイリーン・マクグリム パイロット:SCOTT Helen
銅メダル	ドイツ	フリート・フート パイロット:MONSIEUR Annelien

※オランダ パラリンピック記録 1:05.291

男子B 1000mタイムトライアル 8月28日(土)

金メダル	英国	ニール・ファチー パイロット:ROTHERHAM Matthew
銀メダル	英国	ジェームズ・ポール パイロット:STEWART Lewis
銅メダル	フランス	ラファエル・ボジュ パイロット:PERVIS Francois

※英国 世界記録・パラリンピック記録 58.038

混合C1-5 750mチームスプリント 8月28日(土)

金メダル	英国	ジョディ・カンディ C4 ジャコ・バン ギャス C3 カティナ・コックス C4
銀メダル	中華人民共和国	李樟煜 C1 呉国慶 C4 賴善章 C5
銅メダル	スペイン	リカルド・テン アルヒス C1 パブロ・ハラミヨ ガリャルド C5 アルフォンソ・カベリョ リヤマス C5

※英国 世界記録・パラリンピック記録 47.579

国別メダル獲得一覧

国名	トラック・レース			合計
	金	銀	銅	
英国	7	8		15
オーストラリア	4	2	1	7
フランス	2		4	6
中華人民共和国	1	2	3	6
オランダ	2	1	2	5
カナダ		3	2	5
スペイン	1		1	2
スロバキア	1		1	2
アメリカ合衆国		2		2
ドイツ			2	2
RPC	1			1
ルーマニア		1		1
ポーランド			1	1
コロンビア			1	1
ウクライナ			1	1
	19	19	19	57

トラック・レース



こばやし ゆき
小林 悠未 選手

東京2020大会では、ずっと応援してくださった皆さんへ金メダルを持ち帰って、感謝の気持ちを伝えたいという思いをもって大会に挑みました。大会が近づいた2019年10月頃、二人三脚で私の競技生活をサポートしてくれている母と一緒に伊豆へ引っ越してきました。伊豆の道は、練習に選んだいろんな種類の山があってすごく環境がいいです。コロナ禍はリモートの授業で忙しかった時も、空き時間に近くの山で練習ができたので、喜ばれていました。伊豆の第一印象は、皆さんが優しいことです。知らない人が私に気づいて挨拶してくれるので、町玉で生まれ育った私はビックリしました。「頑張ってね」という声かけを頂くと涙が出るほど嬉しかったです。それで、また「苦しいトレーニングも頑張ろう!」と、自分を奮い立たせることができました。いろいろな思いで毎日自転車に乗っていて、「強くなりたい」、「金メダルをと

りたい」という思いで世界を越える練習をします。練習は楽しいんです、苦しいんですけど「進んでいってほしい」です。山にこもって練習しているので、母に仙人みたいだと書かれます。練習環境を整えることで、たくさん練習もあります。例えばスポンサーや活動資金を集めることは大変です。でも、皆さんから声援を送って買けると、自転車をやっていると本当に良かったと思えます。リフレッシュしたい時は、ショッピングや映画などにも行きますが、練習コースにある富士山が見える場所が私のお気に入りスポットです。伊豆で一帯好きな食べ物、伊豆で練習されている友達のピオーネ、お米、肉も美味しいです。練習ではよく虫やイノシシにも遭遇します(笑)。東京2020大会を乗り越えた今の思いとしては、オムニウムで金メダルを獲得することができて良かったと思っています。でも、金メダル獲得が目標だったので、最終種目レースのゴール直後は悔しくて、涙があふれてきました。その時から、次のパリ2024大会で金メダルを獲得することが目標です。自転車では日本人女子が世界で通用することを証明したいです。パリ2024大会では、日本代表が女子の団体競目でもオリンピックに出場できれば素晴らしいと思います。

金で応援してくださった皆さんへ
たくさんの方の応援ありがとうございます。皆さんの応援が力になり、頑張ることができました。これからも運命の応援、ご声援をよろしくお願ひします。

取材協力: (公財)日本自転車競技連盟、(公財)JKA

オリンピック自転車競技

マウンテンバイク



やまもと こくへい
山本 幸平 選手

日本代表として、北京2008大会から通算4度目の出場でした。前回リオ2016大会との違いは、納涼して家族と一緒に迎えたオリンピックとなったことです。1年延期の間に2人目の子が生まれ、上の子は3歳になりました。1年の延期は、選手としては簡単なものではなかったです。家族と過ごすことで、自分を奮い立たせて頑張れました。食事面でも妻のサポートに感謝しています。伊豆MTBコースは素晴らしい、ロックセクションでのジャンプ、急坂など、1つのミスでもダメージに繋がる、気の抜けない世界レベルの難コースという印象です。レース本番ではワールドカップを制してきた経験を生かし、粘って29位完走しました。気が通ったイタリアのように素晴らしい伊豆には、何度も大会で訪れています。東京2020大会での引退を決めていたので、今後は日本のマウンテンバイク発展に貢献していきたいです。伊豆市での開催実績を活かしたレガシーイベントやワールドカップの開催実現に期待します。



いまい るな
今井 美穂 選手

元々シクロクロスというオフロード競技に取り組んでいて、東京2020大会出場を目指してマウンテンバイクに転向し、意図の初出場が叶いました。昔は小学校の教員です。競技との両立が大変でした。今振り返ると代表に決まるまでの苦労レースとその後の練習では、一生で二度とないほど頑張っていたと思います。伊豆MTBコースは岩や急坂のテクニカルなフューチャーが8ヶ所あり、「天城越え」や「雨子歩道」、「桜峠」といった伊豆や日本らしい名称が付いた難コースです。レース本番は、世界レベルのペースが強く、休むところもなく心が折れそうになりました。でも、コースのあちこちで観客の応援が聞こえてきて、何とか進めることができました。今回は伊豆を観光する余裕がなかったので、次はぜひイベントや大会でゆっくり再開したいです。今は動機で回りの子どもたちに自転車の魅力を伝えていますが、将来的には自転車界の未来を担う子どもたちの育成にもご協力できたらと思います。



トラック・レース



くぼ ゆさく
窪本 雄太 選手

前回のリオ2016大会に次いで2度目のオリンピック出場です。自国開催オリンピックを楽しむということが目標で、日本発祥のスポーツ、ケイリンで自転車の日本代表として世界と戦ったことを誇りに思います。準決勝まで自分自身納得ができる走りことができました。伊豆市に伊豆ベロドロームがなかったら、これだけの良い練習場は築き上げられなかったですし、男沼には狩野川のような良い練習コースがあります。そこで会う人たちが声をかけて応援して下さるのがとても嬉しかったです。食事面ではフランス人栄養士の指導を受け、料理は妻にサポートしてもらいました。おそばや豚汁などのスープが好きで、イノシシなどジビエはオフのときに食べました。修善寺や天城へ食事に出かけるのも楽しみの1つです。選考も有観客での開催となり、温かい応援を送って頂いて感謝しています。今後は選手として、人生を豊かにしてくれた自転車界で何か貢献ができればと思います。当分の間伊豆に住んでいますので、見かけた声をかけてください。



ありま ゆた
新田 拓大 選手

私の東京2020大会での目標は金メダルを獲得することでした。そのために日々のトレーニングと準備を続けてきました。結果は目標には至らなかったのですが、世界へ挑戦できたことができて良かったです。5年前フランス人のプロノブ監督が就任し、メダル獲得へのプロセスが生まれ、新しい試みへの挑戦が始まりました。外国人監督やコーチとの練習方法も含め、文化の違いもあって最初のうちは大変でしたが、徐々に結果もついてきて目標達成が見えてきました。その間、伊豆に住んで良かったことは山ありです。ここは海の幸と山の幸が豊富で美味しい食材の宝庫です。体力作りには欠かせない食事面においても素晴らしい環境です。市民の皆さんとの交流も力になりました。子どもたちに向けた練習をさせてもらったり、食材を提供してもらったりしたことなど思い出に残っています。それも競技に集中できる良い環境の要因です。東京2020大会での経験は、今後の人生において何か良い形に繋がっていただけたらと思います。



オリンピック自転車競技

トラック・レース



こばやし ゆか
小林 優香 選手

私は東京2020大会出場を目指してパレーボールから自転車競技へ転向しました。競輪学校時代に伊豆市で成人式を迎えたので、ここを第二の故郷のように感じています。コロナ禍での開催延期で精神的に辛くなり、選手を辞めようと考えた時期もありました。そんな時、近所に住んでいる人たちに「頑張っただけ」と声をかけて頂いたり、日本代表として注目されたりしたことで、東京2020大会の金メダル獲得という原点に戻り、再び挑戦を決めることができました。直前のネーションズカップで優勝し、コンディションも上々で本番を迎えました。残念ながら、オリンピック独特の雰囲気のため結果は目標に届きませんでしたが、伊豆市が舞台だったおかげで有難さとなり、会場で受けた応援は本当に嬉しいものでした。ここは私の好きな海の中も豊富ですし、道の駅で買える地元の野菜も好きです。休日はカレー屋のジブや東京やなどにも行きました。今後の人生では、この経験を生かし、選手として何か大きな目標を達成したいです。



トラック・レース



なかもり なみ
中村 妃智 選手

今回私は、マディソンという種目で、梶原悠未選手とペアを組んで出場しました。5年前、日本代表候補に選ばれた当初は団体競目チームパーシュートの選手でした。しかし、日本は団体競目の出場権が獲得できず、希望を失いかけて、最後に可能性が残されたマディソン代表種目での出場へ気持ちを切り替えました。その道は精神的にも大変なものでした。自国開催ということで、伊豆ペドロームで宿舎を受けて走ったオリンピック本番。完璧でなく、独特の雰囲気や世界との差を実感しました。伊豆市で数年間暮らしながら練習してきたので、素晴らしい思い出がたくさんできました。善徳寺や天城のトレーニングコースが好きで、1人で走りに行くのが癒やされます。伊豆に来て好きになった食べ物はいっぱいあります。道の駅に地元の新鮮な食材とともによく買いに行きました。今後は、私自身も頑張りますが、若い女子選手たちが世界へ挑戦するために何か役に立てたらと考えています。応援頂いた伊豆市の皆さんに深く感謝しています。



ほんま えいた
橋本 英也 選手

私は競輪選手でありながら、チームブリューストンというロードチームにも所属し、競輪とはまた違ったトラック競技でオリンピックを目指す、いわば3足のわらじを履く活動をしています。今回は2018年アジア選手権で優勝した中長距離4種競技、オムニアムに出場しました。目標と違いましたが、一生に一度の自国開催オリンピックで素晴らしい経験をさせて頂きました。競輪人生の中でもパフォーマンスの高いこの年に出場できたことは運命的でしたし、伊豆市で過ごした5年間で地元の皆さんとも交流でき、応援が力になりました。ここには良いコースがたくさんあり、自転車には良い環境です。私は伊豆ペドロームでのトラック練習以外に、ロード練習でもよく走ります。例えば善徳寺から戸田峠に向かって登る瀬田山や、西伊豆スカイラインの眺めなど、景色の良いコースが大好きです。今後の目標としては競輪選手とロード選手を両方続けていき、世界で勝てる選手を目指したいと思っています。



取材協力: (左) 日本自転車競技連盟、(右) JICA

パラリンピック自転車競技

トラック・レース



かわもと しょうた
川本 翔大 選手
右足だけで自転車を漕ぐ、C2クラスの選手

目標が金メダルだったので、(個人パーシュート3,000m)4位という結果は本当に悔しいです。(大会中にすぐに乗り替えられましたが)ワールドレコードである自己ベストを出すことができ、自分がこれまでやってきたトレーニングのおかげで強くなっている実感がありました。海外選手の實力もそれより上回っていたという結果ですので、もっと強くなるように、今回のレースを見直し、改善できる所は改善し、良かったところはもっと伸ばしていけるようなトレーニングを、しっかりとやっていきたいです。

(伊豆市の思い出)『オリーブの木』を合宿の拠点として、本当によく自転車で走りに行きました。どのコースでも走りやすく、車と距離も開けてくれるし、応援の声をかけてくれる方もいて、自己ベストが出せた大会の原動力になりました。さらに食事面では、伊豆エリアで何度も食べた新鮮な刺身や鯛といった魚料理のおいしさも合わせて、伊豆市民をはじめ伊豆エリアの皆さんには改めて感謝しありません。ありがとうございます!

今後は、所属する会社のある愛知県を中心にトレーニングを重ねることになります。同じ、(愛知県内を)何度も走りましたが、伊豆エリアが自転車に選んだ環境であることを実感し、その素晴らしさを改めて感じました。今度も、合宿など節目には伊豆市周辺でトレーニングをすることもありますが、見かけたときには声をかけて頂けると嬉しいです。これからもぜひ応援をよろしくお願いいたします。



かりや みみ
藤井 美穂 選手
左足だけで自転車を漕ぐ、C2クラスの選手。

東京2020大会は、いつもの(合宿等でトレーニングを重ねている)伊豆ペドロームに、コロナ禍もあったのに海外をはじめ、多くの一環選手が集まっていることが、想像以上に、うれしい気持ちになりました。結果は7位入賞、次の大会に向けて1ポイントでも多くとれるように、また、良い順位になれるようにトレーニングを重ねていきたいです。

(伊豆市の思い出)伊豆エリアは色々なコースを走ることができて、ドライバーの多くが自転車から距離を取って走ってくれるので、自転車乗りには最適なエリアだと思っています。また、伊豆の『食』も大好きで、本当においしいものがたくさんあります。(合宿時の宿舎)『オリーブの木』のスタッフの皆さんには本当にお世話になりました。おいしいご飯のおすそ分けも何度も頂き、そのお礼にお菓子を少しお返しさせてもらったら、そのお返し程の美味しい差し入れを頂くことがあるなど、とにかく伊豆市の皆さんには感謝しありません。そのおかげで、徐々に成績が上がってきていますし、いつも無かい応援によって成長できています。パラサイクリングには強くて面白い選手がいっぱいいるので、もっと多くの人にパラサイクリングを知ってもらい、応援してもらえたらとても嬉しいです!



やまだ たくや
原田 征樹 選手
両足踏足のC3クラスの選手

4回目のパラリンピック挑戦で目標としていたメダル獲得には至らなかったことは自分自身にとって心残りな部分です。前回大会から4年間と大会延期でさらに1年間の積み重ねはとて多くのことを考えましたが、なんとか積み重ねてやり遂げることができました。コロナ禍で誰もが、大変な状況の中でも、変わらず自分に対して、パラリンピアンに対して、本当に多くの方が心から応援してくださったことが原動力となり、そのおかげで一生懸命走り続けることができました。ありがとうございます!

(伊豆市の思い出)合宿で向かう『伊豆スカイライン』から良く眺めた日に眺める周辺の景色や『だるま山高原レストハウス』からの富士山は綺麗ですね。何度も写真を撮りましたけど、天気が悪いと真っ白な景色が広がるだけなのも合わせて、大好きな場所です。また、合宿宿舎として『オリーブの木』で大会前の6月に生まれて初めて『鯛』を目の当たりにして、感動しました。

たくさん応援を力に変えることができた伊豆と自転車って、これからも切り離して考えることができないですね。海あり、山あり、一生懸命トレーニングで走っても、楽しんで走ってもどんな状況でも楽しめるのが伊豆エリアです。パラサイクリングもその輪の中に加わって、一緒に走って、一生懸命楽しんでいきたいと思っていますので、今後ともご支援やご声援をよろしくお願いいたします。



取材協力: (一社)日本パラサイクリング連盟

Road to 2020
and
beyond

第2部



チーム伊豆市の軌跡

東京2020大会自転車競技(トラック・レース/マウンテンバイク)開催に向け、
さまざまな困難も乗り越えて、伊豆市は市民とともに準備を重ねてきた。
大会の成功とさらなる伊豆市の発展を願い、一人ひとりが力を尽くした。

45 デイ・カウンターリレー

54 カウントダウンイベント

62 市民との取り組み

68 Pick Up!! 本大会開催 in 伊豆ペロFRO-ム

69 Pick Up!! 東京五輪開幕-2020-

70 次の世代へ

78 Pick Up!! 本大会開催 in 伊豆総合体育中校

82 Pick Up!! 大会準備期間中

85 ボランティア

90 Pick Up!! 大会当日の準備とよし

92 伊豆市役所の取り組み

106 修善寺駅周辺

112 広域連携

121 スポンサー募集

『デイ・カウンター』リレー Day Counter Relay

東京2020大会自転車競技伊豆開催までの
日数を書いてもらい、総勢4,723人2,731組
が笑顔と共に集い『デイ・カウンター』開催
まで毎日、修善寺駅設置の『デイ・カウンター』
ボードやInstagramなどで公開した。



Day Counter Relay

スタート! →

高と
1682日
伊豆オリンピック開催を
祝う会 2016.12.10
東京2020大会自転車競技伊豆開
催が決定し、修善寺総合会館で記
念セレモニーが開催される。

高と
1500日
『デイ・カウンター』ボード
除幕式 2019.6.15
修善寺駅に『デイ・カウンター』
ボードが設置された。除幕式に先
立ち、日本自転車競技連盟榎本聖
子会長(当時)が講演。

高と
1300日
『デイ・カウンター』リレー
開始 2017.1.1
市内外の人に東京2020大会自転
車競技伊豆開催までの日数を書い
てもらい、笑顔と共に集う『デイ・カ
ウンター』リレーがスタート。



あと
1090日

**ふじのくに
サイクルチャレンジ
in伊豆** 2017.7.30

大会開催3年前を記念して、伊豆ペロドロームの歩行・走行体験、パラサイクリング体験などのイベントが実施された。

あと
1061日~1359日

**市内小中学校に
フラッグ巡回** 2017.8.28~30

伊豆市内の全小中学校を、オリンピック・パラリンピックフラッグが巡回。児童・生徒の一生に一度の思い出を残すと共に、東京2020大会への夢田を園った。



あと
995日

異文化理解出前講座
2017.11.2~

こども園・保育園、小学校・中学校などで、国際交流員を講師に、英語と日本語で異文化を学ぶ講座が始まった。

あと
935日

**エンブレム入り増刷版、
出生届配布開始**
2018.1.1

開催地としての特別感を出すため、全国で初めて東京2020大会エンブレム入り増刷届と出生届の配布を開始した。



あと
764日

**伊豆市ユニバーサル
ツーリズム研修会**
2018.8.21

東京2020大会自転車競技開
催地として、年齢や障がいの有
無に関わらず旅行を楽しむこと
ができるポイントを学ぶ研修会
を実施。

あと
733日

**東京2020大会
2年前イベント** 2018.7.22

東京2020大会自転車競技開
催開催を全国に発信する特命
式、PRキャラバン隊の出陣式な
どが伊豆ペロドロームで開催さ
れた。キャラバン隊には、チーム
プロダクションサイクリングの選手
や民間企業の有志など約20名
が参加。



あと
654日

**「東京五輪青森-2020」
練習会** 2018.10.3

市職員が副団となり、「東京
五輪青森-2020」の練習会
がスタート。この後も、様々な
機会です民が首領を練習。

あと
581日

**マスコット
プレゼントセレモニー**
2018.12.21

市内の全こども園、保育園、小
中義務教育学校に東京2020
オリンピック・パラリンピックマ
スコットを配布。セレモニーに
は、等身大のマスコット「ミライ
トフ」「ソメイティ」も参加。



あと
511日

**大会PR映像と
ガイドブックが完成**
2018.3.1

東京2020大会自転車競技伊豆開催のPR映像とガイドブックが完成。伊豆市を国内外に発信した。

あと
500日

**500日前イベントを
開催**
2019.3.12

オリンピック開催500日前を記念して、修善寺南小学校の児童にオリンピックがオリンピックの経験談と努力の大切さを語った。また、プロ選手が漕ぐ自転車の速度にチャレンジする体験も実施。



あと
341日、338日

**大会1年前
記念花火の打ち上げ**
2018.8.16、21

土肥サマーフェスティバルと修善寺弘法大師奉納花火大会で青・黒(濃紫)・赤・黄・緑の5色を基本にした花火を打ち上げた。

あと
237日、236日

大会ボランティア共通研修
2019.11.30、12.1

生きいきプラザにて大会ボランティア(フィールドキャスト)共通研修が行われた。心構え、大会概要などを学んでいた。



あと 125日
大会の延期決定 2020.3.24
 新型コロナウイルス感染症感染拡大により、大会の延期が決定された。3月25日には「ティ・カウンターリレー」を中止。3月30日に新たな開催日程が決定され、再スタートとなった。

あと 122日
おもてなし大作戦 In修善寺駅 2021.3.20
 市民や企業の方など約100人が参加し、無観客の輸送拠点駅である修善寺駅周辺のゴミ拾いや、駅周辺の手すりやベンチの拭き掃除などを実施。1時間のゴミ拾いで、約50kgのゴミが集まった。



あと 91日
市内各所の観脚を開始 2021.4.23
 観脚幕やのびり旗などによる市内各所の観脚を開始。認定こども園あゆのさとの園児も手伝った。

あと 28日
オリンピック聖火リレー 2021.4.26
 修善寺小学校前から修善寺総合会館までの約1.8kmを9人の聖火ランナーが駆け抜けた。沿道では、「新しい時代の日の出となり、人々に希望の道を照らし出す」聖火リレーを、伊豆市内全小中義務教育学校の児童・生徒が観覧した。

開催日
0日

カウントダウン
イベント

カウントダウン イベント
開催
1500日
前

「デイ・カウンター」ボード除幕式 &
橋本聖子さん講演会

2016年6月15日(水)
修善寺駅・伊豆市民文化ホール

1500日前イベントとして、伊豆箱根鉄道修善寺駅で、大会開催当日までのカウントダウンを行なう「デイ・カウンター」ボードの除幕式を行なった。デイ・カウンターボードは、静岡県立伊豆総合高等学校建築工学科の有志が制作。伊豆半島産のヒノキ材を使用し、伊豆ペドロームの木製走路をイメージしてデザインした。公益財団法人日本自転車競技連盟の橋本聖子会長、静岡県土産物産課長、菊地重伊豆市長などの除幕により、ボードが披露されると、会場からは大きな拍手が湧き起こった。



同日、伊豆市民文化ホールにて、橋本聖子さんによる「オリンピック・パラリンピックがもたらすもの—スポーツを通じた人材育成と健康づくり—」と題した講演会を実施。大会開催に向けて市民が決意を新たにする場となった(市内外から約300人参加)。

東京2020大会自転車競技伊豆会場決定の歩み

- 2013年 9/7 アルゼンチンのブエノスアイレスで行なわれたIOC総会にて、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催が決定。
- 2015年 12/9 スイスのローザンヌで行なわれたIOC理事会にて、伊豆ペドローム/伊豆マウンテンバイクコースでの東京2020オリンピック競技大会自転車競技(トラック・レース/マウンテンバイク)開催が決定。
- 12/10 美しい伊豆観光センター主催「伊豆オリンピック開催を祝う会」開催。
- 2016年 4/16 ドイツのボンで行なわれたIPC理事会にて、伊豆ペドロームでの東京2020/パラリンピック競技大会自転車競技(トラック・レース)開催が決定。



カウントダウン イベント
開催
4年前

伊豆から自転車競技を盛り上げよう!
自転車競技体験イベント & 壮行会

2016年7月31日(日)
日本サイクルスポーツセンター・
伊豆ペドローム

東京2020大会開催の4年前に当たる2016年7月31日(日)、「伊豆から自転車競技を盛り上げよう!自転車競技体験イベント〜東京2020大会自転車競技(トラック・レース/マウンテンバイク)開幕4年前〜」を、日本サイクルスポーツセンターで開催した(約150人が参加)。イベントでは、当時の世界最高タイム(男子9秒347、女子10秒384)に挑戦する200mタイムトライアル、パラサイクリングに使用する自転車(ハンドバイク・三輪自転車)の試乗体験などを実施した。



同日、伊豆ペドロームで、リオデジャネイロ2016パラリンピック競技大会での活躍を祈念し、自転車競技日本代表選手5名の壮行セレモニーを開催し約100人が直接エールを送った。



開催
3年前

ふじのくにサイクルチャレンジ in 伊豆

2017年7月30日(日)
伊豆ペドローム

東京2020大会開催まで、あと3年となった2017年7月30日(日)に、伊豆ペドロームで記念イベント「～みんなのTokyo2020 3 Years to Go!～ふじのくにサイクルチャレンジ in 伊豆」が開催された(静岡県主催、約800人が参加)。フラッグツアードイベントでは、バルセロナ1992大会金メダリストの岩崎藤子いわざきふじこさんから、オリンピック旗が川勝平太郎かわかつへいたろ静岡県知事と修善寺中学校生徒会長井村安里いむらあさりさんに、パラリンピック旗が菊地重伊豆うぶはらしげのぶ市長と修善寺南小学校児童会長柳原和香やなぎはらわかさんに手渡された。フラッグ歓迎イベントとして、伊豆ペドロームの歩行・走行体験、パラサイクリング体験、トップ選手によるデモンストレーション走行などが行なわれた。



開催
2年前

東京2020オリンピック・パラリンピック 2年前イベント

2018年7月22日(日)
伊豆ペドローム

東京2020大会開催まで2年と迫った2018年7月22日(日)、伊豆ペドロームで、2年前記念イベントが開催された(静岡県主催、約800人が参加)。ふじのくに観光大使の研ナオコけんさん(伊豆市出身)に東京2020大会自転車競技静岡県開催を全国に発信する特命式、静岡県東部20市町を巡るPRキャラバン隊(約20人)の出陣式などが開催された。伊豆ペドロームでは、デモンストレーション走行、ランニングバイク試乗体験、自転車競技トップ選手写真撮影&サイン会などが行なわれ、東京2020大会パートナー企業などによる体験型ブースが設置された。



開催
500日前

オリンピックのトークショー & プロ選手のすごさを体験!

2019年3月12日(火)
修善寺南小学校

東京2020大会開催500日前を記念して、2019年3月12日(火)、修善寺南小学校で、「オリンピックのトークショー & プロ選手のすごさを体験!～東京2020 開催まであと500日!～」を開催した(約300人が参加)。シドニー・アテネ・北京のオリンピックに連続出場した阪馬誠いらいままことさんによる講演の他、トップ選手による自転車の最高速度の計測を実施。また、会場の全員で「500」の人文字をつくり、開催500日前の標語を醸成した。また、2019年4月9日(火)には、伊豆ペドロームに500日前を記念した「パラリンピック500Daysバス」が訪れた。





東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

1年前を記念した花火

2019年8月18日(日)
土肥・松原公園特設会場

2019年8月21日(水)
修善寺温泉街



東京2020大会開催1年前を記念し、2019年8月18日(日)に土肥サマーフェスティバル(土肥・松原公園特設会場)、2019年8月21日(水)に修善寺弘法大師奉納花火大会(修善寺温泉街)で、『東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会1年前を記念した花火』を打ち上げた。花火は、青・黒(黒紫)・赤・黄・緑の5色を基本としたもので、伊豆市が東京2020大会自転車競技の開催地であることを、市民・観光客に広く発信した。

土肥サマーフェスティバル

日時:2019年8月18日(日) 20時48分頃
ところ:土肥・松原公園特設会場(伊豆市土肥2656-1)
イベント全体の主催:伊豆市観光協会土肥支部
来場者数:16,000人



修善寺弘法大師奉納花火大会

日時:2019年8月21日(水) 20時55分頃 ところ:修善寺温泉街(伊豆市修善寺964周辺)
イベント全体の主催:伊豆市観光協会修善寺支部 来場者数:10,000人



東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた

200日前イベント In 静岡

2020年2月11日(火・祝)
キラメッセぬまづ

開催200日前記念イベントとして、『東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた200日前イベントin静岡県』が、キラメッセぬまづ多目的ホールで開催された(主催 静岡県)。

県内出身のオリンピック・パラリンピックのメダリストである飯塚 翔太選手(陸上)、杉村英季選手(ボッチャ)、名波浩さん(サッカー元日本代表選手)のトークショー、ボッチャ大会、フェンシングフェスティバル、ミライトワ・ソメイティとの記念撮影などが行われた。また同日、伊豆ペドロドーム外壁に、オリンピック・シンボルとパラリンピック・シンボル(スリーアギトス)が設置され、大会機運を醸成した。



東京2020大会の延期決定

2020年3月24日(火)、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、東京2020大会の延期が決定。3月30日(月)に大会の新日程が決定した。4月16日(木)のエグゼクティブプロジェクトレビューで大会延期に伴う大会準備の枠組が合意され、6月10日(水)に、2021年の大会の位置づけ、ロードマップがまとめられた。これにより、大会に開催に向けてのカウントダウンは仕切り直しとなった。

ロードマップ



※ スケジュールは変更の可能性あり

CoCom: 国際委員会 PR: プロジェクトレビュー
出典: 東京2020組織委員会公式ウェブサイト



200日前イベント
の中止

2021年1月17日(日)にオリンピック3大会に出場した飯島誠さんの講演会を、2月14日(日)にパラリンピック200日前イベントを実施予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されたため、中止とした。



100日前イベント
の中止

2021年4月17日(土)、自転車環り方教室などを修善寺虹の郷駐車場で実施を予定していたが、雨天のため中止とした。



50日前イベント
みんなの想いをリレーでつなぐ50days
to TOKYO2020 ピクニック RUN&WALK

2021年5月30日(日) 参加者数75組180人
日本競輪選手養成所

大会50日前を記念し、2021年5月30日(日)に『みんなの想いをリレーでつなぐ50days to TOKYO2020 ピクニック RUN&WALK』を日本競輪選手養成所にて開催した。参加者は自転車や徒歩で400mトラックを回り、菊地量伊豆市長が最終走者となって東京2020大会にちなんで20.20kmをタスキリレーでつないだ。オリンピック3大会に出場した飯島誠さんらによる走行パフォーマンスのほか、ランニングバイク体験、養成所候補生が行なう開業の体験など、十分な感染症対策のもと様々なプログラムを実施。日本代表選手からリレー参加者へのビデオメッセージも聞き、本番に向け意気を盛り上げた。



イベント内容

- ・トラック走行20.20kmタスキリレー(参加人数:75組180名)
- ・オリンピック飯島誠さんによるトークと傾斜走行パフォーマンス
- ・自転車競技日本代表選手への応援メッセージ動画撮影
- ・参加者全員で記念撮影
- ・トラック傾斜体験(トラックを歩いて実際の傾斜を体験)
- ・オリンピック・パラリンピッククイズ大会(スポンサーからの景品)

その他

- ・代表選手への応援メッセージ(日の丸の旗に記入)
- ・ランニングバイク体験(キッズコーナー)
- ・競輪選手養成所候補生の開業体験(3本ローラー)
- ・自転車競技・日本代表選手紹介パネル展示
- ・日本代表選手からリレー参加者へ応援ビデオメッセージ
- ・飲食コーナー



Message 競輪者の声



梅原 謙三
うめはら けんぞう
梅原さんファミリー
普段入れない養成所のコースを走れる貴重な機会ですから、記念に家族5人で参加しました。子どもたちが自転車で遊ぶのはいつも家の敷地ばかりなので、広いコースを一周で一緒に走れ、「風が気持ち良かった」と、大喜びでした。



伊豆ノルディックウォーキングクラブの皆さん
私たちがクラブは毎週土曜日に、野川川沿いなど色々な場所でウォーキングを楽しんでいます。トラックは実際に歩いてみると、思ったよりずっと傾斜が急で、驚きました。ここを走る選手たちの筋力の強さを、改めて知りましたね。

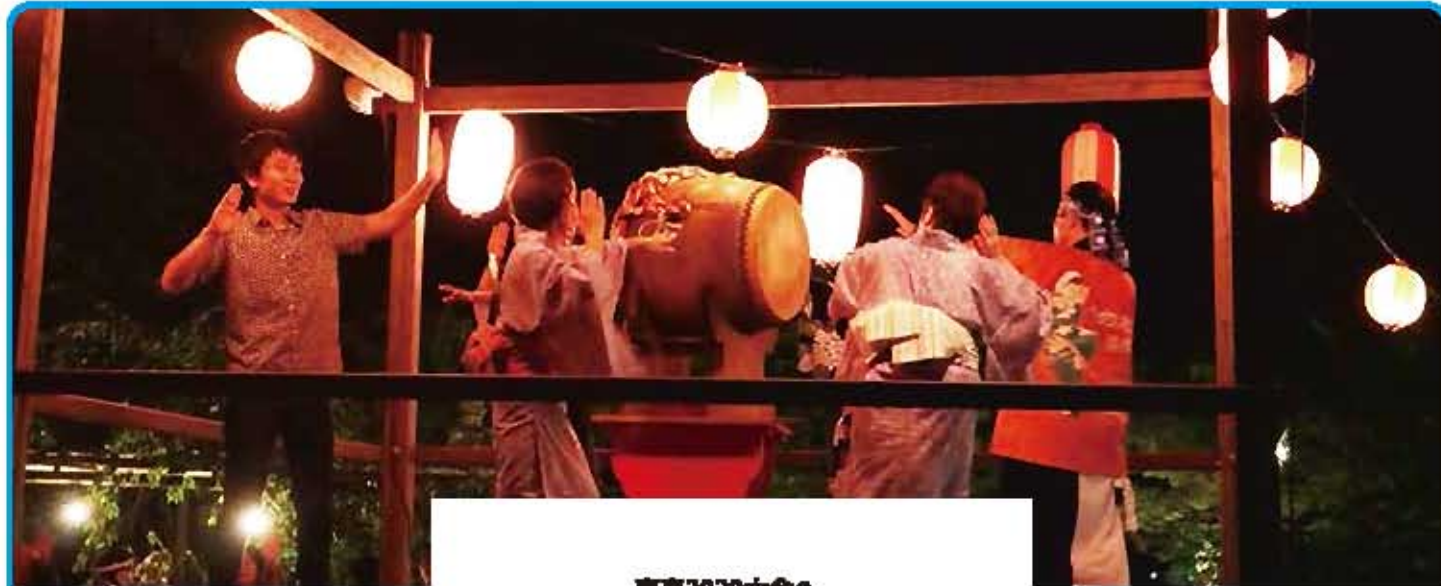
競輪者の声



飯島 誠さん
いしばし まこと
飯島 誠さん
今回のイベントは市民の皆さんが自転車競技に触れ合い、より興味を持ってもらえる素晴らしい機会になったと感じています。やはり競技を直に見るのは、想像を超える迫力と感動があります。ぜひ、大会本番も楽しんでください。



野田 尚宏さん
のだ なおひろ
野田 尚宏さん
CSCは伊豆ベロドローム、伊豆マウンテンバイクコースを備える、世界に誇る自転車の複合施設です。今大会を機に自転車競技を広め、レジャーやスポーツなど自転車の幅広い魅力を伝えるレガシーとしていきたいです。



東京2020大会へ
チーム伊豆市の軌跡
Road to 2020

市民との取り組み

**みんなの
力と想いが
ひとつに**

東京2020大会自転車競技の開催地として大会を盛り上げ、また伊豆市の魅力を伝えるため、東京五輪音頭-2020-やおもてなしのための清掃、花育成など、様々な取り組みに多くの市民が参加した。



Road to 2020
Pick Up!!

写真撮影会
in 伊豆ペロドーム

2020



市民みんなで
東京2020大会を
盛り上げよう



2018年11月28日(水)、『伊豆市版東京2020大会ガイドブック』に掲載するため、伊豆ペロドームで、市民約700人による写真撮影を行なった。

生後7か月の赤ちゃんから80代までの伊豆市在住・在勤・在学者が伊豆ペロドームに集まり、学校の制服・ジャージや所属する団体のユニフォーム、職場の制服・作業服などの思い思いの服装で撮影を行ない、東京2020大会自転車競技の伊豆開催を国内外に発信するとともに、大会に向けた開催機運を醸成した。



Head to 2020
Pick Up!!



東京五輪音頭

『東京五輪音頭-2020-』とは、東京2020組織委員会が東京2020大会に向けて振興を促すため、1963年に制作された『東京五輪音頭』を東京2020大会版としてリメイクしたものである。

伊豆市は、東京2020大会開催の2年前となった2018年7月24日(火)から、職員有志による『東京五輪音頭-2020-』の練習を開始した。

同年10月には、職員が講師となり伊豆市文化ホールで市民による練習会を開催(全4回、262人参加)。また同年12月には中伊豆小学校(1~6年生・245人参加)で、翌2019年2月には中伊豆中学校(1・2年生92人参加)で、職員を講師とした練習会を実施した。

約2年間で、小中学校の運動会や、地域の祭り・イベントでも、『東京五輪音頭-2020-』が盛んに踊られた(約80のイベントで、約5300人が踊った)。



子どもから大人まで
みんなで踊って
心を一つに



2019年度 伊豆市内で行なわれた 東京五輪音頭-2020-

2018年度 伊豆市内で行なわれた 東京五輪音頭-2020-

- 8月1日(火) 香智寺盆踊り
- 8月2日(水) 香智寺盆踊りまつり
- 8月10日(水) ル・プランタンガーデン香智寺夏祭り
- 8月11日(土・日) 下城原夏まつり
天城山祭り
- 8月16日(木) 伊豆市自然史センター施設会
- 8月25日(土) 本立野守本等祭典
- 9月8日(木) 伊豆市老人クラブ連合会役員会
- 9月12日(火) 香智寺地区民生児童委員
協議会役員会
- 10月6日(土) 豊城こども園施設会
- 10月10日(水) 香智寺地区民生児童委員
協議会役員会
- 10月20日(土) 八幡子ども会
- 10月20日(土) 伊豆市文化会
- 10月21日(日) 香智寺祭/ロワイヤルイベント
- 10月29日(日) 中伊豆地区月会・ロコモレ08会
- 11月6日(火) 伊豆市民生児童委員
協議会合同研修会
- 11月15日(日) 伊豆市地区づくり協議会まつり
- 12月6日(火) 伊豆市地区づくり
食生活推進協議会合同会
- 12月6日(火) 生がけいんの会運動会
- 12月14日(金) 月ヶ瀬学区地づくり協議会
- 1月16日(水) 3市1町議会議員協議会5団研修会
- 1月19日(土) 天城アイサービス
- 1月25日(金) 伊豆市地区づくり
食生活推進協議会役員会
- 2月15日(金) 介護予防ボランティア
フォローアップ研修
- 2月17日(日) 伊豆月ヶ瀬神社まつり
- 3月27日(火) 大塚神社役員
- 3月31日(日) 日ヶ瀬小学校ライトアップ

- 5月25日(土) サイクルフェスティバル伊豆2019
- 5月30日(水) 豊城こども園おまつりのおと踊り
- 6月1日(土) 東海小学校運動会・
伊豆市小学校運動会
- 7月10日(水) サロン酒り子
- 7月13日(土)・
14日(日) 天王祭
- 8月1日(水) 香智寺盆踊り
- 8月2日(金) 香智寺盆踊りまつり
- 8月3日(土) 西平風流盆踊りまつり
- 8月4日(日) 伊豆中央ケアセンターお祭り
- 8月10日(土) 月ヶ瀬学区地づくり協議会
- 8月15日(水) 鶴ヶ島いっしょサロン
- 8月16日(金) 大塚山祭り
- 8月22日(水) ロコモレ08
- 8月24日(土) 豊城こども園お祭り
- 8月27日(火) 大塚老人クラブ
- 9月11日(水) サロン酒り子
- 9月21日(土) 土山川一興盆踊り祭(伊豆町)
- 9月21日(土) 中伊豆中学校運動会(伊豆町)
- 9月25日(水) 天城ヶ島地区
民生児童委員アイサービス協議会
職員合同運動会
- 10月5日(土) 豊城こども園運動会
- 10月5日(土) 香智寺こども園運動会
- 10月6日(日) 香智寺ニュータウン自治会お祭り
- 10月26日(土) 伊豆市社会福祉大会
- 10月28日(月) 伊豆市地区づくり
食生活推進協議会役員会
食生活推進協議会
- 11月1日(金) 香智寺まつり
- 11月3日(日・祝) 香智寺まつり
- 11月6日(火) 伊豆市民生児童委員
協議会合同研修会
- 11月7日(水) ヘルシーフックアップ講座
- 12月12日(水) 月ヶ瀬町いっしょサロン

Message



伊豆市
東京オリンピック・パラリンピック組織
委員会
副委員長
三枝 麻友

市職員で練習を始めた『東京五輪音頭-2020-』が、次第に広がり、子どもから大人まで多くの市民の皆さんに踊っていただけて、とても嬉しく思っています。興りを進めて、大会に向けていっしょに頑張っています。

伊豆市



伊豆市
健康推進課長
三枝 麻友

踊りが好きな私の影響で、毎年香智寺の盆踊りに参加していることから、『東京五輪音頭-2020-』にも参加するようになりました。大人も子どもも一緒に楽しめるのは良いですね。みんなで楽しみながら、大会を盛り上げていきたいです。

伊豆ペドロームでウォーキング(伊豆市げんきプロジェクト事業)



2017年3月11日(土) 参加者数約160人
2018年1月20日(土) 参加者数約200人
伊豆ペドローム

伊豆市は、「減塩(け)・運動(ん)・禁煙(き)」の3柱を推進する伊豆市げんきプロジェクトの一環として、東京2020大会自転車競技会場である伊豆ペドローム走路を歩く体験イベントを実施。大会に向けた機運醸成を図るとともに、市民の健康づくりにも取り組んだ。



市民によるミニひまわり育成

2021年4月19日(月)
伊豆市役所

伊豆市はパラリンピック開催期間中(8月24日(火)~9月5日(日))に、ラフォーレリゾート修善寺付近の沿道を装飾するミニひまわり(400鉢)を育てる市民を募集した。71組86人の市民が育てたミニひまわりで、選手や大会関係者をおもてなした。



伊豆市 市民
さくurai みず
櫻井 美鈴

コロナ禍で選手たちへの声援を直接送れない中、ひまわりを通じて応援したい気持ちでいっぱいでした。子どもたちが学校で大会に向けてアサガオを育てていると聞き、ひまわりで大会に関わりたと思い立ちました。

2021年6月6日(日)
大野地区

自転車競技会場の地元である大野地区では、観戦客をもてなすため、ミニひまわりの植え付けが行なわれた。ミニひまわりは市から提供した、ビッグスマイルという品種。区民が大切に種から育てた苗200本を、観戦客が通る道路沿いの花壇に14人が手分けをして植えた。



伊豆市花と緑のおもてなし空間整備事業

2019年3月8日(金)、5月29日(水)、12月19日(木)
2020年6月5日(金)、12月1日(火)、
2021年7月9日(金)
修善寺駅

伊豆市を訪れる観光客に伊豆市の魅力を発信するために、東京2020公認プログラムとして、修善寺駅を季節の花で飾る「伊豆市花と緑のおもてなし空間整備事業」を実施した。13団体から約20人が参加し、定期的にプランターの花の植え替えなどを行なった。



おもてなし大作戦 In 修善寺駅

2021年3月20日(土)
修善寺駅周辺

東京2020大会自転車競技の開催に向けた機運醸成と、地域連携を図るために、修善寺駅周辺の一斉清掃を実施した。市民有志や周辺企業などの約100人が参加し、駅周辺のゴミ拾い、手すりやベンチの拭き掃除などを行なった。1時間の作業で、約50kgのゴミを収集することができた。



ユニバーサルツーリズム研修会

2018年6月21日(木)
参加者数67人
修善寺総合会館

東京2020大会のコンセプトの一つ「多様性と調和」を実現するために、年齢や障がいの有無に関わらず旅行を楽しむことができる「ユニバーサルツーリズム」の研修会を開催した。研修会では、バリアフリー旅行事例について講演、車いすサポートのポイントなどを学んだ。



2018年9月26日(水)
参加者数23人
修善寺総合会館

第1回の内容をさらに深掘りし、車いす体験、アイマスクを使った手引き体験などを学んだ。また、各団体からの取り組み事例、研修会で「気づき」についての意見交換を行なった。

パラリンピック競技体験会

実際に触れ、競技を体験することでパラリンピックへの興味・関心を深めるために、2019年5月から毎月1回、「パラリンピック競技体験会」を実施した。体験会は伊豆市スポーツ推進委員会が主催となり、NEC(日本電気株式会社)の協力のもと、参加者延べ約660名が、ポッチャやブラインドサッカーなどパラリンピック競技を体験した。また、市内小学校への出前教室でもポッチャ体験会を開催した。



実施回数	
2019年度	11回
2020年度	10回
2021年度	12回
各回約20人が参加	

2019年5月~2021年度末
狩野ドーム

パラリンピック競技体験会

主催：伊豆市スポーツ推進委員会

日時：9月11日(土) 10:30~12:00

7月15日(土) 9:30~11:00

7月22日(土) 9:30~11:00

7月29日(土) 9:30~11:00

8月5日(土) 9:30~11:00

8月12日(土) 9:30~11:00

8月19日(土) 9:30~11:00

8月26日(土) 9:30~11:00

9月2日(土) 9:30~11:00

9月9日(土) 9:30~11:00

9月16日(土) 9:30~11:00

9月23日(土) 9:30~11:00

9月30日(土) 9:30~11:00

参加者募集!!

都市鮎山からつくる!みんなのメダルプロジェクト

2017年4月から2019年3月まで、使用済み携帯電話等の小型家電等から金銅を集めて、東京2020大会の金・銀・銅メダルを制作する「都市鮎山からつくる!みんなのメダルプロジェクト」が実施された。伊豆市でも、市役所本庁、各支所、生きいきプラザ、清瀬センター、土肥リサイクルセンターに回収ボックスを設置。携帯電話など603個/66.3kg、メダル3個分の材料を回収した。なお全国では、オリンピック・パラリンピックの金・銀・銅あわせて約5,000個のメダルに必要な金銅量を100%回収することができた。

2017年4月~2019年3月
市役所本庁 他



市民向け英会話動画撮影

伊豆市内を今後訪れる外国人に、市民が簡単な英会話でコミュニケーションを取れるようにと、英語の簡単なフレーズやアプリケーションでの対応方法を、動画配信で紹介。5月28日(金)~7月23日(金・祝)までの、全9回にわたる動画のうち、第8回はオンラインで市民との交流を行なった。



2021年4月15日(木)
修善寺駅



市民向け英会話動画配信

- 5月28日(金) 第1回 みんなではじめよう、おもてなしちょこっと英会話
- 6月4日(金) 第2回 ①トイレはどこですか?
②アメリカドルを日本円に替えたいです。
③何か飲み物を買いたいです。
- 6月11日(金) 第3回 ④フリー-Wi-Fiはありますか。
⑤携帯電話を充電したいです。
⑥パスポートを落としてしまいました。
- 6月18日(金) 第4回 ⑦烟火リレーの会場はどこですか?
⑧何時からスタートしますか?
- 6月25日(金) 第5回 ⑨おすすめの観光スポットはありますか?
⑩富士山を見たいです。
- 7月2日(金) 第6回 ⑪自転車に乗りたいのですが…
⑫盲人軒に行きたいです。
- 7月9日(金) 第7回 ⑬体調が悪いです。
⑭東京に行きたいです。
- 7月15日(木) 第8回 開催まであと1週間!市民からの質問タイム
- 7月23日(金・祝) 第9回 東京2020大会開幕!これまでの振り返り・まとめ



Message

温泉・食事・景色、そして豊かな自然に触れ合える伊豆の街。東京2020大会の自転車競技開催会場となり、選手の中には初めて伊豆を訪れる人たちも多いはず。それは街の楽しさを知ってもらいたいチャンスになります。「WELCOME!」と楽しめコミュニケーションを渡し、伊豆で行われる特別な東京2020大会に第一声の声を届けたいです。海外の方が、伊豆で訪れる日本の笑顔。私たちも伊豆の経験をし、未来へつなげる思い出に愛を注ぎたいです。

日本大学 国際関係学部
ヴァーラ 内田 エイドリアン(左)・ 熊木 秀行(右)





東京2020大会へ
チーム伊豆市の軌跡
Road to 2020

次の世代へ

未来を担う 子どもたちと 一緒に

東京2020大会自転車競技伊豆開催のレガシーを、次の世代へ受け継いでいくために、未来のまちづくりを担う子どもたちが大会関連の様々な取り組みに参加した。



オリパラ教育推進校

日本全国の学校で、東京2020大会をきっかけに、国際的な視野を持って世界の平和に向けて貢献できる人材を育成する「オリンピック・パラリンピック教育」の取り組みが行なわれ、伊豆市では、スポーツ庁が定めるオリパラ教育推進校として修善寺南小学校と伊豆総合高校が取り組んだ。また、市内の他の小中義務教育学校などでもオリパラ教育が実施され、スポーツの価値、世界の国や地域の文化・習俗、共生社会、持続可能な社会、日本の伝統などを学んだ。

次の世代へ

オリパラフラッグの 市内小中学校巡回展示

2017年8月28日(月)・29日(火)・30日(水)・
9月8日(金) 伊豆市内小中学校



伊豆市内全小中学校で、リオデジャネイロ2016大会から引き継いだオリンピック・パラリンピックフラッグの巡回展示を行なった。児童・生徒の東京2020大会に対する興味を喚起するとともに、東京2020大会の開催に向けた意気込みを培った。

2017年8月28日(月)



土肥小学校



土肥中学校



天城中学校



修善寺中学校

2017年8月29日(火)



修善寺東小学校



修善寺小学校



煎飯小学校



天城小学校

2017年8月30日(水)



中伊豆小学校



中伊豆中学校



修善寺南小学校



2017年9月8日(金)

市内小学生によるマスコット投票

2017年12月11日(月)~2018年2月22日(木)
伊豆市内全小学校



東京2020大会では史上初の試みとして、全国の小学生による投票でマスコットの選定が行われた。2017年12月11日(月)~2018年2月22日(木)の期間中、伊豆市でも全7校1,207名の児童が投票に参加した。全国での投票の結果、東京2020大会のオリンピックマスコットに「ミライトワ」、パラリンピックマスコットに「ソメイティ」が決定。伊豆市では大会を身近に感じてもらうため、市内のこども園、保育園、小中義務教育学校の全クラスに、東京2020オリンピック・パラリンピックマスコットを配布した。2018年12月21日(金)には、土肥小中一貫校にてマスコット贈呈式を行なった。

Message 「マスコット投票」に参加して

東京オリンピック・パラリンピックが近づいていることを実感しました。伊豆市で自転車競技が開催されるので盛り上げていきたいです。



土肥小中一貫校
8年生
くにしま ゆうと
田嶋 悠磨 さん

手話講座

2019年2月23日(土)、東京2020公啓プログラムとして、伊豆市中学生・高校生手話講座を開催した。9人の生徒たちが手話によるコミュニケーションを実践形式で学んだ。その後も定期的に開催し、簡単な手話をテーマに、ひらがなや数字・地名などの假文字や「こんにちは」「ありがとう」などを学んだ。



2019年2月23日(土)
生きいきプラザ



伊豆市国際交流員 異文化理解出前講座

2017年11月~2019年6月
伊豆市内全こども園・保育園・小中学校など



東京2020大会自転車競技(トラック・レース/マウンテンバイク)の開催地として多文化理解の素地を養うために「異文化理解出前講座」を開催した。国際交流員が市内の全こども園・保育園、全小中学校、放課後児童クラブなどを訪れ、子どもたちが言語や文化の違いについて体験的な理解を深めるための機会を提供した。

タナー・タラーリ国際交流員

2017年度	こども園・保育園(7園)188人 小中学校(11校)1899人 放課後児童クラブ(7つ)187人
2018年度	こども園・保育園(7園)260人
2019年度	こども園・保育園(7園)170人

伊豆市国際交流員 オリンピック・パラリンピック出前講座

2018年10月~2019年3月
伊豆市内小中義務教育学校



タナー・タラーリ国際交流員が、言語や文化の違い、オリンピック・パラリンピックへの体験的な理解を深めるため、市内の全10校全学年クラス(1,824人)を対象に授業を実施した。日本語と英語の2言語で東京2020大会の日程や競技などの概要、オリンピック・パラリンピックの目的やシンボルなどについて伝えた。

生徒たちの感想



ランニングバイク出前教室

2017年から、自転車に親しむきっかけづくりのため、市内のこども園・保育園の5歳児を対象にランニングバイク出前教室を実施。日本サイクルスポーツセンターの職員が、園児たちにランニングバイクの正しい乗り方を指導した。2018年からは、プリチストンサイクル(株)の協力の下、オリンピックや現役選手が子どもたちと交流した。東京2020大会終了後も、引き続き実施している。



2017年4月26日(水)～
市内のこども園・保育園



土肥こども園



あまぎ園定こども園



麻坂こども園



なかいず園定こども園



修善寺保育園



修善寺東こども園



園定こども園あゆのさと



実施日	会場	参加人数
2017年 4月26日(水)	あまぎ園定こども園	33人
5月 9日(水)	園定こども園あゆのさと	48人
5月17日(水)	なかいず園定こども園	34人
5月30日(水)	なかいず園定こども園	28人
5月31日(水)	修善寺保育園	16人
6月 6日(水)	修善寺東こども園	27人
2018年 5月 9日(水)	土肥こども園	24人
5月11日(金)	あまぎ園定こども園	26人
5月18日(金)	麻坂こども園	12人
5月22日(水)	麻坂こども園	14人
5月23日(水)	なかいず園定こども園	31人
5月28日(月)	修善寺東こども園	16人
6月 1日(金)	修善寺東こども園	17人
6月 4日(月)	園定こども園あゆのさと	31人
10月17日(水)	修善寺保育園	11人

実施日	会場	参加人数
10月22日(月)	なかいず園定こども園	28人
10月23日(火)	あまぎ園定こども園	35人
2019年 5月 8日(水)	園定こども園あゆのさと	47人
5月14日(火)	土肥こども園	17人
5月21日(火)	あまぎ園定こども園	37人
5月28日(火)	なかいず園定こども園	27人
5月29日(水)	修善寺東こども園	18人
9月27日(金)	修善寺保育園	22人
10月16日(水)	麻坂こども園	12人
2020年10月13日(火)	なかいず園定こども園	25人
10月20日(火)	修善寺東こども園	20人
10月28日(水)	修善寺保育園	14人
12月14日(月)	麻坂こども園	21人
2021年 3月 9日(火)	あまぎ園定こども園	31人

オリンピック・パラリンピック出前講座

2017年度から、伊豆市では「オリンピック・パラリンピック出前講座」として、市内の小中義務教育学校を訪問し、競技用自転車やDVDなどを活用したオリンピック・パラリンピック教育を行なう特別授業を開催した。2019年11月28日(木)に中伊豆中学校、翌29日(金)に修善寺東小学校にて、オリンピックやプロ選手が講師を務める特別授業を開催した。飯島誠さんによる講演と、徳田優選手・平塚古光選手による競技用自転車の試乗体験などを行なった。

2019年11月28日(木)
中伊豆中学校



2019年11月29日(金)
修善寺東小学校



2021年6月11日(金)、プリチストンサイクル(株)による出前授業「オリンピック・パラリンピックが伊豆市にやってくる!」を天城小学校で行なった。授業は1・2年生、3・4年生、5・6年生に分かれ実施。シドニー・アテネ・北京オリンピックに出場した飯島誠さんが講師を務め、オリンピック・パラリンピックの歴史や自転車競技の種類など、クイズを織り交ぜて紹介し、自身の出場体験も語った。児童たちはトラック、ロード、MTBの競技用自転車の違いも学んだ。5月25日(火)には修善寺南小学校4年生、6月21日(月)には天城中学校2年生を対象に実施した。

2021年6月11日(金)
天城小学校



実施日	対象
2017年 4月25日(水)	天城中学校 1~3年生
2019年 11月28日(木)	中伊豆中学校 1~3年生
11月29日(金)	修善寺東小学校 1~6年生
2021年 5月25日(火)	修善寺南小学校 4年生
6月11日(金)	天城小学校 1~6年生
6月21日(月)	天城中学校 2年生

Message 校長先生の声



天城小学校校長 坪内 逸夫

今回本校の教員がオリンピック聖火ランナーを務めること、選手たちの熱い想いを日頃目していることから、児童たちの大会への関心はとて高いです。一生に一度の思い出を作り、地元・伊豆に対して誇りを持つ機会となって欲しいです。

講師の声



プリチストンサイクル株式会社 小池 博文

自転車競技についてわかりやすくコンパクトに伝えられる授業を目指し、学年ごとに内容を変えて工夫を凝らしました。自転車に乗る楽しさ、競技を見る楽しさを知り、将来は競技にも挑戦したいと思う子どもが増えてほしいですね。

日本代表チームのトレーニング見学会

2020年12月14日(月)・15日(火)、
2021年3月11日(木) 伊豆ペロドーム



JKA職員(左)と佐々木コーチ(右)

2020年12月14日(月)・15日(火)、2021年3月11日(木)、自転車競技(トラック・レース)日本代表チームのトレーニング見学会が開催された(主催:JKA)。会場の伊豆ペロドームには、市内の中学校3年生が訪れ、バイク誘導、短距離ダッシュ、スタートなどの日本代表チームの練習を見学した。
また、見学会終了後、生徒たちは静岡県が実施している応援プログラムに参加、大型フラッグに日本代表選手への応援メッセージを書いた。



天城中学校3年生



中伊豆中学校3年生



修善寺中学校3年生

水口さんにメッセージを送ろう

2021年6月21日(月)、22日(火)
修善寺小学校



修善寺小学校1~6年生の児童が、東京2020オリンピック聖火リレーランナーの水口茂生さんへ送る応援メッセージを録音した。視覚障がい者で盲導犬と生活する水口さんは、毎年同校の4年生を対象とした学習で調音を務める。児童たちは日頃の感謝を込め、応援の言葉を伝えた。

ポッチャ体験会

2021年7月17日(土)
中伊豆社会体育館



伊豆市内の小学4~6年生の児童たちが参加するふるさと学級にて「パラスポ・軽スポ教室」が中伊豆社会体育館にて開催され、パラリンピックの正式競技である「ポッチャ」の体験などが行なわれた。指導員のサポートのもと、白いジャックボール(目標球)をめがけて赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを転がしたり投げたりして、いかに持ち玉を近づけられるかを競い合った。児童たちは自身やチームメイト、相手が放ったボールの行方に一言一語しては、プレーを楽しんだ。



Message 担当者の声



伊豆市スポーツ推進委員
あいはら あゆむ
相原 昌

今回はポッチャの他にもモルック・キンボール・ドッジビーなどを行ない、子どもたちが飽きずに軽スポーツを体験してもらえよう工夫しました。仲間と一緒にスポーツを楽しみ、健やかな心と体を育てていって欲しいと思います。

参加者の声



目標のボールに自分のボールを近づけたり、相手チームのボールを遠ざけたりするのは難しいかったです。なかなか思うようには投げられないので、ボールがどう転がっていくのかわからないけれど、それがあって面白かったです。



自分が投げたボールが白のボールに近づけた時の達成感は、とても嬉しいです。相手のチームに抜かされるとがっかりするけれど、ポッチャは皆で一緒にプレーできるし、盛り上がりやすいので、楽しいです。



オリバラ教育推進校
伊豆総合高等学校



「デイ・カウンター」ボードの制作

2016年6月15日(水)
伊豆箱根鉄道修善寺駅

2016年6月15日(水)に、伊豆総合高等学校理工学科2・3年生の有志11人が制作した「デイ・カウンター」ボードの除幕式を実施した。伊豆半島産のヒノキ材を使用し、伊豆ペドロームの木製走道をイメージしたボードの右上には、当大会開催までの日数を数えるモニターを設置した。



木製フォトスタンドの制作

2016年10月19日(水)
伊豆総合高等学校

伊豆総合高等学校理工学科の学生有志6人が制作した、オリンピック・パラリンピック関係の写真やポストカードの展示に使う木製フォトスタンドの伊豆市への引き渡し式を開催した。木製フォトスタンドは、伊豆市産の木材にレーザー刻印をしたもので、東京2020大会の開催機運の醸成を目的に制作されたものである。



地域とつながり
地域に学ぶことが
未来をつくる力に



総合学習

2020年1月16日(木)、2021年6月24日(木)
伊豆総合高等学校

伊豆総合高校では、生徒にオリンピック・パラリンピックを身近に感じてもらう、東京2020大会への参画を促すために、協力的な学習の時間のなかで、プリヤストンサイクル(株)飯島誠さんによる特別授業を開催した。オリンピック3大会出場経験、自転車競技の魅力を分かりやすく生徒たちに伝えてくれた。



静岡県立伊豆総合高等学校は、体系的・実践的な学習を通じ、地域社会の産業・文化・歴史について理解し、その発展に貢献できる人材を育てるという目標を掲げる、ユネスコスクール加盟校。清掃ボランティアなど、地域と連携した様々な活動に積極的に取り組んでいる。また学校が日本競輪選手養成所や日本サイクルスポーツセンターと近く、自転車競技部はそれらの施設で練習を行なうなど、以前より自転車競技と縁が深いことから、多くの生徒が地元開催のオリンピック・パラリンピックに参画できるよう、大会に関連する教育活動を展開。学校連携プログラムにも参加し、希望者はオリンピックのトラック・レースを観戦した。

学校連携観戦プログラム

2021年8月7日(土)8日(日)
伊豆ペドローム

東京2020組織委員会が子どもたちに対して、会場観戦を通して、スポーツの素晴らしさを体験し、一生の財産として、心に残る機会を提供する学校連携プログラム。観戦した約80人の生徒たちは、世界トップレベルの選手たちの姿を見て大きな拍手を送っていた。



シティドレッシング(都市装飾)



東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催まで、ちょうどあと3か月となった2021年4月23日(金)から、横断幕やのぼり旗によるシティドレッシング(都市装飾)を伊豆市内の各所で開始した。初日には、認定こども園あゆのさとの園児約40人が、横断幕とのぼり旗の運搬や設置を手伝った。大型連休を前に、修善寺駅の各出入口や修善寺橋などに大会らしい装飾を行なうことで、多くの市民や伊豆市を訪れる人たちへと開催地であることを周知し、さらなる機運の醸成を図った。



設置枚数

設置場所	のぼり (800mm×1800mm)	横断幕 (4500mm×800mm)	タペストリー (400mm×800mm)
修善寺駅及び市道	38枚	10枚	33か所
修善寺橋	—	8枚	—
修善寺IC	30枚	16枚	—
松原公園付近	30枚	16枚	—
中伊豆小学校前	—	6枚	—
中伊豆 下白岩	15枚	5枚	—
天城会館及び国道	10枚	4枚	30か所
計	123枚	65枚	96枚

修善寺駅及び市道



修善寺橋



修善寺IC



松原公園付近



中伊豆小学校前



中伊豆 下白岩



天城会館及び国道



サイクリング村

東京2020大会自転車競技伊豆開催に伴い、伊豆市内の「ラフォーレリゾート修善寺」がオリンピックサイクリング村として使用された。大会開催前の2021年7月13日(火)から大会終了後の8月10日(火)までの期間、選手や大会関係者たちが滞在した。



Message 担当者の声



伊豆市東京オリンピック・パラリンピック推進課
あさだ たかよし
浅田 崇義

市島の皆さんや伊豆市を訪れる観光客の皆さんに少しでも、オリンピック・パラリンピックの高揚感を味わっていただきたく、市内各所にのぼり旗や横断幕を設置しました。のぼり旗や、横断幕の設置中に声を掛けてくれる人が多く、元気をもらいました。

2020

大会会場花装飾



おもてなしの心を
色鮮やかな
花々にのせて



ミニひまわりの育成本数 オリンピック

修善寺中学校	300本
天城中学校	105本
中伊豆中学校	150本
土肥小中一貫校後期課程	45本



アサガオの育成鉢数 オリンピック

修善寺小学校	100鉢
熊坂小学校	120鉢
修善寺南小学校	120鉢
修善寺東小学校	120鉢
中伊豆小学校	120鉢

パラリンピック

天城小学校	120鉢
土肥小中一貫校前期課程	120鉢

東京2020大会自転車競技に出場する選手や関係者、観客をおもてなしするため、伊豆市は大会期間中、市内の各所をミニひまわりで装飾した。ミニひまわりは2021年6月から7月にかけて市内全中学校3校と小中義務教育学校後期課程1校の生徒が育て、修善寺駅やラフォーレリゾート修善寺周辺へと設置した。また、市内の全小学校6校と小中義務教育学校前期課程では、東京2020大会組織委員会による「フラワーレーンプロジェクト」に参加し、2021年5月から児童たちがアサガオを育てた。



Message 先生の声



中伊豆小学校 教頭
アサガオ ひろふみ
杉山 宏次

子どもたちが暑から育てるアサガオ、「フラワーレーンプロジェクト」として、競技会場の手前常設エリアに飾られます。多くの日本人の心に存在しているアサガオは日本の夏の象徴として愛されています。そして子どもたちにも育てやすく、馴染みのある花でもあります。夏の初めから子どもたちが心を込めて育てるアサガオには、子どもたちのメッセージが添えられ、笑顔を広げることでしょう。東京2020大会に関わる喜びは子どもたちの未来へ繋がると思っています。

児童の声



学校の友達とアサガオを育てることが出来るとも光栄です。一人では出来ない事を、みんなと一緒に出来ることもとても嬉しいです。東京2020大会に直接来られない人たちも、テレビで見てもいい思い出がほしいです。アサガオを育てて、沢山の人の笑顔を見て、このアサガオで選手の人たちを応援したいです。友達や、家族とアサガオを飾った会場を見に行くのもとても楽しみです。



綺麗なアサガオを育てることで、沢山の人の笑顔を見てみたいと思います。オリンピック・パラリンピックの選手に、学校のみならずアサガオを通じて「頑張れ」というメッセージを伝えたいです。選手の方々が沢山の笑顔の成果を、思いっきり発揮してもらえたらいいと思います。アサガオの花たちを皆さんに見てもらって、応援してもらえたらいいと思います。そのために綺麗なアサガオを咲かせて、学校のみならず楽しく応援したいと思えます。

担当者の声



伊豆市東京オリンピック・パラリンピック推進課 課長
ひろふみ での
森崎 哲男

「ひまわり」と「あさがお」の育成に携わっていただいた皆さんの言葉が印象的でした。伊豆市を訪れる皆様の方々と選手が笑顔で元気に過ごしていただけるよう、修善寺駅やサイクリング村、自転車競技会場を飾りました。市民の皆さん、児童・生徒の皆さんが丹精込めて育てた花が、伊豆市を訪れた皆さんの心に留まっていることを願っています。

アサガオ(小学校)

アサガオの花によるおもてなしは、東京2020大会組織委員会による「フラワーレーンプロジェクト」の一環として行われ、伊豆市内の小学校(全6校)と小中連携教育学校前南郷が参加し、1校あたり100~120鉢を育てた。鉢には児童たちが手書きした思いメッセージやイラストが添えられ、大会会場の手荷物検査エリアなどを飾った。

参加校

- ・修善寺小学校
- ・中伊豆小学校
- ・関板小学校
- ・天城小学校
- ・修善寺南小学校
- ・土肥小中一貫校
- ・修善寺東小学校
- ・前南郷

種と鉢の配布



種まき・育成



カード制作



搬出



会場装飾



ミニひまわり(中学校)

ミニひまわりは市内の中学校(全3校)と小中連携教育学校前南郷にて、200プランターに600本が育てられた。『笑顔』というひまわりの花言葉に歓迎の気持ちを込めて、オリンピック期間中は会場への玄関口である修善寺駅や、サイクリング村となったラフォーレリゾート修善寺周辺へ設置し、観客や選手、大会関係者を迎えた。

※パラリンピック期間中に設置したミニひまわりは市販有木が育てた(伊.67号種)

参加校

- ・修善寺中学校
- ・天城中学校
- ・中伊豆中学校
- ・土肥小中一貫校

苗の配布



苗植え付け・育成



搬出



会場装飾





東京2020大会へ
チーム伊豆市の軌跡
Road to 2020

ボランティア

温かい笑顔と 思いやりの心で 大会を支える

ボランティアは、大会の最前線で活躍する「大会の顔」。選手や関係者、観客をサポートする彼らは、大会を支え、成功へと導く大切な存在。研修を重ね、安心して大会を楽しんでもらえるよう、活動に励んだ。



ボランティア

東京2020大会に向けたボランティア講演会



2016年11月26日(土)
生きいきプラザ

「長野1998大会での経験から大会に向けて伊豆へ送るエール」をテーマに、ボランティア講演会を開催し、伊豆地域住民を中心に、約180人が参加した。

講演会では、長野1998大会でボランティアを経験した、21世紀ボランティア研究センターの丸田藤子代表が、「大会当日の素晴らしい光景を想像して、わくわくしながらボランティアに参加してほしい」と呼びかけた。



講師を務めた丸田藤子さん

日本大学国際関係学部・短期大学部(三島校舎)との 相互連携協定を締結



2016年12月15日(木)
日本大学国際関係学部

伊豆市と日本大学国際関係学部・短期大学部(三島校舎)は、東京2020大会を契機として、地域の国際化及びボランティア等の人材育成を促進するために相互連携協定を締結した。日本大学国際関係学部本館2階第2会議室で行なった締結式には、菊地豊伊豆市長、渡邊成一郎学部長が参加し、協定書への署名を行なった。その後は、伊豆市が行なったボランティア研修や英会話活動への協力があった。



おもてなしす



2017年1月25日(水)~3月1日(水)
伊豆市役所、生きいきプラザ、伊豆ペロドーム
2017年6月1日(木)~2018年3月30日(金)
伊豆市観光案内所

東京2020大会へ向け、伊豆市ではより多くの市民にボランティアに関心を持ってもらおうと、他に先駆けて募集を行ない、外国語対応(英語)と自転車競技対応の合計53人を登録した。全5回の研修にて、ボランティアとしての基礎を学んだ後、おもてなしす・サポーターとして認定した。さらに、伊豆市観光案内所にて研修を行ない、スタッフたちの業務を通じて観光案内や交通案内の知識や観光客の応対について学んだ。その後、シティキャストシズオカ(静岡県都市ボランティア)に移管した。



組織委員会によるフィールドキャストPR

2018年10月21日(日)
伊豆市民文化祭(会場:伊豆市民文化ホール)
修善寺駅ファミリーハロウィン(会場:修善寺駅)
みんなの運動会(会場:天城ドーム)

2018年10月27日(土)
伊豆市社会福祉大会(会場:生きいきプラザ)

2018年11月10日(土)
伊豆縦貫自動車道天城北道路開通記念イベント
(会場:天城会館)



リーフレットを配る組織委員会職員

2018年10月21日(日)、2018年10月27日(土)、2018年11月10日(土)の3日間、東京2020組織委員会の職員が伊豆市内の様々なイベントを訪れ、東京2020大会のフィールドキャスト(大会ボランティア)募集をPRした。※当時はフィールドキャストという名称が決まっていなかった。



賑わう修善寺駅でPR



祝賀を行なう組織委員会職員

フィールドキャスト共通研修

2019年6月8日(土)・9日(日)、東京2020組織委員会主催で、フィールドキャスト(大会ボランティア)のオリエンテーションが、生きいきプラザで実施され、約440人が参加した。参加者は、フィールドキャストの説明、面談などを受けた。また同年2019年11月30日(土)・12月1日(日)、東京2020組織委員会主催によるフィールドキャストの共通研修が同会場で開催され、370人が参加。フィールドキャストとしての心構え、東京2020大会の概要、オリンピックとパラリンピックの歴史、ダイバーシティ&インクルージョン(障がい平等研修)、活動上のルールなどを、クイズやグループアクティビティなどを交えながら、楽しく学んだ。



2019年6月8日(土)・9日(日)
2019年11月30日(土)・12月1日(日)
伊豆市生きいきプラザ



シティキャスト研修

2021年7月6日(火)、7月11日(日)
修善寺駅周辺



東京2020大会前最後の研修として、7月6日(火)、11日(日)にシティキャストシズオカ(静岡県都市ボランティア)の配置別研修が実施され、約120名が参加した。『都市ボランティアハンドブック』を用いてボランティアの心構えや注意事項など説明を受けた後、観光客の実験的問い合わせ事例を挙げながら、伊豆市観光協会スタッフより実地的な観光案内のポイントを学んだ。講座終了後、修善寺駅へ移動し、トイレや休憩場所など現場確認をしながら、想定される観光客への対応をシミュレーションした。



Message 担当者の声



一般社団法人伊豆観光協会 専務役員
あじわい さま
藤原 正英

日々状況が変わっていくことに
関心はありますが、いよいよ大
会を迎えるということで、とにか
くワクワクしています。一生に
一度のイベント、お客様に楽しんで
いただくためには私たち自身が
楽しむことが大切です。シティ
キャストの皆さんには、リラク
スして笑顔で仲良く楽しく迎
えてくれたらと期待します。



伊豆市観光案内所スタッフ
くさの さやこ
草間 理子

大会を無事に迎えられることが
できて嬉しいです。第一杯ご案内
させていただきます。延期になり
不安に感じることもあったかも
しれませんが、シティキャストの
皆さんにはサポートいたします
ので、自信をもってお客様をご案内
することで、人生の思い出に
なる瞬間にしたいです。



シティキャストシズオカ
くろき まさこ
黒須 淳美

伊豆市は自然豊かで景色がきれ
いなので自転車競技の会場に選
ばれて嬉しいです。コロナ禍、天
候など心配もありますが、来てく
ださった人が伊豆市に来てよ
かったなと思ってくださるおも
てなしをするのが私たちの役目だ
と頑張ります。



シティキャストシズオカ
あま あけみ
三田 明美

大会を迎えることができうれ
しいです。伊豆市に来てくださ
った方が楽しんで、そして喜んで
られるようおもてなしをしたい
です。
(この研修では、事務局員として後援
隊員のあるシティキャストのサポ
ートを務めた)

Road to 2020
Pick Up!!

2020

大会当日のおもてなし



笑顔と真心で
来場者を
サポートする



コロナ禍により、東京2020オリンピック競技大会のほぼ全競技と、パラリンピック競技大会が無観客となる中、オリンピック自転車競技(トラック・レース/マウンテンバイク)は有観客で開催された。期間中、修善寺駅駅構内ではシティキャストシズオカ(静岡県静岡市ボランティア)が案内を務めた。また観戦後のお客様へは直前を呼びかけながら、伊豆再訪への願いを込め、温かくお見送りをした。



Message ボランティア



シティキャストシズオカ
やまぐち みさこ
山口 美奈子
『おもてなしサポーター』として、6年ほど前から大会に向けて準備をしてきました。今回お客様をお迎えすることができて、とても嬉しく思います。これまで勉強したことを発揮して、精一杯おもてなししました。



シティキャストシズオカ
こばやし たかし
小林 剛
東京マラソンをはじめ、様々な大会でボランティアを務めています。私は耳が不自由なため、手話と筆談で対応しました。伊豆といえば温泉地です。訪れたお客様がわくわくとした気持ちになれるよう、心がけました。

Message ボランティア



フィールドキャスト
シティキャストシズオカ
のの ゆうこ
野寺 祐子

娘が自転車競技を始めたことから審判の資格を取得し、これまで伊豆ベロドロームで行なわれた大会でもスタッフを務めました。今大会では主にフィールドキャスト(競技ボランティア)を務め、伊豆ベロドロームに加え、ロードレース会場の小山町でも活動しました。伊豆ベロドロームでは、選手たちがトラックに入るゲートの閉鎖などの業務を担当しました。選手を妨げないよう動くのは大変でしたが、楽しかったですし、色々な方に競技を見てもらえて良かったと思います。今後も活動を続け、さらに自転車競技の認知を高めていきたいです。





東京2020大会へ
チーム伊豆市の軌跡
Road to 2020

伊豆市役所の取り組み

開催地としての 強い責任と 誇りを胸に

伊豆市が東京2020大会自転車競技の開催地として決定して以来、市職員たちは大会成功に向け、一体となって準備を進めてきた。市民の機運醸成や各種広報活動、職員の研修や訓練など、全力で取り組んだ。



伊豆市役所の取り組み

リオデジャネイロ2016 オリンピック・パラリンピック競技大会視察



2016年8月～9月
リオデジャネイロ2016大会視察

東京2020大会自転車競技の伊豆開催が決定したことから、2016年8月14日(日)～19日(金)、菊地豊伊豆市長は鈴木尚樹静岡県スポーツ局長、市職員3名などとともに、リオデジャネイロ2016オリンピックを視察。トラック・レース会場および会場周辺を視察し、世界自転車競技連合(UCI)クックソン会長や、リオデジャネイロ市国際部長などと面会した。2016年9月7日(水)～12日(月)には、伊豆市職員3名が静岡県職員と共にリオデジャネイロ2016パラリンピックを視察。トラック・レース会場、リオ市オペレーションセンター、会場周辺駅などを回った。

2016年10月4日(火)
リオデジャネイロ2016大会
視察報告

伊豆市東京オリンピック・パラリンピック推進本部第4回会議の席上、リオデジャネイロ2016大会視察報告を行なった。また、10月14日(金)、20日(木)に全職員に対して、報告会を行なった。



研修

伊豆市職員研修

2015年に伊豆市での東京2020大会自転車競技開催が決定してから、伊豆市では職員を対象とした様々な研修を実施してきた。自身が研鑽を積むもの、市民へ向けて働きかけるもの、開催地である伊豆市を広く周知するものなど、その内容は多岐にわたった。大会を成功へ導くため、職員たちは気持ちをひとつにして、あらゆる準備に努めてきた。



2016年5月25日(水)職員研修



2016年10月14日(金)職員研修



2018年7月17日(火)職員研修



2018年7月18日(水)職員研修



2016年～2021年

職員研修

- 2016年5月25日(水)
(長野1998オリンピックから学ぶ)
- 2016年10月14日(金)・20日(木)
(リオデジャネイロ2016視察報告)
- 2017年8月25日(金)
(新規採用職員研修)
- 2018年7月17日(火)・18日(水)
(ブリヂストンサイクル(株)講演)
- 2018年8月14日(火)
(新規採用職員研修)
- 2019年4月1日(月)
(新規採用職員向け東京五輪音楽鑑賞)
- 2019年7月16日(火)
(新規採用職員研修)
- 2019年10月30日(水)～11月1日(金)
(ダイバーシティ研修)
- 2020年4月1日(水)
(新規採用職員向け東京五輪音楽鑑賞)
- 2021年2月17日(水)
(新規採用職員研修)
- 2021年6月8日(火)
(新規採用職員研修)
- 2021年7月8日(木)
(やさしい日本語研修)

新規採用職員研修

伊豆市が東京2020大会自転車競技の開催地に決定したことを受け、伊豆市職員として市民と一緒に大会を盛り上げていけるよう、新規採用職員を対象とした研修を行なった。オリンピック・パラリンピックや自転車競技について理解を深めるほか、2019年度からは初登庁となる4月1日に東京オリンピック・パラリンピック推進課職員が解説し、映像を見ながら行なう「東京五輪音楽-2020-」の練習会を取り入れた。



2019年4月1日(月)

2021年6月8日(火)

東京五輪音頭-2020-の練習

2018年7月24日(火)~2020年2月28日(金)
伊豆市役所

伊豆市では東京2020大会自転車競技の開催地として、各部署や地域のイベントなどで『東京五輪音頭-2020-』を積極的にこなせる体制を作るため、市職員たちが雨りの練習に力を入れて取り組んだ。大会開幕2年前となった2018年7月24日(火)から、全国的な新型コロナウイルス感染症感染拡大の前(2020年2月末)まで、毎朝始業前に練習を行ない、『東京五輪音頭-2020-』を週に1回のペースで練習を重ねた。また伊豆市職員が講師を務める市民向けの練習会を実施して市民の参加意欲を高めた。

ダイバーシティセミナー

東京2020大会開催300日前を記念して、職員向けの『ダイバーシティセミナー』を開催。目的は、東京2020大会のコンセプトの1つ「多様性と調和」を市職員が理解し、各部署での業務や市民への対応に反映させて、共生社会を育むきっかけとするためである。ソウル1988パラリンピック陸上競技「スラローム」の金メダリストである永尾由美さんが講師を務め、実際の体験談をふまえて「配慮」と「達成」の違いを学んだ。

2019年10月30日(水)~11月1日(金)
伊豆市役所本庁別館

日本競輪選手養成所見学

2020年11月10日(火)
日本競輪選手養成所

東京2020大会自転車競技の開催地としてのブランドを生かし、自転車まちづくりを進めていくため、市職員が日本競輪選手養成所を見学した。同養成所は長年伊豆市内に施設を備え、数々の名選手を輩出してきた歴史がある。通常は非公開のため、職員たちは初めて立ち入る養成所に興味津々。養成所職員の説明に熱心に耳を傾けては質問をし、養成所との連携強化を図り、大会後のレガシーにつなげるという思いを強めた。

庁内掲示

2016年4月~2021年9月
伊豆市役所庁舎内

2016年4月から2021年9月まで、伊豆市役所庁舎内に、大会情報、自転車競技解説、自転車競技会場(伊豆ペドローム、伊豆マウンテンバイクコース)についての情報の掲示を行ない、東京2020大会自転車競技伊豆開催を市民に周知し、大会に向けた意欲の醸成を図った。

自転車のまち・伊豆市キャッチフレーズ
『自転車と伊豆 今、走り出す』

2016年6月18日(土)



2016年4月16日(土)~6月4日(土)、東京2020大会に向けた意欲醸成と、大会終了後も自転車文化を根付かせることを目的に、『自転車のまち・伊豆市』のキャッチフレーズを募集。静岡県内はもとより北海道から沖縄県まで全国から応募があり、掲載1,511点(一般の部1,253点、高校生の部154点、中学生の部5点、小学生の部99点)が集まった。2016年6月18日(土)、自転車のまち・伊豆市キャッチフレーズ審査会を実施し、厳正な審査の結果、自転車のまち・伊豆市のキャッチフレーズが決定した。最優秀賞には、千葉県白子町の桐政幸さんの作品『自転車と伊豆 今、走り出す』が選ばれた。

リオ2016大会 自転車競技トラックチーム壮行セレモニー

2016年7月9日(土)
伊豆ペロドローム

2016年7月9日(土)、伊豆ペロドロームで、リオデジャネイロ2016大会での活躍を祈念し、自転車競技(トラック・レース)代表の壮行セレモニーを実施した。

当壮行会には、4名の日本代表選手(中川剛一郎選手・渡邊一成選手・坂本一茂選手・塚越さくら選手)が参加。選手には、伊豆市本多伸治副市長から激励の言葉が、地元の小中学生5名から花束が贈られた。



リオ2016大会自転車競技代表選手へ 「メッセージ入り日の丸」を贈呈

2016年7月20日(水)
伊豆ペロドローム



リオデジャネイロ2016オリンピック競技大会での健闘を祈って、自転車競技(トラック・レース)の日本代表選手へと「メッセージ入り日の丸」を贈呈した。これは、2016年7月8日(金)~10日(日)に開催された自転車競技(トラック・レース)大会の来場者や日本自転車競技連盟の橋本聖子会長、川勝平太静岡県知事、菊地豊伊豆市長らがメッセージを記したもので、西井伸夫伊豆市長から日本代表選手5名へ手渡された。



リオデジャネイロ2016オリンピック競技大会での健闘を祈って、自転車競技(トラック・レース)の日本代表選手へと「メッセージ入り日の丸」を贈呈した。これは、2016年7月8日(金)~10日(日)に開催された自転車競技(トラック・レース)大会の来場者や日本自転車競技連盟の橋本聖子会長、川勝平太静岡県知事、菊地豊伊豆市長らがメッセージを記したもので、西井伸夫伊豆市長から日本代表選手5名へ手渡された。

リオ2016大会 自転車競技壮行セレモニー

2016年7月31日(日)
伊豆ペロドローム

リオデジャネイロ2016パラリンピック競技大会に出場する自転車競技(トラック・レース)代表選手の活躍を祈念し、壮行セレモニーを開催した。7月20日(水)にオリンピック競技大会代表選手へ贈ったものと同様の「メッセージ入り日の丸」を贈呈し、同日行なわれていた「CSCトラック」の参加者をはじめ、約100名が直接エールを送った。川本翔大選手は激励を受けて「できるだけ上位を目指して頑張る」と話し、藤田征樹選手からは静岡県と伊豆市に日本代表選手5名のサイン入り色紙が贈られた。



「県民の日」自転車競技体験イベント

2016年8月21日(日)
日本サイクルスポーツセンター

2016年8月21日(日)、日本サイクルスポーツセンターにて「2016県民の日イベント 競技用自転車に乗ってみよう!」を開催。代表選手の記録に挑戦する200mスピードアタック、競技用自転車試乗体験などのイベントを行い、東京2020大会に向けて、自転車競技への興味喚起の場となった。



リオ2016パラリンピック大会報告会

2016年11月3日(木・祝)
伊豆ペロドローム



リオデジャネイロ2016パラリンピック大会で銀メダルを獲得した藤田征樹選手と田中まい選手、さらに川本翔大選手、石井嘉史選手による報告会を行なった。選手たちはそれぞれ、現地での健闘について語った。本多伸治副市長から選手たちへ、記念品として伊豆市産のシカ革に、静岡県立伊豆総合高等学校の生徒が「感動をありがとう」などの文字をレーザー刻印した「イズシカ金メダル」と、地域おこし協力隊がシカ革で製作した「メガネケース」を贈った。

「デイ・カウンター」 デジタルサイネージの設置

2017年3月9日(木)
市役所本庁舎1階

2017年3月9日(木)、伊豆市役所本庁舎1階市民課窓口前に、修善寺駅構内の「デイ・カウンター」ボードと連動した「デイ・カウンター」デジタルサイネージを設置。デジタルサイネージでは、「デイ・カウンター」リレーの写真、伊豆ペロドロームの映像などを放映し、東京2020大会のPRを行なった。



天城ドームなどが JOC認定競技別強化センターに認定

2018年7月25日(水)
天城ドーム



「JOC認定競技別強化センター」看板

伊豆市の「天城ふるさと広場」及び「天城ドーム」が、オリンピック強化指定選手などのトップアスリートを支援する「JOC認定競技別強化センター」に認定されたことを記念し、認定看板の除幕式を開催した。

除幕式には、女子ソフトボール日本代表チーム17名、修善寺中学校・中伊豆中学校女子ソフトボール部員などが参加。式では、日本代表チーム主将の山田恵里選手が東京2020大会で金メダル獲得をめざすことを決意表明した。



聖火リレートーチ展示

2021年3月19日(金)
修善寺駅



2021年2月1日(月)～3月24日(水)の間、静岡県内全35市町では東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレートーチの巡回展示が行なわれ、伊豆市では2021年3月19日(金)に修善寺駅にて展示された。展示場所には約500人が訪れ、トーチを眺めたり、一緒に写真を撮ったりして楽しんだ。トーチは日本人になじみの深い桜をモチーフとし、日本の伝統と高い技術の融合により生まれた眩ぎ目のないデザインとなっている。



オーストラリア大使館来訪

2021年4月13日(火)

東京2020大会まであと約100日となった2021年4月13日(火)、オーストラリア大使館のリンズィー・パウワー二等書記官をはじめ3人が伊豆市を訪れ、大会開催に向けた情報交換を行なった。大使館職員たちは、大会期間中に在日オーストラリア人やオーストラリアからの訪日者へ対応するための準備や、コロナ禍により来日できなくなったオーストラリアサイクリングチームに代わって、視察や会議対応を行っていた。パウワー二等書記官は東京2020大会期間中にも伊豆ペドロロームへ足を運び、菊地豊伊豆市長と交流した。



事案対処訓練



2021年5月25日(火)
修善寺駅周辺

修善寺駅周辺にて、東京2020大会開催時の観客輸送中に、不審物や不審人物へ対応する事案を想定した合同訓練が行なわれ、大仁警察署、駿東伊豆消防本部、伊豆箱根鉄道、東海自動車と伊豆市が参加した。伊豆市職員は西口広場などで観客の誘導と、各おもてなしエリアでの安全確保について訓練を実施。また観客のエキストラも務めた。

香港公営放送局取材



2021年6月10日(木)
伊豆市内

香港公共放送局(Radio Television Hong Kong)が東京2020大会の特別番組「Road to Tokyo Olympics」の取材のために伊豆市を訪れた。番組内容は自転車競技(トラック・レース/マウンテンバイク)開催地である伊豆市を紹介するもので、現地時間の2021年7月17日(土)20時から放送され、修善寺駅の大会装飾や「デイ・カウンター」ボード、電動アシスト付き自転車のレンタルなどが紹介された。



聖火リレー説明会

2021年6月25日(金)の伊豆市での東京2020オリンピック聖火リレーを前に、当日従事する18人の職員への説明会を行なった。市内全小中義務教育学校の見学・生徒約1,600人が沿道などでの観覧を、安全に実施できるように伝える担当職員からの説明に熱心に耳を傾けていた。



2021年6月17日(木)
伊豆市役所



本部従事職員説明会

大会開催に先立ち、伊豆市では2021年7月1日(木)、東京2020大会伊豆市運営本部を開設した。また、本部に従事する153人の職員を対象に2日間の説明会を実施し、約120人が参加した。菊地豊伊豆市長の挨拶に始まり、担当職員からは大会概要と当日の活動内容について説明が行なわれた。



2021年7月1日(木)・2日(金)
修善寺総合会館

やさしい日本語教室



伊豆市に定住する外国人や障がい者をはじめ、子どもから高齢者まで幅広い層への市民サービス向上を図るため、東京2020大会開催をきっかけに初めて、伊豆市職員を対象に『やさしい日本語研修』を実施した。講師岩田一成さんによるオンライン研修で、『やさしい日本語』を用いて、相手に合わせてわかりやすく伝える方法を学んだ。また、着ち着いて対応することの大切さ、笑顔を見せる、相手をうって回すなど、日々の業務にも生かせる相手がリラックスするコミュニケーションのポイントも学んだ。



2021年7月8日(木)
伊豆市役所本庁別館2階

Message 研修者の声



伊豆市 観光商工課
つむや まりえ
土屋 万理恵

研修を受けて、自分では理解できていたことも、それを全く知らない人へ言葉にして伝えることの大変さを感じました。文章を書く時に、ついずらりと書くのがおもしろいので、読み込みやすい文章を書くよう心がけています。



伊豆市 地域づくり課
あいはら かずまさ
相原 和真

研修前後で、『やさしい日本語』に対するイメージが変わりました。『相手に簡単に伝える』ことがメインで、想像以上に仕事に関わる内容でした。各種申請、補助金案内など、上手に伝えられる方法に覚えていくなど、市民に寄り添ってまいります。

輸送センター机上訓練



東京2020大会における輸送サービスを担う静岡県輸送センターの運営について、関係者を集めた机上訓練が2021年7月8日(木)・20日(火)、三島市役所中央町別館3階で行なわれ、伊豆市職員も参加した。大会関係者や顧客の輸送ルートや迂回ルートの確認、情報連絡の方法や調整を行ない、イレギュラー時の対応について訓練シナリオをもとにシミュレーションし、大会当日への備えとした。

2021年7月8日(木)・20日(火)
三島市役所中央町別館3階

伊豆市資料館

東京2020開催記念展示『自転車の都 伊豆』展



伊豆市が東京2020大会自転車競技の開催地であることを記念し、伊豆市資料館では『自転車の都 伊豆』展を開催した。『自転車競技がどういったスポーツなのか』をテーマに、伊豆ペロドロームのバンク最大傾斜角度45度を板目状の布で再現したほか、二輪自転車の起源とされる「ドライジーネ」など貴重な資料の展示や、映像による自転車競技のルール紹介など、様々な企画で自転車の歴史や競技を伝えた。2021年7月17日(土)にはふるさと学級に参加する児童たちが見学に訪れ、学芸員による解説を交えながら自転車について学んだ。

2021年6月25日(金)～9月29日(水)
伊豆市資料館



Message 学芸員の声



伊豆市資料館学芸員
矢田 香緒里

今回の特別展は日本サイクリングスポーツセンターが所蔵するドライジーネ、ミショー型自転車といった貴重な資料を間近で見られる、良い機会です。多くの皆さんにご覧いただき、自転車の歴史の伝達や競技を知っていただきたいと思います。

児童の声



自転車は体力もつけられるし、乗っていて楽しいので大好きです。いつも自分が乗っている自転車と昔の自転車が、全然違うのだと初めて知りました。こんなに進化した自転車という乗り物も、進化させた人もすごいと感じました。



自転車の歴史を教えてもらって、色々な形をしたものがあるのにびっくりしました。ペダルもなかったり、木でできていて固かったり、すごく大きな自転車にも乗っていたなんて、信じられません。昔の人はすごいです！

土屋美奈子選手 市長表敬訪問



2021年7月12日(月)
伊豆市役所

伊豆市出身の土屋美奈子選手が、東京2020パラリンピック競技大会柔道女子72kg超級の日本代表に決定した。2021年7月12日(月)には籍地伊豆市長を表敬訪問し、出場に向けて抱負を語った。土屋選手は市民へ向けて、「体の小さな私が大きな選手たちに食らいつき、戦う姿を見てほしい」と語った。そして迎えた8月29日(日)の大会本番、初戦でブラジル選手と対戦するも敗退。敗者復活戦でも本来の力を発揮できず、ウクライナ選手に敗れた。



プロフィール
土屋 美奈子

1990年、伊豆市生まれ。株式会社ギャラリー・ロード・ポップ所属、浜松視覚特別支援学校出身。高校1年生の体育の授業で柔道に出会い、競技の道へ。北京2008パラリンピック競技大会では52kg級で5位入賞を果たす。今大会は70kg超級で、3大会ぶり2度目の出場となった。



TOKYO 2020 Make The Beat!

動画配信
2020年2月25日(火)～

「TOKYO 2020 Make The Beat!」とは、東京2020組織委員会による企画で、指定の音楽「2020ビート」のリズムに合わせて動作をした映像をSNSで投稿すると、東京2020大会時に競技会場の巨大スクリーンに動画が映し出されるというもの。伊豆市では全国の自治体に先駆けて、市公式SNSとYouTubeで6本の動画を公開。大会を盛り上げるとともに、開催地である伊豆市の観光度向上へとつなげた。



家人神楽



竹林の小径編



伊豆ペロドローム編



修善寺新編



牧野のわさび田編



湯島の城編

修善寺駅周辺



東京2020大会へ
チーム伊豆市の軌跡
Road to 2020

修善寺駅周辺

伊豆市の 玄関口でおもてなし

東京2020オリンピック自転車競技が開催された2021年7月26日(月)・27日(火)と8月2日(月)～8月8日(日)の計9日間、修善寺駅周辺では案内を務めるシティキャストシズオカ(静岡県都市ボランティア)をはじめとした、大勢のスタッフが様々なおもてなしを用意し、観客を出迎えた。



伊豆市では駅周辺に現地本部を設け、職員たちがお客様に安心・安全に大会を楽しんでいただくため、感染症対策や暑さ対策を行なったほか、来訪者対応、ごみ・騒音対策などを実施した。駅を訪れた観客たちは、シャトルバスを待つ間、駅構内の特設カウンターにて会場内の情報を確認したり、駅北口に設置されたモニタメントを前に記念撮影を行なったりと、楽しそうに過ごす様子が見受けられた。



Message 担当者から



現地本部スタッフ
伊豆市オリンピックボランティア総務
梅原 健児
配布物をお渡しする際は手拍り声と手袋の着用を推奨し、密にならないようお客様を誘導するなど、感染症と熱中症の対策には細心の注意を払いました。お客様には気持ちよく大会を楽しんでいただきたいと思いますという思いで取り組みました。



西口広域配布専任スタッフ
(伊豆市精神水産課)
関野 倫之
観客の皆様へ熱中症対策の啓発とあわせ、記念のバッジ、伊豆の観光パンフレットなどを配り、心を入れてお出迎えとお見送りをして、一人でも多くの方にまた伊豆市へと戻って来ていただきたいと思っております。



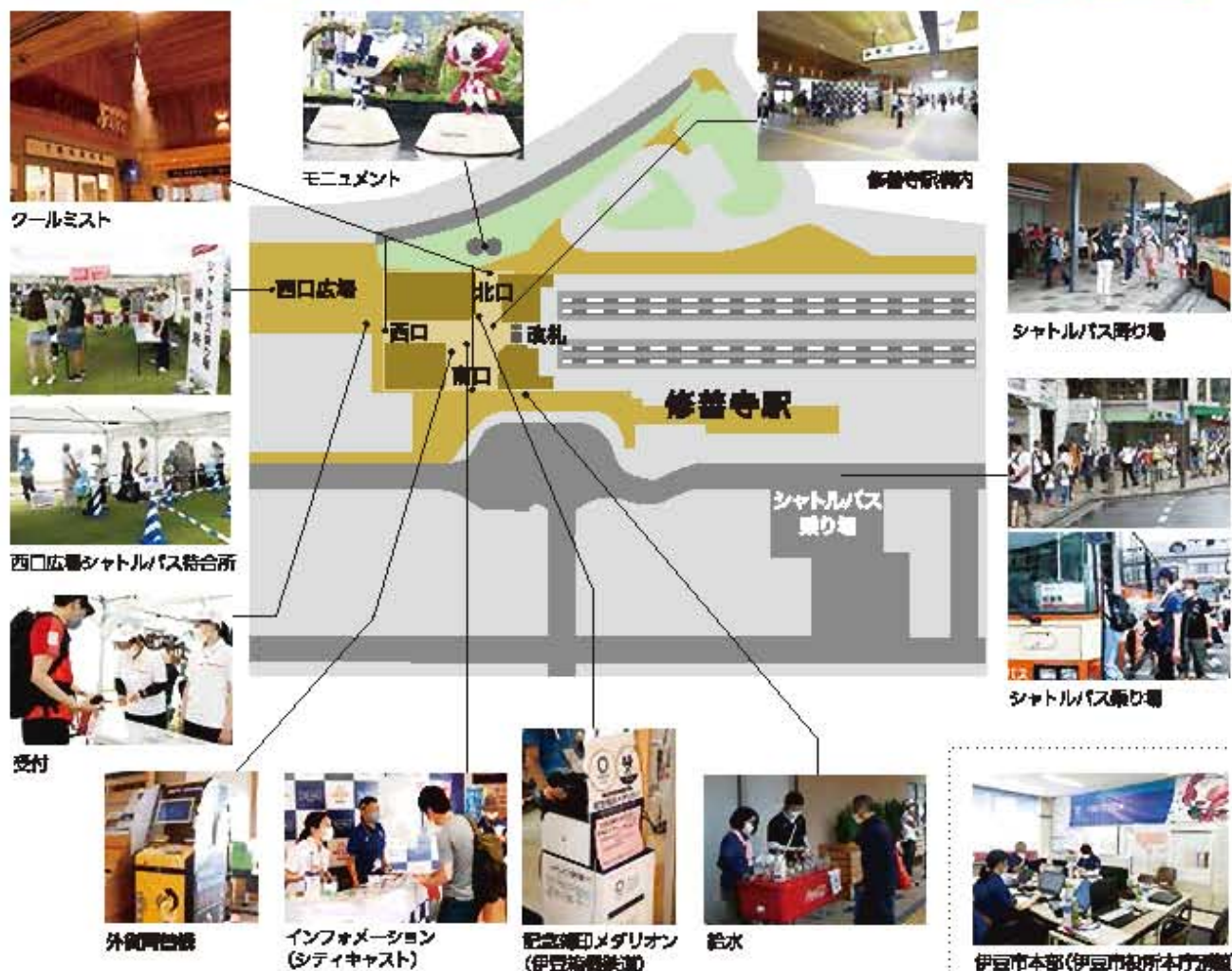
道西海岸スタッフ
(伊豆市警察署)
紅野 竜司
修善寺駅はお客様をお迎える、大切な玄関口です。お客様が気持ちよく会場へと向かえるよう、周辺の美化と整備に努めました。私たちが接客と控える機会が少ないですが、スタッフの一員として全力で取り組んでいます。



シャトルバスドライバー
(伊豆バス)
中田 育位
このような貴重な機会に携われることは、プロとして嬉しい限りです。日々の業務で培ってきた安全輸送に関わる知識や技術、また事前の研修で学んだことを生かして、お客様を無事に会場までお送りお出迎えしました。



感染症対策として、来場者へ手指消毒を促す場内アナウンスを実施。暑さ対策としてはうちわや飲料、保冷剤などを配布した。ごみ・騒音対策では駅構内を定期的に巡回し、ごみを回収した。また、お客様が快適に観戦できるよう、手荷物預かり所と授乳室を設けた。



Message 担当者の声



手荷物預かりスタッフ(ヤマト運輸)
あきやま あきら
秋山 暎
手荷物預かり所では大きな荷物や、会場内に持ち込みが禁止されている傘などの手回り品などをお預かりしました。お客様が快適かつ安心して観戦できるように、大切なお荷物を責任持ってお預かりしました。



授乳室管理スタッフ
しあけり みき
塩地 美咲
小さなお子さんをお連れの方のために、手荷物預かり所内に授乳室を設けました。女性スタッフが常駐し、ルーム内の清掃と観戦を行なうほか、おむつ交換時のゴミ回収も承りました。体験にも楽しんでご利用いただけました。



伊豆市東京オリンピック・パラリンピック推進
すずき まさひろ
鈴木 政紀
さまざまなイベントにおいてだけの人々が参加していただけるのが不安でしたが、多くの市民の積極的な参加に元気をいただきました。ありがとうございます。少しでも自転車競技の能力が皆さんに伝わっていると嬉しいです。



伊豆市東京オリンピック・パラリンピック推進
やまぐち ゆき
山口 亜裕美
これまでのオリンピック・パラリンピックと違い、多くの制限がある中での開催ということで、不安や苦労も多くありました。市民の皆さんから「応援しています。頑張って下さい」と声を掛けられ、やり切ることができました。携わって下さった皆さんのおかげです。



伊豆市役所
にしな ゆき
西名 絹美
期待していたほど数は多くありませんでしたが、福岡など遠方からのお客様と交流でき、修善寺を知っていただくことができました。また戻ってきていただけたら嬉しいです。今回来られなかった方にも、ぜひいらして欲しいです。



取材メディアの声
しづかみ なおひろ
塩月 尚平
オリンピック期間中、修善寺駅周辺で連日取材をしました。スタッフは所属により役割が分担されているため連携が難しい部分も見られましたが、丁寧な対応でした。駅は清潔もなく暑が、観戦の邪魔なども円滑だと感じました。



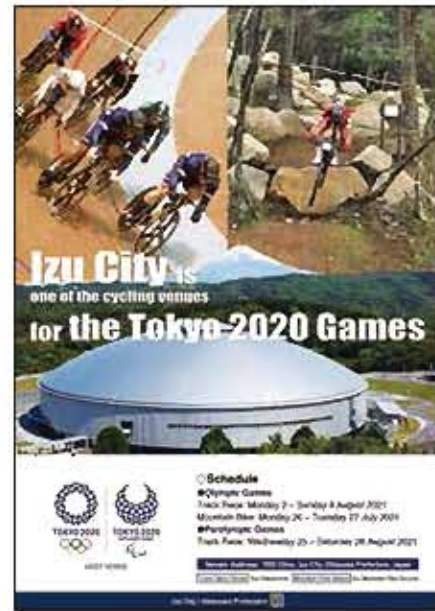
伊豆市東京オリンピック・パラリンピック推進
やまだ かずひさ
山田 和彦
自転車競技の開催を楽しみに伊豆市へ訪れる皆さんへ、安心・安全にお観戦し、お帰りいただく事を特に考え、修善寺駅で日々対応をしていました。大きな事故やトラブルもなく終えることができました。東京2020大会に協力して下さった皆さんにお礼を申し上げます。

印刷物

ポスター



東京2020大会自転車競技伊豆開催ポスター B2版



東京2020大会自転車競技伊豆開催ポスター(英語) B2版



東京2020オリンピック聖火リレー開催ポスター1 B1版



東京2020オリンピック聖火リレー開催ポスター2 B1版

チラシ



東京2020大会自転車競技伊豆開催ポスター A4版



東京2020大会自転車競技伊豆開催ポスター(英語) A4版



2016年デイ・カウンターボード 除版式イベントチラシ A4版



2016年「おもてなしサポーター」第1期研修修業チラシ A4版



2016年ボランティア親睦会チラシ A4版



サイクルフェスティバル伊豆2018チラシ A4版



2018年「東京五輪直前-2020-」練習会チラシ A4版



2018年全伊豆自転車写真モデル大募集チラシ A4版



2019年東京2020オリンピックに向けた1年前イベントin伊豆市チラシ A4版



自転車競技伊豆会館での開催日誌(告知)チラシ A4版



2019年「東京五輪直前-2020-」練習会チラシ A4版



2021年お花を一緒に育てよう! 募集チラシ A4版



2021年50日前イベント ピクニック RUN & WALK 募集チラシ A4版



2021年伊豆市のまちながおもてなしちょこっと英会話」チラシ A4版



聖火リレールートマップチラシ A4版



聖火リレー事前告知チラシ A4版



聖火リレー当日チラシ A4版

マップ



同遊マップ2019 B5版2折(日本語/英語)



2021年再来マップ A4版

冊子



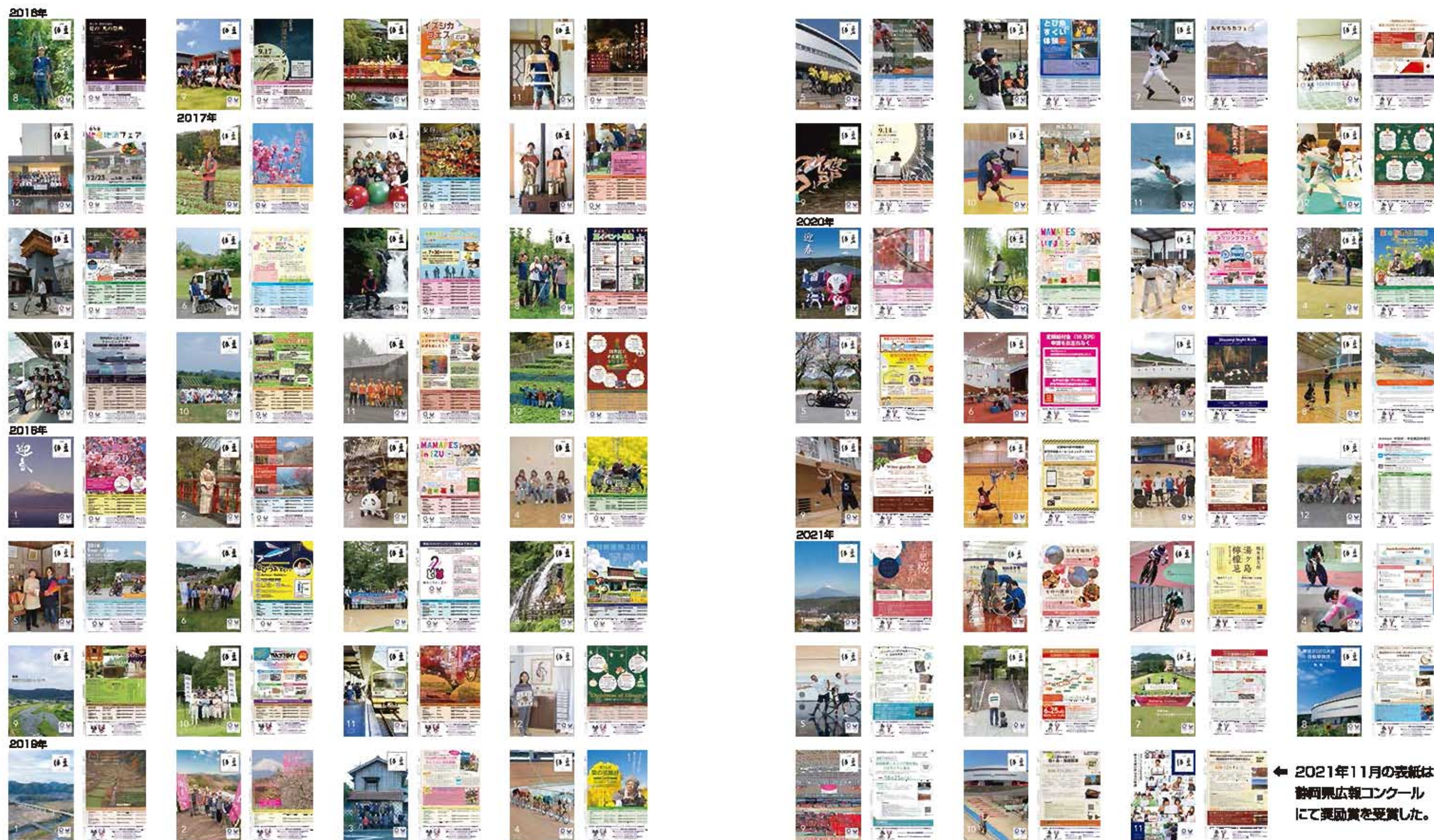
2018年伊豆片版東京2020大会ガイドブック



JICA提供冊子

印刷物

広報伊豆 (2016年8月~2021年11月)



← 2021年11月の表紙は
静岡県広報コンクール
にて奨励賞を受賞した。

印刷物

ポストカード



1500日前



4年前



3年前



2年前

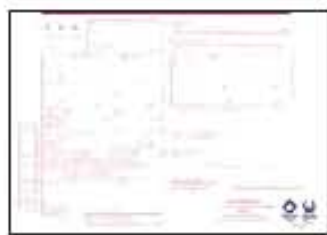


2年前



1年前

婚姻届・出生届



封筒



名刺



観光 観光

観光 観光

観光 観光

観光 観光

映像 PR動画



日本語版



英語版

その他

花育成鉢



花育成プランター



屋内広告物

バックボード



ミニのぼり



東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会



ミライトワ2020

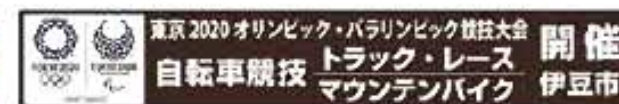


ソメイティ2020

デジタルサイネージ



修善寺駅横断幕



修善寺駅パネル



「デイカウンター」ボード

屋外広告物

懸垂幕



のぼり



玄関シール



シティドレッシング



聖火リレー会場ドレッシング



その他グッズ

ポロシャツ(4色)



修善寺駅当日配布うちわ



フォトスタンド



ピンバッジ



東京2020うちわ



聖火リレーうちわ



東京2020法被(2色)



東京五輪音頭 CD



東京五輪音頭 DVD



手さげクリアファイル



ミライトワ 下敷き



ソメイティ クリアファイル



バス(伊豆市)



バス(主催者関係)



伊豆箱根鉄道(主催者関係)



伊豆箱根タクシー



スポンサー関連

コカ・コーラ社



ブリヂストンサイクル(株)



伊豆市観光案内所での自転車展示

パナソニック(株)



(株)明治



アサヒビール(株)



搬送感成事例



市内でのオフィシャルグッズ販売



JOCオリンピック支那代表選手
聖火リレーメモリアル白鳥



伊豆ペトローム オリンパマーク



大会レガシーを まちづくりの未来へ

東京2020大会自転車競技伊豆開催をレガシーとするために、
自転車文化を根付かせて未来へつなぐために、
伊豆市は自転車のまちづくりに取り組んでいる。

- 123 サイクルシェアリング事業
世界のトップ選手が伊豆市を訪問
- 124 TRACK PARTY
ジャノントラックカップI・II
- 125 自転車が好きな小学生のための自転車教室
世界の著名自転車競技選手が伊豆市を訪問
- 126 土肥小中一貫校の生徒が考えた
サイクリングコースをEバイクで試走
東京2020組織委員会副本選手会長の
訪問見学会
- 127 高すぢやレ ジュニアアカデミー
レガシー館

サイクルシェアリング事業

いずペロ



いずペロ
サイクリングマップ



自転車まちづくりの一環として、伊豆市はサイクルシェアリング事業を推進。修善寺駅前の「いずペロ」では、電動アシスト付自転車などのレンタルや、伊豆市内のサイクリングコースを紹介する『いずペロサイクリングマップ』作成を行なった。また、修善寺温泉街にもサイクルステーションが設けられ、自転車のレンタル・返却が可能のため、サイクリングの楽しみ方が広がった。

世界のトップ選手が伊豆市を訪問

2017年5月17日(水)・2019年3月27日(水)
2019年4月10日(水) 伊豆市役所

オリンピックや世界選手権、ワールドカップなどで活躍している世界のトップ選手が市役所を訪問した。選手たちは、「伊豆の自然は美しい」などと話し、伊豆市での生活を楽しんでいるようだった。選手たちは、(公財)JKAの「短期登録選手」として登録され、日本競輪学校で競輪についての練習と訓練を受けた後、各地の競輪場での競輪に出場した。



2017年5月17日(水)



2019年3月27日(水)



2019年4月10日(水)

TRACK PARTY

2017年10月14日(土)・2018年5月12日(土)・10月13日(土)
伊豆ペロドローム

伊豆ペロドロームにて「TRACK PARTY」(公財)JKA主催が開催された。国内外の一流選手によるトラック・レース、お笑いライブ、音楽イベント、応援イベント、ランニングバイク体験、フードフェスなどが行なわれた。



TRACK PARTY 2018 In Spring



TRACK PARTY 2017



TRACK PARTY 2018 In Autumn

ジャパントラックカップI・II

2018年7月6日(金)~8日(日)
伊豆ペロドローム

2018年7月6日(金)~8日(日)、「第5回眞仁親王記念ワールドグランプリ 国際自転車競技大会 2018 ジャパントラックカップ I・II」が開催され、リオ2016大会メダリストや日本代表選手など、18か国から約150人が参加した。会場では七夕にちなみ、東京2020大会への想いを短冊に書いてもらうイベントも実施。8日には、^{あまこ}梶子女王陛下がお成りになった。なお、開催に先立ち、6月28日(木)に^{あざな}太田りゆ選手が熊坂こども園を訪問。ランニングバイク出前教室で指導した児童と再会し、「モスクワ・グランプリ2018」の女子ケイリン準備勝の報告と、大会のPRを行なった。



自転車が苦手な小学生のための自転車教室

2019年12月8日(日)
JKA250(日本競輪選手養成所内)

「自転車が苦手な小学生のための自転車教室」をJKA250(日本競輪選手養成所内)で開催した。市内の小学生23人が参加し、自転車のマナーや操作方法、安全な自転車に乗り方について学んだ。日本サイクルスポーツセンター職員とともに、日本競輪選手養成所の選手候補生13人が子どもたちを自転車に乗れるようにサポートした。練習後には、選手候補生がJKA250の250mトラックをデモンストレーション走行し、子どもたちを楽しませた。



世界の若き自転車競技選手が伊豆市を訪問

2019年5月30日(木)・11月5日(火)
伊豆市役所

日本サイクルスポーツセンターが運営するコンチネンタル・サイクリング・センター・修善寺(CCC修善寺)で練習を行なう、世界の若き自転車競技選手が伊豆市役所を訪れ、菊地豊市長との懇談を行なった。訪問したのは、日本、タイニースタイベ、香港チャイナ、マカオチャイナ、フィリピン、タイの6つの国と地域の14歳から18歳までの選手。選手たちは、「ジュニアアジア選手権で金メダルを取りたい」、「大会で活躍したい」などと今後の抱負を語った。



5月30日(木)



5月30日(木)



11月5日(火)



11月5日(火)

土肥小中一貫校の生徒が考えたサイクリングコースをEバイクで試走

2020年11月12日(木)
土肥地区

2020年11月12日(木)に、土肥小中一貫校9年生(12人)が考えた土肥地区を巡るサイクリングコースを、スポーツ型電動アシスト付自転車(Eバイク)で試走し、検証を行なった。コースは、土肥小中一貫校から丸山スポーツ公園までの往復7km。検証にあたり、随行スタッフとしてMERIDA X BASEの品川真寛さん、コナステイ伊豆長岡の平塚吉光さん、イズパウンドの木村政彦さんが協力。Eバイクは、いずペロ、MERIDA X BASE、コナステイ伊豆長岡が貸出協力を行なった。生徒たちは、「Eバイクだと上り坂でも楽に走れる」、「車通りの少ない道は安心して走れた」などと話していた。



東京2020組織委員会橋本聖子会長の静岡県訪問

2021年9月14日(火)
静岡県庁、沼津商工会議所

東京2020組織委員会の橋本聖子会長が静岡県を訪問した。まず静岡県庁へ川勝平太知事を訪ね、自転車競技開催地として大会の運営に協力した静岡県に対して、感謝を述べた。さらに競技会場となった県東部へ訪れ、開催市町の担当職員や都市ボランティアなど約50人の関係者を労った。「今日集まった一人ひとりに心の中で金メダルを掛けた」と語り、記念撮影を行なった。



あすチャレ ジュニアアカデミー

2021年9月~2022年1月
修善寺南小学校

2021年10月12日(火)に修善寺南小学校にて、(公財)日本財団パラリンピックサポートセンターが主催する『あすチャレ|ジュニアアカデミー』のオンライン版を行なった。4年2組の児童26人が参加した。車いすユーザーである伊吹祐輔講師が、自身の体験やコロナ禍を例に挙げ、映像やクイズを交えながら障がいとは何か、障がいを乗り越えるためにできる工夫、パラスポーツの魅力などについて語った。児童たちは懸命にメモをとりながら真剣に話に聞き入り、東京2020大会コンセプトの一つである多様性と調和や、挑戦することの大切さを学んだ。



Message 児童の声

修善寺南小学校 4年
いとう みづほ
伊藤 美月

伊吹さんの話を聞いていたら、面白いことか色々なことにチャレンジしてみたくくなりました。自分一人じゃできないことは、友達や家族と協力して乗り越えていきます。友達が困っていたら、自分も友達に協力していきたいです。

修善寺南小学校 4年
モリタ エミ
相馬 虹心

パラスポーツ選手の魅力は、今できないことを明日できるようにするために、工夫と努力をして、自分の可能性にチャレンジするところ、という話を聞いて、私も今苦手なことを苦手じゃなくなるように、努力しようと思いました。

実施日	対象	参加人数
9月9日(木)	中伊豆小学校 4年生	36人
10月5日(火)・12日(火)	修善寺南小学校 4年生	51人
10月21日(木)	修善寺小学校 4年生	16人
10月22日(金)・11月5日(金)・12月10日(金)	修善寺中学校 1~3年生	308人
11月17日(水)	天城小学校 5・6年生	72人
12月21日(火)	中伊豆中学校 1~3年生	110人
2022年1月31日(月)	天城中学校 1年生	37人

レガシー銘板

東京2020大会自転車競技が伊豆市で開催されたことを記念してレガシー銘板を製作し、2022年4月修善寺駅北口と独結の瀬公園に設置した。

修善寺駅北口



独結の瀬公園



資料編

- 129 伊豆市東京オリンピック・パラリンピック推進本部
- 130 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会自転車伊豆開催推進協議会
東京2020大会伊豆市運営本部
- 131 参画プログラム
- 133 文化プログラム
- 134 DATA
- 134 年表

伊豆市東京オリンピック・パラリンピック推進本部

2015年12月9日(水)オリンピック自転車競技伊豆開催が決定したことを受け、2016年1月6日(水)に東京オリンピック推進準備室(4人兼務体制)を設置し、同時に伊豆市東京オリンピック推進本部を立ち上げた。2016年4月1日(金)には、東京オリンピック推進課(5人+県派遣職員1人)を設置するとともに、職員1人を組織委員会に派遣。2016年4月16日(土)パラリンピック自転車競技伊豆開催が決定したことを受け、18日(月)に東京オリンピック・パラリンピック推進課、伊豆市東京オリンピック・パラリンピック推進本部に改称。2017年4月3日(月)には、7人体制の課となった(内県派遣職員1人)。2018年4月2日(月)には、職員2人を追加で組織委員会に派遣。2019年4月1日(月)には、さらに職員1人を追加で組織委員会に派遣。伊豆市として、全庁を挙げて大会に向けた準備を行なった。

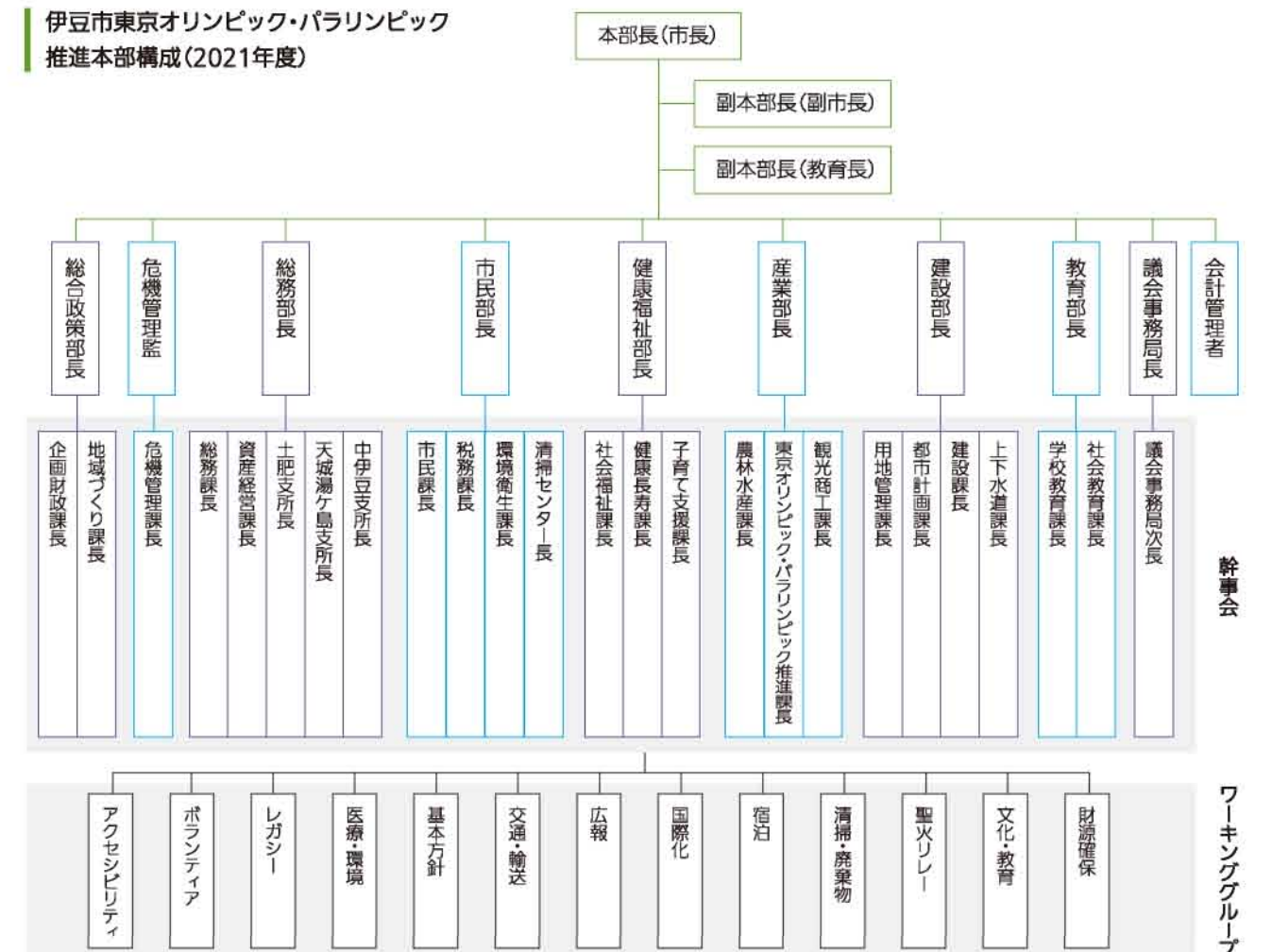
推進本部会議開催日程

- 第1回 2016年1月8日(金)
- 第2回 2016年2月1日(月)
- 第3回 2016年3月29日(火)
- 第4回 2016年10月4日(火)
- 第5回 2017年5月1日(月)
- 第6回 2018年5月21日(月)
- 第7回 2018年9月27日(木)
- 第8回 2019年2月4日(月)
- 第9回 2021年5月13日(木)

東京オリンピック・パラリンピック推進課(2021年度)

産業部 部長	滝川 正樹	組織委員会出向
課長	森嶋 哲男	参与 大路 弘文 大会運営局 会場マネジメント部 会場運営第3課 会場マネジメント第3チーム
主幹	鈴木 政紀	主任 西川 大翔 マーケティング局 ブランド管理部 アンプッシュ対策課 アンプッシュ対策チーム
主幹	山田 和彦	副主任 鈴木 崇史 大会運営局 選手村 マネジメント部 分村運営課 分村チーム
主査	梅原 雄児	副主任 堀岡 梓 大会運営局 会場マネジメント部 会場運営第3課 会場マネジメント第3チーム
主任	山口 亜裕美	
主任	渡邊 麻友	
主事	浅田 崇義	

伊豆市東京オリンピック・パラリンピック推進本部構成(2021年度)



東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 自転車伊豆開催推進協議会

東京2020大会自転車競技伊豆開催を市民総出でおもてなしすることで、市全体の交流の拡大・地域経済の活性化に繋げることを目標に設置した。市内の様々な団体での取り組みについて、情報共有などを行なった。

開催日程

第1回 2018年8月29日(水) 第2回 2019年3月19日(火)

会長	市長		
副会長	一般社団法人 伊豆市観光協会会長	伊豆市商工会会長	
委員	副市長	特定非営利活動法人 伊豆市体育協会会長	伊豆市産業振興協議会会長
	教育長	伊豆市PTA連絡協議会会長	伊豆市PTA連絡協議会会長
	伊豆市議会議長	伊豆市交流協会会長	伊豆市老人クラブ連合会会長
	伊豆市議会第1委員会委員長	伊豆市社会福祉協議会会長	伊豆市校長会会長
	駅前区長(関係地区代表)	伊豆市ふるさとガイドの会会長	伊豆市内高等学校校長
	古川区長(関係地区代表)	伊豆市花の会会長	修善寺駅構内営業組合組合長
	大野区長(関係地区代表)	伊豆市文化協会会長	静岡県文化・観光部スポーツ局参事
	一般財団法人 日本サイクルスポーツセンター常務理事	伊豆市民生委員・児童委員協議会会長	産業部長
	伊豆市スポーツ推進委員会会長		
	オブザーバー	静岡県大仁警察署長	伊豆箱根鉄道株式会社鉄道部部长
	一般社団法人 静岡県自転車競技連盟理事長	株式会社新東海バス取締役社長	
	一般社団法人 日本パラサイクリング連盟理事長	駿東伊豆消防本部第2方面部田方南消防署署長	
	沼津土木事務所修善寺支所所長		

東京2020大会伊豆市運営本部

東京2020大会自転車競技伊豆開催本番を迎えるにあたり、2021年7月1日(木)に発足した。有観客であったオリンピックでは、修善寺駅での観客対応などに多くの職員が対応した。パラリンピックでは無観客となったため、大幅に規模を縮小した。オリンピック・パラリンピックを通じて、延べ254人の職員が参画した。

	オリンピック	パラリンピック
【運営本部】	総括班 産業部長、オリパラ課 2人 報道・広報班 オリパラ課 2人 道路管理班 建設部 1人 市民・事業所対応班 観光商工課 1人 おもてなし班 オリパラ課 1人、産業部 2人	産業部長 1人、オリパラ課 5人
【現地本部】	総括班 オリパラ課 2人 巡回班 健康福祉部 1人 記録・広報班 教育部 2人 市民・事業所対応班 観光商工課 1人、市民部 2人 おもてなし班 コロナ対策班 農林水産課 1人、総務部 1人 暑さ対策班 農林水産課 1人、総務部 1人、総合政策部 2人 来訪者対応班 観光商工課 1人、建設部 1人 ごみ・騒音対応班 市民部 2人	オリパラ課 2人
【輸送センター】	建設部 1人	建設部 1人

参画関連

参画プログラム

参画プログラムとは、東京2020大会の大会ビジョンのもと、スポーツだけでなく、文化芸術や地域での世代を超えた活動などを通じて、東京2020大会に関わり未来につながるプログラム。伊豆市では、東京2020参画プログラムに積極的に取り組んできた。延べ約7万人が参加した。

実施日	内容	分野	参加者数
2016年 11月26日(土)	～東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会自転車競技(トラック・レース/マウンテンバイク)伊豆開催に向けて～ボランティア講演会	スポーツ・健康	180
2017年 3月11日(土)	伊豆市げんきプロジェクト事業(伊豆ペドロームでウォーキング)	スポーツ・健康	300
5月27日(土)	サイクルフェスティバル伊豆2017	スポーツ・健康	3,034
10月14日(土)・15日(日)	伊豆半島一周サイクリング	スポーツ・健康	120
10月22日(日)	第5回みんなの運動会in天城ドーム	スポーツ・健康	250
11月2日(木)～2018年2月27日(火)	伊豆市国際交流員異文化理解出前講座	教育	260
12月1日(金)～2018年2月22日(木)	マスコット投票宣言	教育	1,207
2018年 1月20日(土)	伊豆市げんきプロジェクト『伊豆ペドロームでウォーキング』	スポーツ・健康	200
5月9日(水)～10月23日(火)	平成30年度ランニングバイク出前教室	教育	245
5月26日(土)	サイクルフェスティバル伊豆2018	スポーツ・健康	3,144
6月6日(水)～2019年1月9日(水)	伊豆市国際交流員異文化理解出前講座	教育	260
6月21日(木)	伊豆市ユニバーサルツーリズム研修会	街づくり	67
7月2日(月)～2019年3月29日(金)	【公共工事】生活環境整備事業	街づくり	—
7月17日(火)～2019年3月29日(金)	【公共工事】観光施設整備事業	街づくり	—
7月24日(火)	【東京2020 開催まであと2年!】伊豆市職員でエンブレム入りポロシャツを着て盛り上げよう	街づくり	150
7月24日(火)～2020年2月28日(金)	【東京2020 開催まであと2年!】伊豆市職員で東京五輪音頭-2020-を踊ろう	街づくり	340
8月21日(火)	夏休み親子見学会2018	街づくり	90
8月21日(火)～25日(土)	第20回高校男子ソフトボールサマーキャンプin伊豆	スポーツ・健康	500
9月13日(木)～2019年1月23日(水)	伊豆市げんきプロジェクト ノルディックウォーキング教室	スポーツ・健康	155
9月26日(水)	伊豆市ユニバーサルツーリズム修善寺フィールドワーク研修会	街づくり	23
10月2日(火)～2019年3月11日(月)	伊豆市国際交流員出前講座	教育	1,824
10月9日(火)～16日(火)	『東京五輪音頭-2020-』練習会	街づくり	270
10月18日(木)～23日(火)	伊豆市職員メンタルヘルス研修『東京2020参画プログラム』『職場の“総合力”をアゲる方法!～メンタルを視点に、みんなで考えてみませんか?～』	街づくり	221
10月20日(土)～11月11日(日)	伊豆市文化祭	文化	4,256
10月21日(日)	第6回みんなの運動会in天城ドーム	スポーツ・健康	200
10月28日(日)	東京2020大会ソフトボール競技復活記念事業	スポーツ・健康	320
11月25日(日)	伊豆市グリーンコンサート『東京交響楽団伊豆公演』～どこかで聴いたクラシックの名曲選～	文化	930
11月28日(水)	伊豆ペドロームで写真を撮影して盛り上げよう!	街づくり	718
12月7日(金)～2019年1月22日(火)	伊豆市内小・中学校での『東京五輪音頭-2020-』練習会	教育	337
12月21日(金)	東京2020オリンピックマスコット・パラリンピックマスコットのプレゼントセレモニー	教育	2,557
2019年 1月22日(火)～3月29日(金)	【公共工事】伊豆市立新こども園建設事業(2018年度)	街づくり	—
2月9日(土)～11日(月・祝)	第22回天城ドーム杯高校女子ソフトボール大会	スポーツ・健康	600
2月15日(金)～3月22日(金)	【公共工事】生きいきプラザ管理事業	街づくり	—
2月23日(土)	伊豆市中学生・高校生手話講座	街づくり	9
3月1日(金)～18日(月)	～東京2020 開催まであと500日!～東京2020大会自転車競技伊豆開催PR映像SNSキャンペーン	オールジャパン・世界への発信	136
3月8日(金)	【東京2020 開催まであと500日!】修善寺駅を花と緑でおもてなし	街づくり	25
3月12日(火)	オリンピックによるトークショー&プロ選手のすごさを体験!～東京2020 開催まであと500日!～	教育	300
3月23日(土)～26日(火)	第42回高校男子ソフトボール天城研修大会	スポーツ・健康	500
4月1日(月)～12月27日(金)	【公共工事】伊豆市立新こども園建設事業(2019年度)	街づくり	—
4月19日(金)～6月11日(火)	伊豆市国際交流員異文化理解出前講座2019	教育	170

開催日	内容	分類	伊豆市費
2019年			
4月19日(金)～8月23日(金)	【公共工事】新館建設工事	街づくり	-
5月7日(火)～10月31日(木)	平成31年度ランニングバイク出陣教室	教育	180
5月20日(月)～9月13日(金)	令和元年度伊豆市小・中学校での「東京五輪直前-2020-」開催会	教育	331
5月25日(土)	伊豆市みんなで「東京五輪直前-2020-」をしよう!2019	祭り	30
5月25日(土)	サイクルフェスティバル伊豆2019	スポーツ・健康	1,988
5月30日(木)～10月31日(木)	パラリンピック観戦体験会	スポーツ・健康	200
6月18日(火)～28日(金)	2019年度伊豆市「東京五輪直前-2020-」開催会	街づくり	270
7月1日(月)～2020年3月31日(火)	【公共工事】生活環境整備工事	街づくり	-
7月24日(水)～8月23日(金)	伊豆市職員でエンブレム入りTシャツを着て盛り上げよう ～東京2020 開催まであと1年!～	街づくり	150
7月24日(水)～2020年9月30日(火)	～東京2020 開催まであと1年!～伊豆市道路バス車内アナウンスPR	街づくり	-
8月2日(金)	東京2020オリンピックに向けた1年イベントin伊豆市 ～東京2020オリンピック開催まであと1年!～	オールジャパン・世界への発信	600
8月10日(土)～14日(水)	第21回高校男子ソフトボール サマーキャンプ伊豆	スポーツ・健康	800
8月18日(日)・21日(水)	1年目を記念した打ち上げ花火～東京2020 開催まであと1年!～	オールジャパン・世界への発信	26,000
8月24日(土)	土居ビーチフェスティバル	スポーツ・健康	50
9月6日(金)～11月29日(金)	【公共工事】修善寺駅南口車道分断解消工事	街づくり	-
10月19日(土)～11月10日(日)	令和元年度伊豆市民文化祭	文化	3,293
10月30日(水)～11月1日(金)	令和元年度伊豆市職員研修「ダイバーシティセミナー」	街づくり	312
11月17日(日)	伊豆市グリーンコンサート2019 新日本フィルハーモニー交響楽団 伊豆公演	文化	927
11月28日(木)～29日(金)	オリンピック・パラリンピックに向けた特別授業 自転車競技	教育	223
12月1日(日)	伊豆市年末クリーン作戦	持続可能性	3,227
12月8日(日)	令和元年度自転車が苦手な小学生のための自転車乗り方教室	教育	23
2020年			
1月12日(日)	2020年伊豆市成人式	文化	300
1月12日(日)	2020年伊豆市美術館出陣式	街づくり	300
1月16日(木)	東京2020大会自転車競技伊豆開催に向けた総合学習授業	教育	121
1月19日(日)	2020年伊豆市駅伝大会	スポーツ・健康	1,000
1月26日(日)	2020年あすなろ展	文化	126
1月26日(日)～3月8日(日)	伊豆文学まつり2020	文化	1,316
2月8日(土)～9日(日)	第23回天城チーム杯高校女子ソフトボール大会	スポーツ・健康	中止
3月7日(土)	令和元年度伊豆市中学生高校生手話講座	街づくり	中止
3月8日(日)	2020年伊豆市げんきプロジェクト	スポーツ・健康	中止
3月25日(水)～28日(土)	第43回高校男子ソフトボール天城研修大会	スポーツ・健康	中止
4月1日(水)～9月30日(水)	【公共工事】貸倉庫建設	街づくり	-
4月1日(水)～12月31日(木)	～東京2020大会まであと100日～ 「東京五輪直前-2020-」伊豆市職員研修	街づくり	中止
5月8日(金)～28日(木)	～東京2020大会まであと100日～「東京五輪直前-2020-」伊豆市職員研修 2020年伊豆市「東京五輪直前-2020-」開催会	街づくり	中止
10月13日(火)～2021年3月12日(金)	令和2年度ランニングバイク出陣教室	教育	111
2021年			
1月17日(日)	トラック・レースとマウンテンバイクレースのごこ見て! ～東京2020オリンピック競技大会開催200日前イベント～	オールジャパン・世界への発信	中止
4月17日(土)	伊豆市子ども自転車乗り方教室 ～東京2020オリンピック競技大会開催100日前イベント～	教育	中止
5月25日(水)～6月21日(月)	「オリンピック・パラリンピックが伊豆市にやってくる!自転車競技特別学習」	教育	300
5月28日(金)～7月23日(金・祝)	伊豆市のまちなかおもてなしちょこっと委員会	街づくり	2,241
5月30日(日)	みんなの思い出をリレーでつなぐ50days to TOKYO2020 ピクニック RUN&WALK	オールジャパン・世界への発信	180
6月22日(火)～9月6日(月)	令和3年度東京2020開催おもてなし事業	街づくり	675
6月25日(金)～9月30日(木)	東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた記念展示「自転車の都 伊豆」展	教育	-
7月8日(木)	伊豆市職員向けやさしい日本語研修	街づくり	20

文化プログラム

オリンピック憲章には、「オリンピズムは、スポーツを文化、教育と融合させ、生き方の創造を探索するもの」とうたわれ、両国が「文化プログラム」を開催するように定められている。

東京2020大会でも、全国で「文化プログラム」が実施され、伊豆市でも様々な文化資源を活かしたプログラムを実施した。

2018年10月20日(土)～
11月11日(日)
伊豆市文化祭



2018年11月25日(日)
伊豆市グリーンコンサート
『東京交響楽団伊豆公演』
～どこかで聴いた
クラシックの名曲選～



2019年10月19日(土)～
11月10日(日)
令和元年度伊豆市民文化祭



2019年11月17日(日)
伊豆市グリーンコンサート2019
新日本フィルハーモニー交響楽団
伊豆公演



2020年1月12日(日)
2020年伊豆市成人式



2020年1月26日(日)
2020年あすなろ展



2020年1月26日(日)～
3月8日(日)
伊豆文学まつり2020



東京 2020 大会 伊豆市運営状況

オリンピック自転車競技 マウンテンバイク

項目	7月26日(月) 晴れ/29℃	7月27日(火) 晴れ/25℃
観戦客数	約3,400人	約2,900人
従事職員数	本部9人+現地19人+輸送バナー1人計29人	本部9人+現地18人+輸送バナー1人計28人

項目	8月3日(火) 晴れ/31℃	8月4日(水) 晴れ/29℃
観戦客数	約500人	約600人
従事職員数	本部9人+現地13人+輸送バナー1人計23人	本部9人+現地13人+輸送バナー1人計23人

項目	8月6日(金) 晴れ/30℃	8月7日(土) 曇り時々雨/26℃
観戦客数	約700人	約800人
従事職員数	本部9人+現地12人+輸送バナー1人計22人	本部9人+現地13人+輸送バナー1人計23人

パラリンピック自転車競技 トラック

項目	8月25日(水) 曇りのち晴れ/31℃	8月26日(木) 晴れ/31℃
観戦客数	無観客	無観客
従事職員数	本部6人+現地2人+輸送バナー1人計9人	本部6人+現地2人+輸送バナー1人計9人

項目	8月28日(土) 晴れ/31℃
観戦客数	無観客
従事職員数	本部6人+現地2人+輸送バナー1人計9人

※観客数は東京2020組織委員会公表値

トラック

項目	8月2日(月) 晴れ/28℃
観戦客数	約600人
従事職員数	本部9人+現地13人+輸送バナー1人計23人

項目	8月5日(木) 晴れ/29℃
観戦客数	約800人
従事職員数	本部9人+現地14人+輸送バナー1人計24人

項目	8月8日(日) 雨のち曇り/27℃
観戦客数	約900人
従事職員数	本部9人+現地13人+輸送バナー1人計23人

項目	8月27日(金) 晴れ/32℃
観戦客数	無観客
従事職員数	本部6人+現地2人+輸送バナー1人計9人

年表

日付	内容
2013年 9/7	アルゼンチンのブエノスアイレスで行なわれたIOC総会にて、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催が決定。
2015年 12/9	スイスのローザンヌで行なわれたIOC理事会にて、伊豆ペドローム/伊豆マウンテンバイクコースでの東京2020オリンピック競技大会自転車競技(トラック・レース/マウンテンバイク)開催が決定。
2016年 12/10	美しい伊豆創造センター主催「伊豆オリンピック開催を祝う会」開催
1/6	産業部に東京オリンピック推進準備室を設置(4名兼務体制)
1/8	第1回伊豆市東京オリンピック推進本部会議を開催
1/26~30	2016年アジア自転車競技選手権大会開催
2/1	伊豆市東京オリンピック推進本部第2回会議を開催
2/29	伊豆市東京オリンピック推進本部第3回会議を開催
4/1	産業部に東京オリンピック推進課を設置(5名+県派遣職員1名体制)、市職員1名を組織委員会に派遣
4/16	ドイツのボンで行なわれたIPC理事会にて、伊豆ペドロームでの東京2020パラリンピック競技大会自転車競技(トラック・レース)開催が決定。
4/18	東京オリンピック・パラリンピック推進課に改称
4/25	東京2020大会エンブレムが決定
5/25	市職員研修(長野1998オリンピックから学ぶ)の実施
6/15	1500日前イベント(『デイ・カウンター』ボード除幕式、橋本聖子さん講演会)の実施
6/18	自転車のまち・伊豆市キャッチフレーズが決定
7/8~10	第3回寛仁王記念ワールドグランプリ国際自転車競技大会 2016 ジャパン・トラック・カップI&IIが開催
7/9	リオ2016大会自転車競技トラックチーム社行セレモニーの実施
7/10	三笠宮彬子女王殿下が自転車競技大会にご臨席
7/20	リオデジャネイロ2016オリンピック競技大会自転車競技(トラック・レース)日本代表選手へメッセージ入り日の丸贈呈
7/31	4年前イベント(『伊豆から自転車競技を盛り上げよう!』自転車競技体験イベント~東京2020大会自転車競技(トラック・レース/マウンテンバイク)開幕4年前~)の実施
7/31	リオデジャネイロ2016パラリンピック競技大会自転車競技(トラック・レース)日本代表選手壮行会の実施
8/1	国内初広報紙表紙での東京2020大会エンブレム使用開始
8/3	東京2020大会ソフトボール競技が復活(追加種目の決定)
8/14~19	リオデジャネイロ2016オリンピック開催

※組織委員会 ※静岡県 ※伊豆市 ※その他

日付	内容
2016年 8/21	2016県民の日イベント競技用自転車に乗ってみようの開催
9/7~12	リオデジャネイロ2016パラリンピック開催
9/20	伊豆市ボランティア(おもてなし隊・サポーター)募集開始
10/4	伊豆市東京オリンピック・パラリンピック推進本部第4回会議を開催
10/14~20	市職員研修(リオデジャネイロ2016大会視察報告)の実施
10/19	木製フォトスタンド引き渡し式の開催
11/3	リオデジャネイロ2016パラリンピック競技大会報告会の開催
11/26	東京2020大会に向けたボランティア講演会の実施
12/15	日本大学国際関係学部・短期大学部(三島校舎)との相互連携協定を締結
12/19	市有バスに東京2020大会エンブレムラッピングを施す
2017年 1/1	『デイ・カウンター』ボードでの『デイ・カウンター』リレー放映開始
1/23	JOCオリンピック支援自販機設置
1/25	伊豆市ボランティア(おもてなし隊・サポーター)研修開始
3/9	市役所本庁に『デイ・カウンター』デジタルサイネージ設置
4/1	東京オリンピック・パラリンピック推進課(6名+県派遣職員1名体制)となる
4/25	中学校での『オリンピック・パラリンピック特別授業 自転車競技編』開催
4/26	こども園・保育園でのランニングバイク出前教室開始
5/13	伊豆市ボランティア(おもてなし隊・サポーター)認定
6/2	都市鉱山から作る!みんなのメダルプロジェクト 伊豆市での回収開始
6/19	国内初東京2020大会エンブレム入りポロシャツ製作
7/19	バリアフリーマップ作成支援のバリア調査シミュレーション実施
7/30	3年前イベント(〜みんなのTokyo2020 3 Years to Go〜ふじのくにサイクルチャレンジin伊豆)の開催
7/31	国際交流員任用開始
8/25	新規採用職員研修の実施
8/28~30	オリンピックフラッグ・パラリンピックフラッグ市内小中学校巡回展示
9月	東京2020公式オリジナル商品の販売開始
10/14	TRACK PARTYが開催
10/19	市有バス東京2020大会特別仕様ナンバープレート使用開始
11/2	国際交流員による市内こども園・保育園、小中学校、放課後児童クラブでの異文化理解出前講座開始
11/24	東京2020大会仕様JPNTAXIお披露目
12/11~2/22	小学生によるマスコット投票
2018年 1/1	全国初東京2020大会エンブレム入り婚姻届・出生届配布開始
3/28	東京2020オリンピック競技大会サイクリング村にラフォーレリゾート修善寺が決定
4/2	市職員2名を組織委員会に追加派遣
5月	自転車競技紹介冊子を伊豆市内に配布
5/9~10/23	平成30年度ランニングバイク出前教室の実施
5/12	TRACK PARTY 2018 in Springが開催
6/1	伊豆市ユニバーサルツーリズム研修会の実施
6/21	自転車競技紹介冊子を各世帯に配布
6/21	ユニバーサルツーリズム研修会
6/6~2019/3/29	伊豆市国際交流員こども園・保育園での異文化理解出前講座
7/6~8	自転車競技ジャパントラックカップI・IIの開催
7/17-18	市職員研修(ブリヂストンサイクル(株)講演)の実施
7/18~31	多言語対応翻訳機器の試行
7/22	2年前イベント(東京2020オリンピック・パラリンピック2年前イベント)の開催
7/22	東京2020大会マスコットの名称が発表
7/24	伊豆市職員でエンブレム入りポロシャツを着て盛り上げよう
7/24	市職員「東京五輪音頭-2020-」練習開始
7/25	JOC認定競技別強化センター認定に伴う認定看板除幕式(ソフトボール)
8/14	新規採用職員研修
8/23~9/12	2年前イベント(東京2020大会仕様の電車運行)
8/29	第1回東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会自転車競技伊豆開催推進協議会開催
9/26	伊豆市ユニバーサルツーリズム修善寺フィールドワーク研修会の実施
10/2	国際交流員による市内小・中・義務教育学校でのオリンピック・パラリンピック出前講座開始
10/9	『東京五輪音頭-2020-』練習会開始
10/13	TRACK PARTYが開催
10/21	市内での大会ボランティア募集PR開始
10/22	コカ・コーラボトラーズジャパン(株)からグッズ提供
10/28	ソフトボール競技復活記念事業の実施
11/4	都市ボランティア伊豆ペドローム研修開始
11/28	伊豆ペドロームで写真撮影の実施
12/7	小学校・中学校で『東京五輪音頭-2020-』練習会開始
12/21	オリンピックマスコット・パラリンピックマスコットプレゼントセレモニーの実施
2019年 3/1	東京2020大会自転車競技伊豆開催PR映像YouTube公開開始

年表

日付	※組織委員会	※静岡県	※伊豆市	※その他	内容
2019年					
3/1					伊豆市版東京2020大会ガイドブックが完成
3/8~5/6					500日前イベント(500 Days to go)の運行
3/1~18					東京2020大会自転車競技伊豆開催PR映像SNSキャンペーンの実施
3/8					伊豆市花と緑のおもてなし空間整備事業開始
3/12					500日前イベント(伊豆市長からのメッセージ動画公開)
3/12					500日前イベント(オリンピックのトークショー&プロ選手のすごさを体験!)の実施
3/12					東京2020オリンピック競技大会スポーツビクトグラム発表
3/27					世界のトップ自転車競技選手が伊豆市役所を訪問
4/1					新規採用職員向け「東京五輪音頭-2020-」練習
4/1					東京オリンピック・パラリンピック推進課(7名体制)、市職員1名を組織委員会に追加派遣
4/1					伊豆市版東京2020大会ガイドブック市内各世帯に配布
4/9					500日前イベント(パラリンピック500Daysバス)が開催
4/10					世界のトップ自転車競技選手が伊豆市役所を訪問
4/13					東京2020パラリンピック競技大会スポーツビクトグラム発表
4/19~6/11					伊豆市国際交流員異文化理解出前講座2019の実施
5/7~10/31					平成31年度ランニングバイク出前教室の実施
5/30					世界の若き自転車競技選手が伊豆市役所を訪問
5/30~10/31					パラリンピック競技体験会の実施
5/20~9/13					令和元年度伊豆市小・中学校での「東京五輪音頭-2020-」練習会の実施
6/1					小学校の運動会で「東京五輪音頭-2020-」を踊る
6/8~9					フィールドキャストオリエンテーションが開催
6/18~28					令和元年度伊豆市「東京五輪音頭-2020-」練習会の実施
7/16					新規採用職員研修
7/24					東京2020大会静岡県開催仕様ラッピングバス出発式が開催
7/24					1年前イベント(伊豆市路線バス車内アナウンスでのPR)開始
7/24					1年前イベント(ラッピングバス)運行開始
7/24~8/23					伊豆市職員でエンブレム入りポロシャツを着て盛り上げよう
7/31					修善寺駅クルミストの設置
8/18~21					1年前イベント(1年前を記念した花火)の実施
10/6					マウンテンバイクテストイベントが開催
10/30~11/1					300日前(市職員ダイバーシティ(共生社会)研修)の実施
11/5					世界の若き自転車競技選手が伊豆市役所を訪問
11/15					東京2020オリンピック聖火リレーメモリアル自動販売機設置
11/28~29					小・中学校での「オリンピック・パラリンピックに向けての特別授業 自転車競技編」の実施
11/30~12/1					フィールドキャスト共選研修が開催
12/8					自転車が苦手な小学生のための自転車教室を実施
12/17					東京2020オリンピック聖火リレーのルートに伊豆市が決定
12/18					東京2020オリンピック聖火リレー開催懸幕設置
2020年					
1/16					伊豆総合高校での特別授業実施
2月					伊豆ベロドロームにオリンピック・パラリンピックのマークが登場
2/11					200日イベントが開催
2/17					東京2020大会モットー決定
2/20					オリンピック聖火リレールート一斉清掃(東部20市町一斉清掃)
2/25					150日前(伊豆市版TOKYO2020 Make The Beat! YouTube公開開始 ※全国の自治体初)
3/24					修善寺駅西口壁面パネル(自転車競技紹介)設置
3/26					東京2020大会の延期決定
3/30					東京2020大会の新しい開催日程が決定
3/30					「デイ・カウンター」リレーを再開
4/1					新規採用職員向け「東京五輪音頭-2020-」練習
6/3					東京2020オリンピック競技大会自転車競技(マウンテンバイク)日本代表選手発表
6/4					東京2020オリンピック競技大会自転車競技(トラック・レース)日本代表選手発表
7/17					東京2020オリンピック競技大会の新しい競技日程発表
8月					「弱虫ペダル」著者渡辺航さんのサインを展示
8/3					東京2020パラリンピック競技大会の新しい競技日程発表
8/8					トラック・レース日本代表内定選手の視察会に伊豆市長出席
9/28					東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレーの新しい実施概要発表
10月					恋人岬に太平洋岸自転車道の看板を設置
10/13~2021/3/9					園児を対象としたランニングバイク出前教室を実施
11/10					日本競輪選手養成所市職員見学会
11/12					土肥小中一貫校の生徒が自ら考えたサイクリングコースをEバイクで試走
12/8					自転車競技(トラック・レース)日本代表臨本選手からメッセージ
12/14~15/3/11					中学生日本代表チームトレーニング見学
2021年					
1/14					修善寺駅に自動外貨両替機設置
1/17					200日前イベント(中止)

日付	※組織委員会	※静岡県	※伊豆市	※その他	内容
2021年					
2/14					バラ200日前イベント(中止)
2/17					新規採用職員研修
2/18					保育園で電動アシスト付き自転車試乗会
3/2					東京2020オリンピック聖火リレールート詳細公表
3/3					東京2020オリンピック聖火リレー懸垂幕修善寺総合会館設置
3/19					修善寺駅での聖火リレートーチ展示
3/19					修善寺駅西口壁面パネルを聖火リレー版に
3/20					おもてなし大作戦修善寺駅(東部20市町一斉清掃)
4/13					オーストラリア大使館来訪
4/17					100日前イベント(雨天中止)
4/23					シティドレッシング(都市装飾)開始
4/25					トラック・レーステストイベントが開催
5/25					事業対処訓練
5/25~6/21					小・中学校での「オリンピック・パラリンピックに向けての特別授業自転車競技編」の実施
5/28~7/23					市民向け英会話活動の公開
5/30					カウントダウンイベント
6・7月					児童・生徒による花の育成・装飾
6/8					新規採用職員研修
6/10					香港公営放送局取材
6/17					聖火リレー説明会
6/18・21					市内中学校ミニひまわり苗植え
6/24					伊豆総合高校での特別授業実施
6/25					東京2020オリンピック聖火リレー
7/1					東京2020大会伊豆市運営本部発足
7/1・2					本部従事職員説明会
7/6・11					シティキャストシズオカ配置別研修
7/8					やさしい日本語教室
7/8・20					輸送センター机上訓練
7/12					土屋美奈子選手市長表敬訪問
6・7月					児童・生徒による花の育成・装飾
7/19~21					市民有志にミニひまわり苗配布
7/21					市内中学校ミニひまわり集荷・設置
7/23					オリンピック開会式
7/26・27					マウンテンバイク
8/2~8					トラック・レース
8/7・8					学校連携観戦プログラムが実施
8/8					オリンピック閉会式
8/16					東京2020パラリンピック聖火リレーの聖火フェスティバルで活用する種火採火イベント
8/17					東京2020パラリンピック聖火リレー採火式
8/17					修善寺駅西口壁面パネルをパラリンピック自転車競技日本代表選手版に
8/18~20					市民有志ミニひまわりの集荷・設置
8/24					パラリンピック開会式
8/25~28					トラック・レース
9/5					パラリンピック閉会式
9/9~1/31					市内小中学校でのオンライン版「あすチャレンジニア카데미」実施
9/14					東京2020組織委員会橋本聖子会長の静岡県訪問
10/1					東京オリンピック・パラリンピック推進課は観光商工課に統合(自転車まちづくりスタッフとして2名体制)
10/4					修善寺駅西口壁面パネルを東京2020大会自転車競技の名場面版に
10/15					東京2020大会で使用された自転車を譲り受ける
10/18					自転車購入補助金受付開始
10/29~					市内保育園及びこども園でのランニングバイク出前教室実施
11/7~					自転車と健康づくり事業開始
11/25~					市内小中義務教育学校での東京2020大会使用備品巡回展示
12/10~12/13					全日本自転車競技選手権大会トラック・レース

編集後記

2015年12月9日のIOC理事会にて、伊豆ペドローム/伊豆マウンテンバイクコースでの東京2020大会自転車競技開催が決定され、2021年9月5日の大会終了までの約6年間、市民の皆様と共に大会成功に向けて取り組んでまいりました。

世界最大のスポーツ・平和・文化の祭典が、ここ伊豆市で開催されるにあたり携われたことは、市の歴史の1ページに刻まれる貴重な経験となりました。

新型コロナウイルス感染拡大により様々な制限を求められ、機運醸成もままならずという状況でしたが、開催自治体としての責務である観戦客の皆さんへのおもてなしに徹し、高評価を得たことはレガシーの一つとなりました。

本誌では、市民の皆様と取り組んで来た『東京2020大会』が記録されています。ご覧いただき、思い出と共に笑顔で語り合っただけなら、大変嬉しく思います。

結びに、東京オリンピック・パラリンピック推進課一同より、皆様からのご協力・ご支援に感謝申し上げます。



東京2020大会自転車競技伊豆開催記念誌

編集・発行 伊豆市伊豆市
東京オリンピック・パラリンピック推進課

発行日 2022年3月

※本文中に掲載している人物の役職・所属などは当時のものです。



自転車と伊豆
今、走りだす



『デイ・カウンター・ボード』
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会
自転車トラックレース/マウンテンバイク
1500E